

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 稲垣 暢世

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
氏 名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54	電話 (075) 751-3111
-----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科	2消化器内科	③循環器内科
⑤神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科
4腎臓内科	8代謝内科	
診療実績 呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科	2消化器外科
5血管外科	⑥心臓血管外科
3乳腺外科	7内分泌外科
4心臓外科	8小児外科
診療実績 消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科
⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	②矯正歯科
③歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科	2リハビリテーション科	3病理診断科	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20				

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60床	床	15床	床	1,046床	1,121床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	606人	504人	741.7人	看 護 補 助 者	103人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	24人	3人	24.2人	理 学 療 法 士	25人	臨床検査技師	91人
薬 剤 師	104人	4人	106.6人	作 業 療 法 士	15人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	その他	0人
助 産 師	41人	1人	41.7人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1,103人	53人	1,138.5人	臨 床 工 学 士	27人	医療社会事業従事者	10人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	128人
歯 科 衛 生 士	6人	1人	6.7人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	321人
管 理 栄 養 士	17人	0人	17人	診 療 放 射 線 技 師	63人	その他の職員	188人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	73人	眼 科 専 門 医	20人
外 科 専 門 医	75人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	11人	放 射 線 科 専 門 医	30人
小 児 科 専 門 医	25人	脳 神 経 外 科 専 門 医	14人
皮 膚 科 専 門 医	12人	整 形 外 科 専 門 医	17人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	21人	救 急 科 専 門 医	13人
		合 計	353人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (稲垣 暢也) 任命年月日 平成27年4月1日

平成17年4月から平成27年3月まで医療安全管理委員会(平成19年3月までは、医療事故防止委員会)の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	855.3人	15.9人	871.2人
1日当たり平均外来患者数	1,803.3人	75.7人	1,879.0人
1日当たり平均調剤数			1,095.5剤
必要医師数			198人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			30人
必要(准)看護師数			499人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	人工呼吸装置	心細動除去装置
集中治療室	777.87m ²	鉄筋コンクリート	45床	有・無	有・無	有・無
			有・無	有・無	有・無	有・無
			有・無	有・無	有・無	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	806.99m ²	病床数	56床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	73.12m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	591m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動生化学分析装置、全自動血球計数装置			
細菌検査室	199m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動血液培養検査装置、全自動細菌検査装置			
病理検査室	254m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置、凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	57m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置			
研究室	35,940m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、遠心分離機			
講義室	496m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	389人
図書室	572m ²	鉄筋コンクリート	室数	6室	蔵書数	246,658冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	76.4%	逆紹介率	75.2%
算出根拠	A：紹介患者の数		14,231人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,138人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,153人
	D：初診の患者の数		21,454人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
伊藤 英樹	滋賀医科大学医療安全管理部 副部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・ <input type="radio"/> 無	1
佐和 貞治	京都府立医科大学医療安全管理部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・ <input type="radio"/> 無	1
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院 教授		法律に関する専門的知識を有する者	有・ <input type="radio"/> 無	1
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センター 理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input type="radio"/> 無	2
山本 克己	京都大学副学長(法務・コンプライアンス担当)		総長が指名する副学長	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 京都大学ホームページ	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	2人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
LDLアフェレシス療法	0人
FOLFOX6単独療法における血中5-FU濃度モニタリング情報を用いた5-FU投与量の決定	0人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	1人
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん(長径が五センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた内視鏡下咽喉頭切除術 中咽頭がん、下咽頭がん又は喉頭がん(TNM分類がTis、T1又はT2、N0及びM0である患者に係るものに限る。)	3人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法初発の中樞神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	2人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘出 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がIB期以上及びII B期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がIA2期以上及びII B期以下の腺がんであって、リンパ節転位及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	1人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術 根治切除が可能な胃がん(ステージI又はIIであって、内視鏡による検査の所見で内視鏡的胃粘膜切除術の対象とならないと判断されたものに限る。)	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	再発・難治性成人T細胞白血病に対するアバカビルの有効性および安全性に関する多施設共同治験	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 化学療法後の再発もしくは治療抵抗性の成人T細胞白血病(ATL)患者を対象に、核酸逆転写酵素阻害薬であるアバカビルの有効性と安全性を検討する(第II相医師主導治験)			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVR)	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 経皮的動脈弁置換術(TAVR)はカテーテルを用いて狭窄した大動脈弁を置換する手術である。対象となる患者は従来の開胸大動脈弁置換術がハイリスクな患者であり、施行においてはハートチーム結成、ハイブリッド手術室が必要である。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード抜去術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を抜去する必要がある場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するバルーン肺動脈形成術は有効性も高く注目されている治療である。施行できる施設もガイドラインで制限されている。			
医療技術名	経カテーテル的心房中隔閉鎖術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 かつては開胸手術しか選択がなかったがカテーテルによる経カテーテル的心房中隔閉鎖術が可能となった。治療は全身麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	局所進行肺癌に対する超音波内視鏡下金マーカー留置術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 局所進行肺癌と診断され放射線治療を予定されている症例に対して、超音波内視鏡下に体内植込金属マーカーを留置することにより、放射線治療時に正確な腫瘍位置の確認を可能とする治療法。			
医療技術名	免疫沈降法による自己抗体の測定	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 同技術により患者の自己抗体を測定し、診断、疾患の亜分類を行い治療法を選択や治療反応性の予測に用いている。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	家族性運動ニューロン疾患の遺伝子診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 運動ニューロン疾患では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	認知症の遺伝子診断	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 認知症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	脳機能外科における複合的高次脳機能マッピング	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 難治部分てんかん・脳腫瘍の術前・術中脳機能評価において、高次脳機能課題の事象関連電位測定、皮質電気刺激による課題遂行の評価を用いて、複合的な高次脳機能マッピングを行い、術後の高次脳機能温存に応用している。			
医療技術名	肝性脳症に対するonline HDF	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝不全において発症する肝性脳症はその後の移植可否を決定する重要な症状だが、重度の場合確立した治療がない。複数施設からOnline HDFが有効とする報告があり、当院でも倫理委員会申請のもと、実施している。			
医療技術名	食道がん化学放射線療法後遺残再発に対する救済光線力学療法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 食道がん化学放射線療法後の食道内遺残再発病変に対する新規光線力学療法を用いた根治的救済治療(PDT)			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対するRadial Incision and Cutting (RIC)法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 バルーン拡張術に抵抗な難治性消化管狭窄に対し、切開法を用いて狭窄を解除する方法(RIC)			
医療技術名	咽喉頭表在がんに対する全身麻酔下経口的内視鏡切除術	取扱患者数	54人
当該医療技術の概要 これまで発見が困難だった咽喉頭がんを早期発見し、臓器・機能温存で根治的切除をする方法(ELPS)			
医療技術名	MIPS	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 乳癌の蛍光色素法センチネルリンパ節生検における可視光術野投影装置(MIPS)の臨床的有用性に関する観察研究			
医療技術名	アテゾリズマブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 未治療の転移性トリプルネガティブ乳癌患者を対象とした、アテゾリズマブ(抗PD-L1抗体)とnab-paclitaxelの併用をプラセボとnab-paclitaxelの併用と比較するランダム化プラセボ対照国際多施設共同盲検第III相試験			
医療技術名	MK-3475	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 切除不能の局所再発又は転移性トリプルネガティブ乳癌の化学療法未治療患者を対象としたMK-3475及び化学療法併用投与とプラセボ及び化学療法併用投与を比較する二重盲検、無作為化、第III相試験			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	オラパリブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 十分な局所性治療及び術前補助化学療法又は術後補助化学療法を終了した高リスク生殖細胞系BRCA1/2 変異陽性HER2 陰性原発乳癌患者に対する術後補助療法としてのオラパリブの有効性と安全性を評価する無作為化二重盲検並行群間比較プラセボ対照多施設共同第III相試験。			
医療技術名	バルボシクリブ	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ネオアジュバント化学療法後の再発リスクが高いホルモン受容体陽性HER2陰性原発性乳癌患者を対象としたサイクリン依存性キナーゼ(CDK)4/6阻害薬palbociclib (PD-0332991)を評価する第III相試験			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 生体ドナーから肝臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから肝臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	肝腎同時移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから肝臓と腎臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	膵腎同時移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから膵臓と腎臓の提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	ロボット支援広汎子宮全摘術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 早期子宮頸癌に対する根治術として、ロボット支援下の腹腔鏡下広汎子宮全摘を施行した。従来の開腹手術と比して術中の出血量が少なく、早期の退院が可能であった。			
医療技術名	子宮内膜癌に対する体腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の実施	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 低リスク子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮体癌手術は保険適応となっているが、中リスク以上で傍大動脈リンパ節郭清まで行うことは認可されていない。同手術を行うことで、開腹術と変わらぬ個数のリンパ節を切除できる一方、出血量は少なく早期の退院が可能となった。			
医療技術名	センチネルリンパ節生検	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 主に外陰癌根治術に伴うリンパ節郭清範囲の縮小による、術後合併症を軽減できた。			
医療技術名	乳がん卵巣がん症候群(HBOC)に対する予防的卵巣卵管切除	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 BRCA変異を伴うHBOC患者に対して安全に手術を行い、術中・術後に合併症を認めず、経過良好である。			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 化学療法・放射線療法前の若年がん患者に対して、卵子凍結を行い、がん治療の遅延なく、妊孕性温存に寄与出来た。			
医療技術名	広範囲子宮腺筋症に対するtriple flap法による腺筋症核出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 広範囲の子宮腺筋症に対してtriple flap法を行い、術後月経痛、過多月経の改善に寄与した。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存ならびに自家移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 化学療法・放射線療法前の若年がん患者に対して安全に卵巣組織凍結を行い、がん治療の遅延なく、妊孕性温存に寄与出来た。			
医療技術名	着床不全を原因とする難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 再生医療等の安全性の確保等に関する法律に則り行っており、難治性不妊症患者に対して自己末梢血リンパ球の子宮内投与を行い、妊娠率向上に寄与した。			
医療技術名	再発卵巣癌に対するニボルマブ治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ONO-4538 (ニボルマブ)を用いた卵巣がんに対する多施設共同非盲検無作為化第III相試験 試験			
医療技術名	初発卵巣癌に対するアベルマブを用いた免疫化学療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 未治療の上皮性卵巣癌患者を対象とした AVELUMABと化学療法との併用療法 および 化学療法後のAVELUMABの維持療法 について 安全性および有効性を検討する 多施設共同、ランダム化、非盲検、第3相試験			
医療技術名	初発卵巣癌に対するアテゾリズマブを用いた免疫化学療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 初発のステージIII期又はIV期の卵巣癌, 卵管癌又は原発性腹膜癌患者を対象に, パクリタキセル, カルボプラチン及びペバシズマブとの併用下でアテゾリズマブとプラセボを比較する第III相多施設共同ランダム化試験			
医療技術名	フローサイトメトリーによる原発性免疫不全症候群スクリーニング	取扱患者数	およそ100人
当該医療技術の概要 詳細なリンパ球サブセット解析や蛋白発現解析による原発性免疫不全症候群のスクリーニング検査			
医療技術名	再発・難治性急性B細胞性白血病に対するCAR-T細胞療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 遺伝子改変自己細胞傷害性T細胞を用いた再発・難治性急性B細胞性白血病に対する臨床第2相治験			
医療技術名	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 咽喉頭早期癌を経口的に切除する超低侵襲手術である。			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 肺癌や肝癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を変えることで、常に照射野を癌に局限した状態で行う放射線治療。従来の治療法と比較して、癌病巣への線量を損なうことなく、正常肺または肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	局所進行膀胱癌に対する動体追尾強度変調放射線治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 動体追尾機能と強度変調放射線治療(IMRT)とを組み合わせた革新的な治療法であり、治療の難しかった局所進行膀胱癌に対して実施している。従来法と比較して治療強度を大きく高めつつ、周囲臓器への線量は低く抑えることが可能となった。			
医療技術名	乳癌に対する加速乳房部分照射	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 早期乳癌の乳房温存手術後の放射線治療を、寡分割部分照射を適用することにより治療範囲、治療期間を短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割定位的強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 低～中リスク前立腺癌に対して寡分割定位的強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、脊髄線量を抑えることが可能となり従来は実現不能だった癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	永久脱毛予防のVMAT全脳照射	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍に対して強度変調放射線治療を利用することで、病巣への必要な線量を投与し、頭皮への不要な高線量被曝を抑え、従来の治療法と比べ永久脱毛を予防することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic WaveArc照射法	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 Vero4DRTではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、がん病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式の強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	術中3TMRIを用いた頭蓋内腫瘍摘出術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍摘出術中に3TMRIを撮影し、腫瘍摘出や合併症の有無を検査することでより高度な治療を提供する			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	覚醒下手術と機能部位同定を用いた頭蓋内腫瘍・てんかん焦点切除術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 てんかん、脳腫瘍の手術で術中に覚醒し、神経機能マッピング、脳波検査を行ない、より正確な局在診断の上で手術を実施できる			
医療技術名	移動型CT・術中3TMRIを用いた内視鏡下経鼻の下垂体腫瘍摘出術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 移動型CT・術中3TMRIを用いることでより正確な下垂体腫瘍摘出が可能である			
医療技術名	移動型CTを用いた頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 移動型CTで骨削除範囲を正確に評価することで頭蓋底腫瘍切除の精度を向上する			
医療技術名	functiona MRI	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 MRIを用いて脳機能マッピングを行い、摘出可能領域を決定する			
医療技術名	和田テスト	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 頸動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する			
医療技術名	慢性硬膜下電極留置	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 硬膜下電極を留置し、脳機能、てんかん焦点を解析する			
医療技術名	内視鏡下腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 小開頭を用いた低侵襲頭蓋内腫瘍摘出			
医療技術名	脳磁図を用いた脳機能局在の解析	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 脳磁図を用いた脳機能局在、てんかん焦点の同定			
医療技術名	ロボットスーツHALを用いたリハビリテーション	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 脳損傷後運動障害に対するロボットスーツHALを用いたリハビリテーション			
医療技術名	定位頭蓋内電極を用いたてんかん・脳機能ネットワークの解析	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 脳内に刺入するタイプの電極、及び特殊な固定具を使用することにより、低侵襲での頭蓋内脳波記録を行う			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	術中cone-beam CTによる頭蓋内電極留置精度評価	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
手術室に併設されている回転DSA装置を用いてcone-beam CTを撮影し、術中に頭蓋内電極留置精度の評価を行う			
医療技術名	巨大血栓化動脈瘤に対する放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
開頭術および血管内治療のいずれでも治療困難な巨大血栓化脳動脈瘤に対して、分割放射線照射を行う。			
医療技術名	3D画像を用いて最適な機能的再建を選択する手先天異常手術	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要			
多指症の治療の基本は低形成成分の切除、筋腱の再建、そして関節の安定化とアライメントの正常化である。しかしながら潜在的な筋骨格の低形成は機能的再建を困難にする。われわれはX線で探知し得ない筋骨格異常に対して超音波による三次元イメージングを行い、その所見に基づいて治療戦略を決定している。			
医療技術名	エコーを用いた再建乳房体積の術前予測	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
当院ではDIEP-flap(下腹部穿通枝皮弁)による乳房再建術を行っている。術前に腹部超音波を用いて、乳房再建時のDIEP-flapの重量を、非常に簡便に非侵襲的に予測する方法を開発し、術中に判断を迫られる要素を減らして、より低侵襲の手術を行っている。			
医療技術名	皮弁血行領域の術中評価に基づく乳房再建	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
皮弁による乳房再建を行う際、大きなボリュームを乳房欠損胸部へ移動する必要がある。しかし、皮弁の血流が保たれる領域には限界があり、その境界を適切に診断する必要がある。新たに開発された小型組織オキシメーターを用いて、手術中に非侵襲かつ簡便・正確に血行領域の判定を行っている。			
医療技術名	軟骨再生を促す肋軟骨採取法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
小耳症手術の標準的な手技は肋軟骨を採取し、これを細工して耳介の形成を行うことであるが、ただ単に肋軟骨を採取すると、手術時期が成長期であることもあって、胸郭の形成不全を招くことになる。そのため、軟骨膜を残して採取し、余った肋軟骨は小片として、軟骨膜のポケット内に戻すことで、肋軟骨の再生が起り、胸郭形成不全を起こさないようにしている。			
医療技術名	エコー機器を用いたケロイド治療成績の客観的診断法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
ケロイド病変部の重症度評価、薬物療法の効果判定、再発の有無、等の診断を、エコー機器を用いて客観的かつ定量的に実施している。これにより、従来は熟練した専門医の勘と経験に頼っていた部分を客観的数値化し、適切な薬物投与期間・量の決定、手術療法適応の判断、再発の早期発見が可能となった。			
医療技術名	小口蓋神経を温存した機能的口蓋形成術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
鼻咽腔閉鎖機能に最も重要な口蓋帆挙筋の神経支配に小口蓋神経の関与が示唆されたので、術後の言語成績の向上を目的にこれを温存する口蓋形成手術を行っている。			
医療技術名	巨大色素性母斑の集約的治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
巨大色素性母斑は悪性黒色腫の発生母地となるため、理想的にはすべて切除することが望ましい。しかし母斑が非常に広範囲に及ぶ場合には、切除した部分の皮膚を再建することが困難となる。当院では、従来の植皮術に加え、エキスパンダーを用いた皮膚拡張、人工真皮、自家培養表皮、レーザー治療などさまざまな治療法を組み合わせた集約的治療を行っている。			
医療技術名	TAVI	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
大動脈弁狭窄症に対し、重症の場合、外科的な治療が必要となるが、従来の方法では侵襲が大きすぎる患者に対し、カテーテルで人工弁置換を行う方法			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	LVAD	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 従来の治療では効果が得られない重症心不全に対しては、根本治療は心移植しかないが、ドナー不足の為、移植待機の間、機械的に心補助を行う装置			
医療技術名	ダウンサイジング脳死肺移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 脳死ドナー肺は、一部が肺炎や無気肺で障害を受けている場合がある。また、レシピエントの胸郭に比べてドナー肺が大きすぎる場合がある。このような場合、ドナー肺の一部を切除して小さくして(ダウンサイジング)移植することを、ダウンサイジング脳死肺移植という。血管吻合や気管支吻合の高度な技術を要する。平成28年度に7名に対して実施し、全例生存中である。			
医療技術名	特殊な生体肺移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 生体肺移植においては、ドナー肺が小さすぎる場合がある。この対策として、レシピエントの上葉を温存する術式(2例)やドナーの右下葉を反転してレシピエントの左肺として移植する術式(3例)を実施した。気管支吻合や血管吻合に高度の技術を要する。上葉を温存した1例が移植肺機能不全で死亡したが、残り4例は順調に経過している。			
医療技術名	「治験に関連する遺伝カウンセリング」	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 ゲノム情報を利用した医療の中でも、今後は個人個人が持っている遺伝的多様性に基づく医療が重要であると考えられる。中でもがん治療薬の選択においては患者自身そしてその組織の遺伝子変異に基づいて行うことで有効性を最大化し、副作用を最小化するPrecision Medicineが強調されている。来年にもコンパニオン診断を前提とした承認が予定されているPARP阻害薬や、今後検討が進められるPD-1抗体薬などの新しい薬剤の治験は重要である。これらの治験においてはその専門性から臨床遺伝専門家である臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーの関与がポイントとなる。特にがん治療戦略で視野が狭くなりがちな状況において家系内構成員に影響のある生殖細胞系列の検査を非指示的に自律的に選択していたためには高度な専門的知識と技術が必要であり、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーによる支援は何より重要である。昨年度においては乳がん治験 23件、卵巣がん治験 9件を実施した実績がある。			
医療技術名	「臨床研究に関連する遺伝カウンセリング」	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 臨床研究においてもゲノム情報を取り扱うことが非常に増えている。既存の遺伝性腫瘍に関連した遺伝子検査を前提とした研究においては検査のメリットデメリットを客観的に把握し自律的に研究にご参加いただくための遺伝カウンセリング、そして実施した遺伝子解析の結果をご本人及び血縁者にとって有用なものとするサーベイランスの道筋をつけることと心理社会的支援を実現するための遺伝カウンセリングが重要である。さらに、近年ではmulti gene panelを使用した網羅的遺伝子解析を行う研究も少しずつ増えている。この場合には偶発的所見、二次的所見などの取り扱いが特に重要となり、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーによる高度に専門性の高い遺伝カウンセリングが必要とされる。昨年度においてはFAP 5件、Lynch症候群 13件、VHL 1件、遺伝性膵炎 2件、MEN1 4件、ミトコンドリア病 2件を実施した実績がある。			
医療技術名	保険算定外の薬物血中濃度測定	取扱患者数	623検体
当該医療技術の概要 シロリムス、エベロリムス、ミコフェノール酸、イトリコナゾール、ボリコナゾールなど、治療上必要であるが保険算定外の薬物について、血中濃度測定および解析を行う。			
医療技術名	薬物動態に関わる遺伝子の多型解析	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 臓器移植患者におけるタクロリムスの体内動態の予測、薬物相互作用の予測のために患者の血液からDNAを抽出し、遺伝子型を判定する。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	133
2	筋萎縮性側索硬化症	40	57	特発性拡張型心筋症	86
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	11
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	29	60	再生不良性貧血	59
6	パーキンソン病	236	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	45
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	29
11	重症筋無力症	114	66	IgA腎症	34
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	18
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	99	68	黄色靱帯骨化症	6
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	18	69	後縦靱帯骨化症	56
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	7
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	84
17	多系統萎縮症	32	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	52	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
	ライソゾーム病	3	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	14	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	201	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	38
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	91
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	11	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	149
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	176
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	62
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	24
34	神経線維腫症	30	89	リンパ脈管筋腫症	26
35	天疱瘡	28	90	網膜色素変性症	199
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	15
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	90
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	7
40	高安動脈炎	105	95	自己免疫性肝炎	6
	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	196
	結節性多発動脈炎	42	97	潰瘍性大腸炎	311
43	顕微鏡的多発血管炎	39	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	53	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	21	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	559	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	213	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	242	106	クリオピリン関連周期熱症候群	11
52	混合性結合組織病	73	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	38	108	TNF受容体関連周期性症候群	2
54	成人スチル病	16	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	17	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキササンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鯉耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数	疾患名	患者数	
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	9	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	11
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	2	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	7	277	リンパ管腫症/ゴーム病	2
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノニー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	19
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	9
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・データ提出加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院支援加算
・歯科外来診療環境体制加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料4
・医師事務作業補助体制加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・急性期看護補助体制加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・看護補助加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1	・精神科急性期治療病棟入院料1
・無菌治療室管理加算2	・短期滞在手術等基本料1
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料3	・脳波検査判断料1
・外来緩和ケア管理料	・脳磁図
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ロービジョン検査判断料
・糖尿病透析予防指導管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遠隔画像診断
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料1	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料2	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・冠動脈CT撮影加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(I)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(IV)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・国際標準検査管理加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・運動器リハビリテーション料(I)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・がん患者リハビリテーション料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・集団コミュニケーション療法料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・同種死体肺移植術
・精神科作業療法	・生体部分肺移植術
・認知療法・認知行動療法1	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・経カテーテル大動脈弁置換術
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・磁気ナビゲーション加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・透析液水質確保加算2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・CAD/CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算1及び2	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術、人工中耳用材料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・同種死体腎移植術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・生体腎移植術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・膀胱水圧拡張術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込・置換術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・
・輸血管管理料 I	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門: 毎日、病理診断部門: 毎日
剖 検 の 状 況	剖検症例数 27 例 / 剖検率 7.9 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
疾患特異的iPS細胞を活用した特発性造血障害の病態解析と新規治療法開発	高折 晃史	血液・腫瘍内科	34,840,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
抗HIV-1核酸系逆転写酵素阻害薬アバカビルの人T細胞白血病への適応拡大に関する臨床研究	高折 晃史	血液・腫瘍内科	39,520,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
免疫・炎症・血栓性疾患における好中球細胞外トラップの役割の解明	山下 浩平	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委 文部科学省
マウスを用いた活性化B細胞型びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の発症機序の解明	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 文部科学省
MEK阻害剤を用いた移植後GVHDの選択的抑制と感染・腫瘍免疫の温存	進藤 岳郎	血液・腫瘍内科	1,430,000	補委 文部科学省
HIV-1感染症におけるA3Gのアセチル化とVif/HDAC3複合体の役割	白川 康太郎	血液・腫瘍内科	2,340,000	補委 文部科学省
免疫修飾作用を持つ分子標的薬と免疫療法の併用療法における新機軸の開発	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 文部科学省
TKI製剤による免疫細胞への影響とTreg減少感受性の検証	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	3,900,000	補委 国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター
HIV-1 Vifの細胞内調節機構および機能発現機構の解明	新堂 啓祐	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 文部科学省
スフィンゴ脂質代謝異常による流産のメカニズムの解明と治療薬の開発	水岸 貴代美	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 文部科学省
インクレチン分泌機構の統合的理解:GIPならびにGLP-1分泌の共通点と相違点	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	7,410,000	補委 文部科学省
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	3,999,999	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
京都大学臨床研究ハイウェイを活用した難治疾患・がん等の新規治療法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	77,897,222	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンスの構築	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	299,999	補委 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
詳細な食事記録を含む大規模経時データと厳格な栄養管理下のメタボロミックスの融合によるマクロ栄養素摂取量に関するバイオマーカーの開発	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,990,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	63,120,000	補委 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系
分泌顆粒特異的分子SKIPがインスリン分泌とインクレチン分泌を調節する意義	原島 伸一	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補委 文部科学省
蛍光ATPプローブ遺伝子ノックインマウスを用いた膵島細胞糖代謝異常の解析	長嶋 一昭	糖尿病・内分泌・栄養内科	910,000	補委 文部科学省
骨伸長障害に対するCNP/GC-B系賦活化治療の基盤構築	八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委 文部科学省
細胞老化が引き起こす恒常性破綻の病態解明とその制御	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	13,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
GIP分泌における脂肪酸受容体の役割についての研究	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委 文部科学省
次世代シーケンスを用いた、若年発症糖尿病多発家系における発症原因遺伝子同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補委 文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた糖尿病病態生理の解明と治療法の開発	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補委 文部科学省
テトラヒドロピオプテリンによる褐色脂肪分化および糖・エネルギー代謝制御機構の解明	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委 文部科学省
協調性の高い日本人糖尿病患者に有効な療養指導方法の開発と有効性の検証研究	池田 香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,860,000	補委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂肪酸結合タンパク5 (FABP5) によるGIP分泌制御機構の解明	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委 文部科学省
脂肪組織のGIPシグナルが高脂肪食摂食下にインスリン抵抗性を形成する機序の解明	城尾 恵里奈	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委 文部科学省
解糖系代謝リモデリングによる老化から癌化への転換機構の解明	三河 拓己	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補委 文部科学省
Neoatherosclerosisと退行性血管病変の本態解明と治療法開発	木村 剛	循環器内科	7,410,000	補委 文部科学省
心不全発症経過における成人マウス心筋からの転写コアクチベータp300複合体精製	木村 剛	循環器内科	385,000	補委 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
マイクロRNA-33の恒常性維持における機能解明と疾患治療への応用	尾野 亘	循環器内科	4,420,000	補委 文部科学省
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究	尾野 亘	循環器内科	520,000	補委 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
ミトコンドリア脱共役の心臓および全身に対する長期的影響の探索	加藤 貴雄	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
O型糖転移酵素GALNTによる低活性型proBNP糖鎖修飾及び分泌制御機構の解明	中川 靖章	循環器内科	1,820,000	補委 文部科学省
遺伝性不整脈疾患における疾患特異的iPS細胞研究	牧山 武	循環器内科	1,820,000	補委 文部科学省
致死性不整脈患者iPS心筋細胞を用いた機能評価	牧山 武	循環器内科	910,000	補委 国立大学法人長崎大学
イントロン性マイクロRNA-33a,-33bの脂質代謝制御機構の解明	堀江 貴裕	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
3次元プリンターを用いた心血管カテーテル治療シミュレーター開発	齋藤 成達	循環器内科	1,430,000	補委 文部科学省
数値流体力学による冠動脈機能的狭窄の非侵襲診断ソフトウェアの開発	齋藤 成達	循環器内科	1,809,600	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新たな洞房結節自動能制御機構の解明とその心不全における意義	大野 美紀子	循環器内科	1,950,000	補委 文部科学省
M16メタロプロテアーゼによる脳タンパク質老化と認知症制御機構	大野 美紀子	循環器内科	2,340,000	補委 文部科学省
コペプチンの心血管疾患に対する診断・予後予測マーカーとしての包括的役割の解明	塩見 紘樹	循環器内科	1,950,000	補委 文部科学省
新規インスリン分泌制御因子による膵β細胞機能・インスリン感受性制御機構の解明	西 清人	循環器内科	1,950,000	補委 文部科学省
心不全の慢性炎症・線維化におけるmicroRNA-33の役割の検討	西賀 雅隆	循環器内科	1,430,000	補委 文部科学省
新たな癌幹細胞特異的因子をターゲットにした消化器癌治療戦略	妹尾 浩	消化器内科	4,810,000	補委 文部科学省
大腸癌を「内と外から」制御する新規治療法の開発	妹尾 浩	消化器内科	1,690,000	補委 文部科学省
腸管上皮幹細胞運命決定制御機構の解明	妹尾 浩	消化器内科	2,990,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
肝発癌過程におけるゲノム/エピゲノム異常の相関の統合的解析	丸澤 宏之	消化器内科	4,810,000	補委 文部科学省
HCV多剤耐性変異・肝移植症例の解明	丸澤 宏之	消化器内科	2,000,000	補委 国立大学法人山梨大学
In vitro HBV感染の樹立, 抗HBV免疫応答を惹起する新規肝炎モデルマウスの開発	丸澤 宏之	消化器内科	4,000,000	補委 国立大学法人広島大学

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究	丸澤 宏之	消化器内科	8,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Notch/Hes1シグナルをターゲットとした肺癌の新規治療開発	児玉 裕三	消化器内科	1,820,000	補委 文部科学省
IgG4関連疾患の自己抗体の同定とこれを用いた新規診断キットの開発による新しい診断体系の確立	児玉 裕三	消化器内科	20,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国内初の汎用自動分析装置用IgG4測定試薬の多施設での評価	児玉 裕三	消化器内科	200,000	補委 国立大学法人信州大学
ケモカインCXCL12/CXCR4シグナル解析に基づく肺癌進展の病態解明	宇座 徳光	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
HBV cccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	高橋 健	消化器内科	3,000,000	補委 国立大学法人金沢大学
肺癌におけるクロマチンモデリング因子Arid1Aの機能的役割	福田 晃久	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
IgG4関連疾患のIgGの病原性と標的抗原の同定	塩川 雅広	消化器内科	1,950,000	補委 文部科学省
膵腫瘍幹細胞マーカーの同定	丸野 貴久	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
クローン病腸管線維化治療を目的としたHSP47の線維化機構の解明	本澤 有介	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
①リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの有効性と安全性の評価 ②リンパ脈管筋腫症に対するシロリムス治療ガイドライン作成への資料提供	平井 豊博	呼吸器内科	500,000	補委 国立大学法人新潟大学
ヒトとマウスの気腔形態評価指標の比較から推察するCOPDエンドタイプ	室 繁郎	呼吸器内科	1,560,000	補委 文部科学省
iPS細胞から誘導した肺上皮細胞利用への応用展開:表裏一体型培養システムの開発	伊藤 功朗	呼吸器内科	4,810,000	補委 文部科学省
iPS細胞を用いた家族性間質性肺炎由来肺上皮細胞の解析による肺線維化機構の解明	伊藤 功朗	呼吸器内科	1,430,000	補委 文部科学省
新薬開発に資するがんゲノム情報の全国レベルでのデータベース構築に関する研究	金 永学	呼吸器内科	250,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
Geno-endo-phenotype解析による重症喘息病型形成・増悪の機序解明	松本 久子	呼吸器内科	1,690,000	補委 文部科学省
肺高血圧症合併間質性肺炎における、肺細動脈のトランスクリプトーム解析	半田 知宏	呼吸器内科	1,820,000	補委 文部科学省
北近畿地区治験実施	半田 知宏	呼吸器内科	3,700,000	補委 国立大学法人新潟大学
ヒトiPS細胞由来II型肺上皮細胞の量産化と遺伝性肺線維症の病態解析への応用	後藤 慎平	呼吸器内科	1,170,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた呼吸器上皮細胞の量産化と疾患モデリングへの応用	後藤 慎平	呼吸器内科	21,745,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肺上皮幹細胞の増殖因子Tweak/Fn14シグナルの検討と再生治療への応用	佐藤 篤靖	呼吸器内科	1,430,000	補委 文部科学省
喘息COPDオーバーラップ症候群のフェノタイプ分類とバイオマーカーの探索	長崎 忠雄	呼吸器内科	2,470,000	補委 文部科学省
静水圧による上皮細胞機能調節メカニズムの解明と癌治療への応用	徳田 深作	呼吸器内科	2,080,000	補委 文部科学省
間質性肺病変合併皮膚筋炎における自己抗体と生命予後改善を目指す治療法の確立	三森 経世	免疫・膠原病内科	7,410,000	補委 文部科学省
IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	22,230,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 25

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚筋炎・多発性筋炎における新規自己抗体に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	900,000	補委 国立大学法人筑波大学
多発性筋炎・皮膚筋炎へのTK-98薬承認に向けた研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	1,025,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
抗CCP抗体陰性関節リウマチの特異抗体の検索～抗カルパミル化蛋白抗体を中心に～	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,040,000	補委 文部科学省
関節リウマチ等の臓器特異的自己免疫疾患におけるミスフォールド蛋白質/HLAクラスII複合体の解析	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委 国立大学法人大阪大学微生物病研究所
脂質分子の炎症収束効果を基盤とした関節リウマチ新規薬剤の開発	村上 孝作	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委 文部科学省
自己免疫病の新規原因遺伝子ホスホリパーゼD4の機能解析	秋月 修治	免疫・膠原病内科	1,430,000	補委 文部科学省
近赤外スペクトル情報をフルに活用する臓器障害モニタリングシステムの開発	小池 薫	初期診療・救急科	3,380,000	補委 文部科学省
欠損型C型肝炎ウイルス変異による薬剤耐性獲得メカニズムの解明	大鶴 繁	初期診療・救急科	2,080,000	補委 文部科学省
血清と尿のNMRデータを用いた発熱原因の予測	森 智治	初期診療・救急科	910,000	補委 文部科学省
GBA遺伝子変異によるパーキンソン病発症機構の解明と治療法開発	高橋 良輔	神経内科	11,050,000	補委 文部科学省
脳内環境:恒常性維持機構とその破綻	高橋 良輔	神経内科	3,900,000	補委 文部科学省
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	高橋 良輔	神経内科	1,300,000	補委 国立大学法人東北大学
パーキンソン病iPS細胞を用いた疾患解析と治療法開発	高橋 良輔	神経内科	9,880,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳血管障害とパーキンソン病における脳神経回路障害とその機能回復に関わるトランスレータブル脳・行動指標の開発	高橋 良輔	神経内科	101,599,873	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
パーキンソン病の代謝産物バイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	高橋 良輔	神経内科	6,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	神経内科	351,000	補委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
侵襲的脳活動計測・刺激介入による腹側言語経路の包括的解明	松本 理器	神経内科	2,990,000	補委 文部科学省
ヒト脳内身体表現の直接記録・刺激介入を用いた神経機構と変容の解明	松本 理器	神経内科	5,720,000	補委 文部科学省
多系統萎縮症の病態解明と治療法の開発	山門 穂高	神経内科	2,080,000	補委 文部科学省
アルツハイマー病におけるオリゴデンドロサイトの関与の解明と治療応用	眞木 崇州	神経内科	1,820,000	補委 文部科学省
メダカを用いたパーキンソン病の遺伝学的研究	上村 紀仁	神経内科	2,080,000	補委 文部科学省
パーキンソン病における神経回路再編過程の可視化解析	畑中 悠佑	神経内科	1,950,000	補委 文部科学省
OPTN機能異常を基盤とした神経変性疾患の病理学、細胞学的検討と治療薬候補の探求	綾木 孝	神経内科	1,300,000	補委 文部科学省
物性調整された検査食を用いた嚥下動態解析	永見 慎輔	神経内科	1,560,000	補委 文部科学省
α -シヌクレインの発現を抑制する薬剤スクリーニング研究	上村 麻衣子	神経内科	2,080,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腎臓の線維化とネフロン修復の分子基盤の包括的 解明	柳田 素子	腎臓内科	4,680,000	補委 文部科学省
ユビキチンプロテアソーム系が腎臓の恒常性維持 と障害・修復にはたす役割の統合的解明	柳田 素子	腎臓内科	1,430,000	補委 文部科学省
細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻によ る組織線維化の制御機構の解明と医学応用	柳田 素子	腎臓内科	6,500,000	補委 国立研究開発法人日 本医療研究開発機構
抗糸球体基底膜抗体腎炎におけるCTGFの役割 の検討	横井 秀基	腎臓内科	1,430,000	補委 文部科学省
心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管 恒常性メカニズムの解明	横井 秀基	腎臓内科	8,450,000	補委 国立研究開発法人日 本医療研究開発機構
糸球体内皮細胞の恒常性維持に関わる新規シグ ナル伝達経路の解明	松原 雄	腎臓内科	2,340,000	補委 文部科学省
エリスロポエチン産生細胞の新規系譜追跡を用い た形質維持機構と可塑性の解明	遠藤 修一郎	腎臓内科	1,690,000	補委 文部科学省
これまで治療法がなかった食道癌術後の難治性吻 合部狭窄に対する新しい治療法の開発	武藤 学	がん薬物治療科	20,000,000	補委 国立研究開発法人日 本医療研究開発機構
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開 発に関する研究	武藤 学	がん薬物治療科	54,668,000	補委 国立研究開発法人日 本医療研究開発機構
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実 施体制の構築と人材育成に関する研究	武藤 学	がん薬物治療科	7,085,000	補委 国立研究開発法人国 立がん研究センター
国内完結型がんクリニカルシーケンスの社会実装と統合デー タベース構築およびゲノム医療人材育成に関する研究開発	武藤 学	がん薬物治療科	128,710,000	補委 国立研究開発法人日 本医療研究開発機構
「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部 表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	武藤 学	がん薬物治療科	325,000	補委 国立研究開発法人国 立がん研究センター
成人固形がんに対する標準治療確立のための基 盤研究	武藤 学	がん薬物治療科	3,500,000	補委 国立研究開発法人国 立がん研究センター
アセトアルデヒド代謝機能改善に基づく食道癌がん 予防法の開発	大橋 真也	がん薬物治療科	1,430,000	補委 文部科学省
DOTATOC陽性胸腺腫瘍におけるOctreotide LAR/PSL併用療法	永井 宏樹	がん薬物治療科	1,690,000	補委 文部科学省
大腸癌幹細胞と上皮間葉転換大腸癌細胞に共通 する抗癌剤治療抵抗性メカニズムの解明	松原 淳一	がん薬物治療科	1,430,000	補委 文部科学省
視野融合とウェアラブルデバイスを用いた低侵襲手 術の統合的教育システムの開発	小瀨 和貴	消化管外科	1,300,000	補委 文部科学省
癌微小環境における骨髄由来細胞をターゲットとし た新たな大腸癌治療戦略	河田 健二	消化管外科	1,690,000	補委 文部科学省
消化器癌腹膜播種に対するゼラチンを用いた徐放 化製剤による腹腔内化学療法の確立	角田 茂	消化管外科	1,560,000	補委 文部科学省
正常大腸幹細胞を傷害しない大腸癌幹細胞特異 的治療ターゲットの解明	久森 重夫	消化管外科	1,560,000	補委 文部科学省
細胞初期化技術を用いた細胞腫特異性発癌の検 証	橋本 恭一	消化管外科	1,560,000	補委 文部科学省
iPS技術によるがん抗原特異的再生T細胞を用い た、大腸癌の選択的細胞移入療法	高橋 亮	消化管外科	2,080,000	補委 文部科学省
血管イメージングの診断法開発	戸井 雅和	乳腺外科	14,300,000	補委 国立研究開発法人科 学技術振興機構
エピジェネティクスによる乳癌血中循環DNAの由来 プロファイリングとその臨床応用	佐藤 史頭	乳腺外科	7,410,000	補委 文部科学省
乳癌における、ミトコンドリア複合体 I が上皮間葉 転換に及ぼす影響の解明	松本 純明	乳腺外科	1,430,000	補委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
一酸化炭素を用いた脂肪肝グラフトの包括的保存戦略～毒ガスを体外で薬に変える～	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	4,680,000	補委 文部科学省
血清を用いた新規概念による膵癌検出手法の開発	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補委 文部科学省
肝移植後微小血管障害症に対する補体制御の有効性に関する医師主導型第Ⅱ/Ⅲ相治験	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	23,686,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	9,000,000	補委 国立大学法人九州大学
手術の安全性向上における3次元肝臓模型の有効性に関する検討	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	4,290,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生体肝臓由来3次元scaffoldを用いた臓器形成と移植グラフトとしての可能性	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	1,690,000	補委 文部科学省
iPS細胞由来自己細胞と脱細胞化肝臓を用いた移植可能人工肝臓作製に関する研究	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	6,240,000	補委 文部科学省
脂肪性肝炎における肝臓迷走神経を介した代謝と炎症制御機構の探究	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	1,950,000	補委 文部科学省
肝移植グラフト肝におけるHLA発現の移植免疫応答における意義の解明	吉澤 淳	肝胆膵・移植外科	2,340,000	補委 文部科学省
肝非実質細胞機能の評価法確立に向けて～ADAMTS13とその先にあるもの～	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	3,120,000	補委 文部科学省
プロジェクションマッピングによる近赤外画像の可視化とリアルタイムナビゲーションによる手術システムの開発	瀬尾 智	肝胆膵・移植外科	17,300,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
創薬・薬剤試験への応用を目指した、脱細胞化細胞外基質を足場とする培養法の確立	福光 剣	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補委 文部科学省
水素を用いた肝境界グラフト臓器保存戦略ー肝再生と障害の観点から	小川 絵里	小児外科	1,950,000	補委 文部科学省
iPS細胞から毛様体を再生し眼疾患を治療する	鈴間 潔	眼科	1,170,000	補委 文部科学省
原発開放隅角緑内障の緑内障手術治療効果に影響する遺伝因子の検討と治療効果予測	赤木 忠道	眼科	1,560,000	補委 文部科学省
次世代補償光学眼底イメージングを用いた萎縮型加齢黄斑変性の病態解明と治療開発	大音 壮太郎	眼科	1,690,000	補委 文部科学省
培養角膜内皮細胞を用いた水疱性角膜症に対する革新的再生医療の早期事業承認による社会還元	亀田 隆範	眼科	390,000	補委 京都府公立大学法人
斜視患者における3D映像を用いた立体感覚の定量的解析	宮田 学	眼科	780,000	補委 文部科学省
補償光学走査型レーザー検眼鏡を用いた網膜静脈閉塞に併発する黄斑浮腫の病態解明	村岡 勇貴	眼科	1,690,000	補委 文部科学省
低侵襲生体イメージングを用いた糖尿病網膜症の統合的評価方法の開発	村上 智昭	眼科	1,300,000	補委 文部科学省
近視性脈絡膜新生血管の発症および病巣径に関連する遺伝因子の解明	中西 秀雄	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
新規SRPK阻害剤による眼内新生血管局所治療薬の開発	諸岡 諭	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
分岐鎖アミノ酸製剤に関する細胞保護メカニズム解明	岩井 祥子	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
生体ナノ材料を用いた加齢黄斑変性の新規治療法の開発	須田 謙史	眼科	1,430,000	補委 文部科学省
培養口腔粘膜上皮細胞シートによる涙道再生治療の開発	藤本 雅大	眼科	1,950,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
食品の違いが卵巣がんの進展に影響を及ぼすメカニズムの解析	松村 謙臣	産科婦人科	1,690,000	補委 文部科学省
卵巣癌においてベパシズマブ抵抗性をもたらす腫瘍免疫抑制機序の解明	安彦 郁	産科婦人科	1,950,000	補委 文部科学省
難治性卵巣明細胞癌のTOP2A遺伝子増幅例に対する新規治療薬の探索	村上 隆介	産科婦人科	1,430,000	補委 文部科学省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	平家 俊男	小児科	28,348,000	補委 厚生労働省
自己炎症性疾患の分子病態解明に基づく最適医療基盤技術の創出	平家 俊男	小児科	12,740,000	補委 文部科学省
蛍光・発光蛋白質会合センサーを用いたNLRP3インフラソーム活性化機構の解明	平家 俊男	小児科	1,040,000	補委 文部科学省
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	平家 俊男	小児科	650,000	補委 国立大学法人九州大学
平成28年度子どもの健康と環境に関する全国調査京都ユニットセンター委託業務	平家 俊男	小児科	98,162,000	補委 環境省
自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備	平家 俊男	小児科	32,760,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
エピゲノム創薬による広汎性発達障害の克服	平家 俊男	小児科	5,215,470	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ダウン症に合併するTAMをモデルとしたがんの発症と退縮に関わるエピジェネティクスの解析	平家 俊男	小児科	3,900,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ジストロフィン欠損モデル動物を基盤とした筋ジストロフィーの新しい治療法開発	平家 俊男	小児科	1,000,000	補委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
難治性炎症病態を示す免疫異常症の原因遺伝子探索及び病態解明のための基盤構築	西小森 隆太	小児科	5,590,000	補委 文部科学省
分子病態に基づく血球貪食性リンパ組織球症の新規診療基盤開発	八角 高裕	小児科	1,430,000	補委 文部科学省
microRNAセンサーベクターを用いた白血球幹細胞の同定と新規治療法の開発	平松 英文	小児科	1,690,000	補委 文部科学省
MicroRNAを標的としたMRD測定系の開発と白血病制御に関する基盤技術の開発・RNAシーケンスを用いた小児ALLにおける融合遺伝子スクリーニング	平松 英文	小児科	13,880,000	補委 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
BZM-ALL-IIの治験実施	平松 英文	小児科	210,600	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
未知の遺伝子変異を有するQT延長症候群患者への安全な治療方針決定プロトコルの開発	馬場 志郎	小児科	1,430,000	補委 文部科学省
ヒトES細胞からの分化誘導システムを用いた小児固形腫瘍発生モデルの開発	梅田 雄嗣	小児科	1,430,000	補委 文部科学省
ショ糖内服による新生児足底穿刺時の疼痛軽減効果評価のための無作為比較試験	岩永 甲午郎	小児科	1,820,000	補委 文部科学省
臨床検体、iPS細胞、マウスモデルを用いたメバロン酸キナーゼ欠損症の病態解明	田中 孝之	小児科	1,950,000	補委 文部科学省
皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明	梶島 健治	皮膚科	60,190,000	補委 文部科学省
新規に同定した血管周囲脂肪組織による代謝と免疫のクロストーク	梶島 健治	皮膚科	1,820,000	補委 文部科学省
皮膚を場とした血管と免疫システム間のインターフェイスの理解	梶島 健治	皮膚科	5,850,000	補委 文部科学省
表皮を標的としたアトピー性皮膚炎の治療の最適化を目指す新規薬剤の開発	梶島 健治	皮膚科	23,920,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
病態解明(形質細胞型樹状細胞の薬剤過敏症候群の病態に果たす役割の解析)	梶島 健治	皮膚科	1,300,000	補委 国立大学法人新潟大学
イマチニブをツールとした自己免疫性水疱症における創薬研究	梶島 健治	皮膚科	59,800,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
皮膚の恒常性維持機構からアレルギークrostークへの展開	梶島 健治	皮膚科	14,300,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	梶島 健治	皮膚科	22,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
アトピー性皮膚炎の病態および経皮IgE誘導におけるSLAMの役割の解明	鬼頭 昭彦	皮膚科	650,000	補委 文部科学省
網羅的解析により新規に同定した未知のアトピー遺伝子の機能解明	大日 輝記	皮膚科	3,380,000	補委 文部科学省
末梢神経の生体イメージングを用いた新規止痒薬剤の開発	大塚 篤司	皮膚科	6,890,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
末梢神経と免疫細胞のクrostーク「皮膚搔痒のメカニズム解析を目指して」	中嶋 千紗	皮膚科	1,300,000	補委 文部科学省
イトラコナゾールによるヘッジホッグ伝達経路阻害と獲得免疫の解析	加来 洋	皮膚科	1,300,000	補委 文部科学省
新規疾患モデルを用いた次世代OMICS解析に立脚した革新的診断治療シーズの探索	小川 修	泌尿器科	9,620,000	補委 文部科学省
次世代型手術用シミュレータの開発	小川 修	泌尿器科	2,080,000	補委 文部科学省
統合リポドミクス・ゲノミクスを用いたホルモン感受性癌における革新的先制医療シーズの探索	小川 修	泌尿器科	18,300,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
遺伝子情報を用いた前立腺癌罹患リスク予測モデルの臨床応用と個別化治療法の開発	小川 修	泌尿器科	4,200,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
遺伝子多型を用いた前立腺癌リスク診断方法の開発	小川 修	泌尿器科	1,760,000	補委 国立研究開発法人理化学研究所
高感度質量分析法を用いた尿ペプチドミクスによる前立腺癌の新規標的分子の探索	井上 貴博	泌尿器科	650,000	補委 文部科学省
次世代質量分析を用いたリポドミクスによる泌尿器癌進展に関わる生理活性脂質の探索	山崎 俊成	泌尿器科	3,510,000	補委 文部科学省
尿路上皮特異的な時間生物学的アプローチによる夜間頻尿の病態解明	根来 宏光	泌尿器科	4,940,000	補委 文部科学省
代謝関連オミックス解析を用いた膀胱癌の新規発癌・進展経路の解明	寺田 直樹	泌尿器科	650,000	補委 文部科学省
種間新世代OMICSに基づく浸潤性膀胱癌新規動物モデルの開発	小林 恭	泌尿器科	4,420,000	補委 文部科学省
マウスおよびヒトiPS細胞を用いた頭頸部組織の再生技術開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,900,000	補委 文部科学省
細胞内シグナル伝達から明らかにする気管再生機構	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委 文部科学省
前庭神経炎のベタヒスチン大量療法に関する研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	350,000	補委 国立大学法人徳島大学
難聴患者における認知機能評価法の新規開発と補聴器装用が影響する認知機能・症状の解明	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
支持細胞に着目した内耳蝸牛の病態の解明および再生の可能性	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補委 文部科学省
中・下咽頭表在癌における上皮下浸潤機構の解明	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補委 文部科学省

小計 25

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,146,000	補委 国立大学法人熊本大学
声帯痙攣患者に対するKP-100(ヒト組み換えHGF;肝細胞増殖因子)の声帯内投与に関する第I/II相試験-医師主導治験-	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	25,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
加齢性難聴におけるIGF1情報伝達系の役割	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補委 文部科学省
リコンビナントヒトIGF-1(メカセルミン)の突発性難聴への適応拡大のための医師主導型治験	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	49,897,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する内視鏡下頭蓋底手術の標準化を目指した多施設共同研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
内耳における組織マクロファージの役割とCsf1r伝達系による制御	岡野 高之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,120,000	補委 文部科学省
声帯組織の維持・修復における上皮間葉転換の役割	北村 守正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補委 文部科学省
修飾ナノキャリアを用いた内耳薬物送達機構の解明と開発	喜多 知子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補委 文部科学省
色素性乾皮症患者由来iPS細胞を用いた感音性難聴発症機構の解析と疾患モデルの開発	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補委 文部科学省
転写因子導入による蝸牛有毛細胞の分化誘導	伊木 健浩	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補委 文部科学省
声帯におけるスローサイクリング細胞の機能の解明	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補委 文部科学省
持続的な成長因子シグナリングを可能にする人工気管の開発	中村 亮介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補委 文部科学省
内耳におけるアクチン構造様式とその制御の包括的解析	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,200,000	補委 文部科学省
ミトコンドリア1555変異と薬剤性難聴の新展開:iPSとMITO-Porter	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補委 文部科学省
軟骨下骨の脆弱性に着目した変形性関節症発生・増悪機構の解明及び新たな治療法の開発	松田 秀一	整形外科	5,590,000	補委 文部科学省
変形性膝関節症の発症・増悪予測スコア作成により要介護を防止する治療戦略構築	松田 秀一	整形外科	19,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
特異性大腿骨頭壊死症におけるbFGF含有ゼラチンハイドロゲルによる壊死骨再生治療の開発	松田 秀一	整形外科	9,829,820	補委 国立大学法人岐阜大学
健全な膝関節と同等の機能を持つ人工膝関節システムの開発-術中に安定性を評価し、最適化が可能なインプラント・手術器具の開発-	松田 秀一	整形外科	17,693,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
関節リウマチにおける傍関節性骨髄変化の病態と関節破壊に及ぼす影響	伊藤 宣	整形外科	2,730,000	補委 文部科学省
腕神経叢引き抜き損傷に対する前処理自家神経を用いた神経根再移植術	太田 壮一	整形外科	2,080,000	補委 文部科学省
優れた骨結合能を有する高分子ポリマー脊椎インプラントの開発	大槻 文悟	整形外科	1,560,000	補委 文部科学省
バイオフィルムに着目した、整形外科術後インプラント感染の治療法の検討	西谷 江平	整形外科	1,430,000	補委 文部科学省
高次脳機能障害者の診断・リハビリ・社会復帰促進パスの策定	村井 俊哉	精神科神経科	23,100,000	補委 厚生労働省
血清NMRデータを用いた電気けいれん療法の効果予測	村井 俊哉	精神科神経科	1,300,000	補委 文部科学省
統合失調症の社会性障害に関わる神経ネットワークとその可塑性	村井 俊哉	精神科神経科	6,370,000	補委 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
行動選択を制御する線条体神経アンサンブルの役割の解析	村井 俊哉	精神科神経科	1,100,000	補委 文部科学省
社会・生活における主体価値の動態解明	村井 俊哉	精神科神経科	50,830,000	補委 文部科学省
脳情報クラウド	村井 俊哉	精神科神経科	6,000,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
MRI画像を基点とした発達障害・統合失調症関連バイオマーカーの同定	村井 俊哉	精神科神経科	23,006,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
統合失調症における脳内意味表象ネットワーク異常の定量	高橋 英彦	精神科神経科	1,820,000	補委 文部科学省
精神疾患における思考の障害の神経基盤の解明と支援法の開発	高橋 英彦	精神科神経科	16,380,000	補委 文部科学省
BMI技術を応用した精神疾患に対するバイオマーカーとニューロモジュレーション技術の開発	高橋 英彦	精神科神経科	11,968,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発	高橋 英彦	精神科神経科	9,999,999	補委 国立研究開発法人情報通信研究機構
認知的バイアス課題、行動薬理学的手法、脳領域間結合解析による妄想の形成基盤の解明	宮田 淳	精神科神経科	1,170,000	補委 文部科学省
摂食障害の衝動性に関する心理社会的要因と神経基盤についての総合的研究	野間 俊一	精神科神経科	1,950,000	補委 文部科学省
脳損傷後に生じる社会的行動障害の多面的・縦断的研究—構造・機能画像を用いて—	上田 敬太	精神科神経科	1,040,000	補委 文部科学省
多モダリティ脳画像を用いたコネクティビティ解析による緊張病候群の神経基盤の解明	諏訪 太郎	精神科神経科	650,000	補委 文部科学省
統合失調症の脳構造異常進行のパターンとそれに促進的・保護的に関与する因子の探索	杉原 玄一	精神科神経科	1,430,000	補委 文部科学省
精神科臨床現場での肺塞栓症メカニズムの解明：人工静脈モデルの実測、画像・数理解析	杉田 尚子	精神科神経科	1,820,000	補委 文部科学省
統合失調症の脳内グルタミン酸と脳構造・血流への影響	吉原 雄二郎	精神科神経科	1,430,000	補委 文部科学省
統合失調症の社会認知と認知リハビリテーション効果に寄与する神経基盤の統合的解明	松本 有紀子	精神科神経科	780,000	補委 文部科学省
高次脳機能患者の社会復帰を促進する認知リハビリテーションの有効性と作用機序の解明	生方 志浦	精神科神経科	1,950,000	補委 文部科学省
血清カルボニルストレスと脳結合性異常による統合失調症新規診断基準の検討	孫 樹洛	精神科神経科	2,080,000	補委 文部科学省
希少疾患先天性無歯症治療薬の開発研究—分子標的治療による欠損歯の再生	高橋 克	歯科口腔外科	16,874,044	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
口腔機能別オーラルケア・マネジメントの全身合併症低下に関する検討	山口 昭彦	歯科口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省
薬剤誘発性顎骨壊死に関する遺伝学的要因の解明に関する研究	浅井 啓太	歯科口腔外科	1,560,000	補委 文部科学省
CNPおよび疾患特異的iPS細胞を用いた新たな顎変形症治療の開発	中尾 一祐	歯科口腔外科	1,430,000	補委 文部科学省
転写因子C/EBPβとRunx2に関する歯の再生技術開発へ向けた基礎研究	斎藤 和幸	歯科口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省
第3歯堤の刺激による歯の再生に関する研究	喜早 ほか	歯科口腔外科	1,170,000	補委 文部科学省
高リスク前立腺がんに対する寡分割立体回転強度変調放射線治療法の開発	溝脇 尚志	放射線治療科	1,040,000	補委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん診断・治療ナビゲーションシステムの研究開発	溝脇 尚志	放射線治療科	37,129,300	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん放射線療法における慢性炎症およびサルコペニア: 暦年齢に代わる予後指標の確立	松尾 幸憲	放射線治療科	1,430,000	補委 文部科学省
放射線と併用し増感作用を呈する薬剤の検討とその微小環境への影響の検証	吉村 通央	放射線治療科	1,430,000	補委 文部科学省
がん特異的なUCHL1-HIF-1経路制御機構解明と放射線治療効果増感への展開	後藤 容子	放射線治療科	1,430,000	補委 文部科学省
四次元画像誘導放射線治療の高精度化のための新たな腫瘍未来位置予測モデルの開発	椋本 宜学	放射線治療科	1,430,000	補委 文部科学省
最新MR機能画像を用いた妊孕能評価と悪性腫瘍予後推定法の実用化	富樫 かおり	放射線診断科	4,940,000	補委 文部科学省
スパースモデリングを用いた新しい医用MRI画像の創生	富樫 かおり	放射線診断科	13,910,000	補委 文部科学省
非線形位置合わせに基づく経時差分画像を用いた骨転移検出支援を行うためのソフトウェアの開発	磯田 裕義	放射線診断科	11,999,841	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
超高磁場MRIによる脳神経-血管相互作用アトラスマップの作成	山本 憲	放射線診断科	1,170,000	補委 文部科学省
正常及び異常胎盤の娩出前後のMR画像と病理評価の比較検討による胎盤形態・機能評価	木戸 晶	放射線診断科	520,000	補委 文部科学省
白質線維束描出と皮質間機能的結合の融合による器質的脳疾患の描出	岡田 務	放射線診断科	1,040,000	補委 文部科学省
非造影MRAと圧縮センシングの融合を軸とした肝移植ドナー術前MRI検査法の確立	有菌 茂樹	放射線診断科	1,690,000	補委 文部科学省
Wnt/ β カテニン経路に対する麻酔薬とオピオイドの作用に関する研究	福田 和彦	麻酔科	1,690,000	補委 文部科学省
生体肝移植手術における急性腎障害発症のメカニズム解明および予防法の確立	溝田 敏幸	麻酔科	910,000	補委 文部科学省
肝移植再灌流血漿中の血管拡張物質の探索	正田 丈裕	麻酔科	1,300,000	補委 文部科学省
代謝モード解析を基軸とした麻酔薬が膵 β 細胞のインスリン分泌へ与える影響の研究	鈴木 堅悟	麻酔科	1,560,000	補委 文部科学省
硫化水素代謝が低酸素環境下で細胞の代謝リプログラミングに与える影響の研究	甲斐 慎一	麻酔科	2,340,000	補委 文部科学省
FFPEを用いた松果体実質性腫瘍の分子基盤同定の挑戦	宮本 享	脳神経外科	1,820,000	補委 文部科学省
血管狭窄因子RNF213の修飾因子特定とそれに基づく疾患モデルと新規治療法の確立	宮本 享	脳神経外科	6,890,000	補委 文部科学省
もやもや病診療の質を高めるためのエビデンス構築を目指した包括的研究(レジストリ構築のための学外ワーキンググループ)	宮本 享	脳神経外科	500,000	補委 国立大学法人北海道大学
多能性幹細胞(iPS細胞)を利用した脳梗塞に対する再生医療の開発	高木 康志	脳神経外科	4,290,000	補委 文部科学省
画像診断とバイオマーカーを用いた頸動脈不安定プラークの多角的診断法開発	吉田 和道	脳神経外科	780,000	補委 文部科学省
低悪性度グリオーマのリプログラミング技術を用いたエピゲノム解析	荒川 芳輝	脳神経外科	2,080,000	補委 文部科学省
小児もやもや病の多施設コホート研究: 成人後のQOLの解明と関連要因の探索	舟木 健史	脳神経外科	650,000	補委 文部科学省
もやもや病の環境および遺伝因子の特定と早期診断法の確立	峰晴 陽平	脳神経外科	1,950,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性脳腫瘍および脳血管障害の予兆を捉える稀少細胞診断システムの開発	峰晴 陽平	脳神経外科	850,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
新規基材と機能性タンパク質を用いた弾性線維の三次元的再生医療の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	7,540,000	補委 文部科学省
機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発および臨床研究	鈴木 茂彦	形成外科	6,604,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
深屈曲で動脈が閉塞しないのはなぜか:動脈に抗屈曲安定性を与える解剖学的機構の解明	齊藤 晋	形成外科	1,300,000	補委 文部科学省
発生学的アプローチによる口蓋筋機能の解明と臨床応用	岸本 英明	形成外科	2,340,000	補委 文部科学省
bFGFとの結合を介するLTBP-2の創傷治癒における機能的役割の解明	野田 和男	形成外科	1,170,000	補委 文部科学省
拡張型心筋症治療を目指した新たな自己抗体除去システムDNCSの開発	湊谷 謙司	心臓血管外科	6,370,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞由来間葉系幹細胞を用いた心臓血管外科領域の炎症反応抑制療法の開発	山崎 和裕	心臓血管外科	6,500,000	補委 文部科学省
疾患iPS細胞由来三次元バイオマテリアル心臓組織を用いた心筋症治療薬の開発	升本 英利	心臓血管外科	1,560,000	補委 文部科学省
心筋再生治療を目指したヒトiPS細胞由来集学的多層組織化移植片の構築	中田 朋宏	心臓血管外科	1,820,000	補委 文部科学省
心停止ドナーからの肺移植実現をめざした体外循環装置中吸入療法による肺傷害修復実験	伊達 洋至	呼吸器外科	2,990,000	補委 文部科学省
胸腺癌におけるトランスクリプトームおよび全コピー数解析、有効な薬剤の探索	伊達 洋至	呼吸器外科	2,470,000	補委 文部科学省
非扁平上皮小細胞肺癌に対するペメトレキセドを用いた術後補助化学療法	伊達 洋至	呼吸器外科	130,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
肺移植における抗体性拒絶の早期診断法と低用量IL-2を用いた新規治療法の開発	青山 晃博	呼吸器外科	1,690,000	補委 文部科学省
血液型不適合やクロスマッチ陽性肺移植の実現を目指す、各種抗体に関する多角的な研究	陳 豊史	呼吸器外科	1,950,000	補委 文部科学省
サーモグラフィーを用いた非侵襲的な移植肺グラフトの評価方法の開発	本山 秀樹	呼吸器外科	1,950,000	補委 文部科学省
肺癌におけるErbBfamily受容体からのEMT活性化シグナル標的分子の同定	毛受 暁史	呼吸器外科	1,170,000	補委 文部科学省
チロシンキナーゼ阻害剤を用いた新たな臓器保存・虚血再灌流肺障害治療戦略	土屋 恭子	呼吸器外科	1,950,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞由来三次元管腔組織を用いた神経再生	池口 良輔	リハビリテーション科	1,690,000	補委 文部科学省
細胞外マトリックスの3次元定量による肺の成長・過膨張・気腫形成の病態解明	佐藤 晋	リハビリテーション科	1,690,000	補委 文部科学省
先進医療を推進するための感染症迅速診断法の確立と診療介入	一山 智	検査部	910,000	補委 文部科学省
固形臓器移植後患者の敗血症イベントにおける腸内フローラの解析	長尾 美紀	検査部	1,170,000	補委 文部科学省
ESBL産生大腸菌ST131クローンの全ゲノム解析による責任サブクローン同定	松村 康史	検査部	650,000	補委 文部科学省
出生後早期発現遺伝子群による心筋細胞増殖制御およびその分子機序の検討	中島 康弘	検査部	1,820,000	補委 文部科学省
白血病細胞純化システムを用いた急性骨髄性白血病の新規予後因子探索	松尾 英将	検査部	3,510,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌診療情報と基礎解析の統合データベースを用いた診療支援ツール開発に関する研究	高田 正泰	手術部	2,340,000	補委 文部科学省
NMDA受容体拮抗薬の鎮痛作用におけるオピオイド受容体ファミリーの関与	深川 博志	手術部	1,950,000	補委 文部科学省
68Ga-DOTATOC-PET/CTによる腫瘍および炎症の画像診断	中本 裕士	放射線部	1,300,000	補委 文部科学省
イメージング質量分析法による低酸素診断用PET製剤の抽出機序解明・創薬への展開	志水 陽一	放射線部	1,560,000	補委 文部科学省
乳房MRIにおける超高速撮像法を用いたWash In Phaseの評価	金尾 昌太郎	放射線部	1,430,000	補委 文部科学省
CEST画像による乳腺病変の分子イメージングとこれを用いた非造影乳房MR診断法	片岡 正子	放射線部	1,430,000	補委 文部科学省
乳癌に対する術後放射線治療の体表マーカーレス化と治療の高精度化に関する研究	藤本 隆広	放射線部	1,040,000	補委 文部科学省
テラヘルツ計測、代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立	佐藤 格夫	救急部	2,210,000	補委 文部科学省
低酸素環境に潜むCML幹細胞の動態解明に基づく革新的な分子標的治療法の開発	前川 平	輸血細胞治療部	2,340,000	補委 文部科学省
骨髄間葉系間質細胞を標的とした前駆B細胞性急性白血病治療に関する検討	三浦 康生	輸血細胞治療部	1,690,000	補委 文部科学省
卵巣癌の発生・進展に関わる宿主免疫のゲノム解析と治療開発への基礎的検討	濱西 潤三	周産母子診療部	4,680,000	補委 文部科学省
分子バーコード法を用いた自己炎症性疾患の低頻度モザイク検出パイプラインの構築	井澤 和司	周産母子診療部	1,300,000	補委 文部科学省
FLNA異常症の病態解明、診断法の確立、および新規治療法の開発	河合 朋樹	周産母子診療部	1,560,000	補委 文部科学省
ケモゲノムクスを用いた子宮頸癌に対する個別化治療の開発	吉岡 弓子	周産母子診療部	1,950,000	補委 文部科学省
実世界指向ユビキタス病院情報システムの開発	黒田 知宏	医療情報企画部	2,860,000	補委 文部科学省
医療者-妊婦共創型電子母子健康手帳システムの開発	黒田 知宏	医療情報企画部	1,820,000	補委 文部科学省
画像データ管理環境の構築	黒田 知宏	医療情報企画部	58,315,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
ソーシャル・ビッグデータ活用・基盤技術の研究開発 課題A	黒田 知宏	医療情報企画部	1,189,650	補委 国立研究開発法人情報通信研究機構
ソーシャル・ビッグデータ活用アプリケーションの研究開発 臨床現場の安全と効率化を支援するIoT情報基盤の研究開発	黒田 知宏	医療情報企画部	845,000	補委 総務省
在宅妊婦見守りシステムの開発(162307005)	黒田 知宏	医療情報企画部	845,000	補委 総務省
全レセプトデータの眼科領域での活用基盤整備と糖尿病眼合併症研究への活用	田村 寛	医療情報企画部	1,560,000	補委 文部科学省
インタラクティブ検索を利用した診療情報からの仮説生成支援環境の構築	岡本 和也	医療情報企画部	1,560,000	補委 文部科学省
拡張現実感に基づくインタラクティブディスプレイのための基盤技術の開発	山本 豪志朗	医療情報企画部	1,820,000	補委 文部科学省
複合現実感型スポーツトレーニング支援技術基盤の研究開発	山本 豪志朗	医療情報企画部	1,040,000	補委 総務省
がんの発生・進展におけるバイオマーカーとしてのインスリン様増殖因子の活性化	宮本 心一	内視鏡部	1,430,000	補委 文部科学省
鉄代謝関連分子Ngalの炎症性腸疾患における役割とその鉄利用阻害に基づく治療開発	松浦 稔	内視鏡部	1,170,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
表面抗原CEACAM1によるヒトマストサイトーシスの診断および治療法の開発	片岡 竜貴	臓器移植医療部	1,690,000	補委 文部科学省
β細胞置換療法における細胞処置法確立へのバイオインフォマティクスのアプローチ	穴澤 貴行	臓器移植医療部	1,430,000	補委 文部科学省
肝臓移植医療推進に向けたチーム移植医療教育指針および患者支援プログラムの開発	山敷 宣代	臓器移植医療部	1,300,000	補委 文部科学省
肝移植後再発を手がかりとした非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明	上田 佳秀	臓器移植医療部	1,690,000	補委 文部科学省
がん化学療法における分子標的薬誘発手足症候群の治療薬提言に向けた発症機序の解明	松原 和夫	薬剤部	1,820,000	補委 文部科学省
活性酸素感受性TRPチャネルによる痛み・しびれの発生および慢性化機構の解明	中川 貴之	薬剤部	4,160,000	補委 文部科学省
しびれ動物モデルでの感覚神経線維特異的評価系の確立とその発症機序の解明	中川 貴之	薬剤部	1,820,000	補委 文部科学省
末梢循環障害に伴う末梢温低下による不快な異常感覚におけるTRPA1の役割の解析	中川 貴之	薬剤部	4,550,000	補委 文部科学省
薬物による尿細管間質性腎炎の発症機序解明	中川 俊作	薬剤部	1,950,000	補委 文部科学省
フルオロウラシルおよび代謝物の同時測定法構築とその有用性に関する研究	石橋 直哉	薬剤部	460,000	補委 文部科学省
うつ病による二次性不眠症に対する各種睡眠薬の使用状況および有効性に関する調査研究	重面 雄紀	薬剤部	490,000	補委 文部科学省
オキサリプラチンの後根神経節細胞への蓄積機構解明に基づく末梢神経障害回避法の開発	梶原 望渡	薬剤部	1,820,000	補委 文部科学省
院内製剤レボチロキシンナトリウム坐剤の体内動態関連因子と製剤学的安定性の検討	南 いく子	薬剤部	550,000	補委 文部科学省
トレーシングレポートを活用した地域におけるチーム医療の確立と情報共有の有用性評価	磯本 唯	薬剤部	300,000	補委 文部科学省
多次元・多時点ヘルスデータにバイジアンネットワークを活用した予防と医療の連携	福間 真悟	総合臨床教育・研修センター	1,950,000	補委 文部科学省
看護シミュレーション教育の充実を目指したファンリテータ育成プログラム構築	内藤 知佐子	総合臨床教育・研修センター	1,950,000	補委 文部科学省
腹腔鏡拡大視効果による手術解剖を中心とした直腸局所解剖と生理学的機能評価	肥田 侯矢	総合臨床教育・研修センター	2,340,000	補委 文部科学省
血管新生抑制因子THBS1の白色脂肪細胞褐色化における意義	井上 真由美	総合臨床教育・研修センター	1,170,000	補委 文部科学省
伝統芸能・武道の精神的健康増進作用に関する脳画像研究	藤原 広臨	総合臨床教育・研修センター	1,690,000	補委 文部科学省
看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価	加藤 源太	診療報酬センター	7,800,000	補委 厚生労働省
レセプト分析に資するレセプト各種コードの新たな分類及び分析ツール開発に関する研究	加藤 源太	診療報酬センター	4,420,000	補委 文部科学省
膵癌の機能的診断を目標とした新規バイオマーカーの開発	増井 俊彦	診療報酬センター	1,300,000	補委 文部科学省
プロスタグランジン受容体シグナルによる糖代謝恒常性制御機構の解明	横出 正之	臨床研究総合センター	1,950,000	補委 文部科学省
京都大学大学院における臨床統計家育成のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発	森田 智視	臨床研究総合センター	12,350,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
抗原特異的免疫反応制御機構の分子基盤	清水 章	臨床研究総合センター	1,950,000	補委 文部科学省

小計 25

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
治験体制整備・事務・実用化の支援	清水 章	臨床研究総合センター	3,000,000	補委 国立大学法人鹿児島大学
クリスタリン網膜症の病態解明および新規治療法の開発	池田 華子	臨床研究総合センター	4,810,000	補委 文部科学省
加齢黄斑変性に対する病態解明および新規治療法開発	池田 華子	臨床研究総合センター	1,560,000	補委 文部科学省
時間・空間依存性を考慮した超多変量関数データ解析法の開発と生命科学への応用	山本 倫生	臨床研究総合センター	1,040,000	補委 文部科学省
慢性炎症性疾患の病態制御におけるマクロファージEPRAPの役割と診断・治療応用	南 学	臨床研究総合センター	1,040,000	補委 文部科学省
制御性T細胞の減少による免疫学的不均衡が皮膚炎に及ぼす影響の研究	野村 尚史	臨床研究総合センター	650,000	補委 文部科学省
VCP ATPase阻害剤による虚血性眼疾患に対する新規神経保護治療の開発	畑 匡侑	臨床研究総合センター	2,080,000	補委 文部科学省
ジェネラリスト看護師における臨床判断能力の評価手法の開発	秋山 直美	臨床研究総合センター	1,040,000	補委 文部科学省
大脳皮質細胞サブタイプの脳波リズムへの関与	牛丸 弥香	臨床研究総合センター	650,000	補委 文部科学省
消化管内視鏡を用いた生体内蛍光イメージングによる分子標的薬の治療効果予測	瀬戸山 健	がんセンター	1,430,000	補委 文部科学省
有効性と安全性を維持した在宅呼吸管理の対面診療間隔決定と機器使用のアドヒランスの向上を目指した遠隔モニタリングモデル構築を目指す検討	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	10,000,000	補委 厚生労働省
気道疾患の肺機能経年変化と全身病態に対する睡眠障害の影響と新治療体系の構築	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	1,950,000	補委 文部科学省
睡眠時無呼吸における全身性・気道炎症と併存病態の関連	小賀 徹	呼吸管理睡眠制御学	780,000	補委 文部科学省
てんかんにおける低周波活動の発現機構及び脳内ネットワークの動態解明	井内 盛遠	呼吸管理睡眠制御学	1,820,000	補委 文部科学省
切除不能・術後再発胆道癌に対するFOLFIRIN OX療法	金井 雅史	臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座	1,950,000	補委 国立大学法人東京大学
関節リウマチ滑膜の上皮間葉移行の分子機構の解析と新規治療法への応用	田中 真生	リウマチ性疾患制御学講座	1,820,000	補委 文部科学省
C57BL/6背景のSKGマウスを用いたSLEの病態解明	橋本 求	リウマチ性疾患制御学講座	1,560,000	補委 文部科学省
既存抗がん薬の抗腫瘍免疫増強作用に関する臨床薬理学的検討	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	2,470,000	補委 文部科学省
肝癌の治療標的探索を目的とした線維化関連間質細胞の基礎研究	祝迫 恵子	標的治療腫瘍学講座	1,300,000	補委 文部科学省
ヒトてんかん焦点の発動原理のダイナミズム(wideband EEGのミクロ視野)	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	1,560,000	補委 文部科学省
ヒト脳発振現象の直接記録	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	20,410,000	補委 文部科学省
難治性てんかん病態におけるグリア機能の解明と診療ガイドライン作成の研究	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	800,000	補委 国立大学法人東京医科歯科大学
脳卒中後てんかんの急性期診断・予防・治療指針の策定	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	2,964,000	補委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
複合的マッピング法を用いた漢字・仮名の読字書字に関する神経基盤の解明	下竹 昭寛	てんかん・運動異常生理学講座	1,690,000	補委 文部科学省
肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療標的としてのTRPC6, MRTF-Aの意義	木下 秀之	地域医療システム学講座	1,690,000	補委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心肥大で誘導される新規lincRNAの、筋組織における核内制御と核内機能の解明	桑原 康秀	地域医療システム学講座	2,080,000	補委 文部科学省
RNAiスクリーニング法にて同定された肝癌における新規癌関連遺伝子の機能解析	高井 淳	地域医療システム学講座	1,820,000	補委 文部科学省
骨形成促進作用を有する次世代型生体活性チタン金属の開発	藤林 俊介	運動器機能再建学講座	1,690,000	補委 文部科学省
人工関節置換術と椎体形成術の長期成績を向上させる新規骨セメントの開発	後藤 公志	運動器機能再建学講座	910,000	補委 文部科学省
ヒトIPS細胞を用いた化合物スクリーニングによる副腎皮質分化・再生の分子機構解明	曾根 正勝	代謝制御学講座	1,040,000	補委 文部科学省
高齢者の多様性を規定する老化恒常性維持に必要な代謝特性解明の基盤的研究	近藤 祥司	地域ネットワーク医療部	4,680,000	補委 文部科学省
メタボーム分析による高齢者寝たきり予防の基盤となる新規老化関連メタボライト探索	近藤 祥司	地域ネットワーク医療部	1,690,000	補委 文部科学省
肝臓におけるリンを用いたMRスペクトロスコピーの確立とその臨床的有用性の検討	磯田 裕義	先制医療・生活習慣病研究センター	2,210,000	補委 文部科学省
動脈硬化プラークにおける特異的マクロファージの検出	西 仁勇	先制医療・生活習慣病研究センター	1,430,000	補委 文部科学省
"Hypermethylated-type" 大腸がんの診断バイオマーカーの開発	山田 敦	先制医療・生活習慣病研究センター	1,170,000	補委 文部科学省
深層学習を用いたCT肺癌検診のためのソフトウェア開発	西尾 瑞穂	先制医療・生活習慣病研究センター	1,820,000	補委 文部科学省
臓器特異的な甲状腺ホルモン脱ヨード酵素の発現調節因子の探索と機序の解明	坂根 依利子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,430,000	補委 文部科学省
遺伝カウンセリングにおける一般診療と専門診療の機能区分の設定	三宅 秀彦	倫理支援部	1,040,000	補委 文部科学省
がん患者が「最期までその人らしく生きる」を支える日本型ACP看護支援モデルの構築	竹之内 沙弥香	倫理支援部	1,950,000	補委 文部科学省
インスリン分泌における α ケトグルタル酸脱水素酵素の役割	小倉 雅仁	先端糖尿病学講座	2,340,000	補委 文部科学省
表面抗原KIR2DL4によるランゲルハンス細胞組織球症の診断および治療法の開発	上島 千幸	病理部	2,080,000	補委 文部科学省

小計 16
合計 391

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Arai Y, Kondo T, Yamazaki H et al.	血液・腫瘍内 科	Allogeneic unrelated bone marrow transplantation from older donors results in worse prognosis in recipients with aplastic anemia.	Haematologica 201605;101:644-652	Original Article
2	Hirabayashi S, Kondo T, Oka T et al.	血液・腫瘍内 科	Successful treatment of severe acute gastrointestinal graft-versus-host disease complicated by cytomegalovirus gastroenteritis with intra-arterial steroid infusion.	Annals of hematology 201608;95:1373-1375	Original Article
3	Ishii A, Kondo T, Oka T et al.	血液・腫瘍内 科	Granulocytic sarcoma of the pancreas on 18F-FDG PET/CT: A case report.	Medicine 201612;95:e5570	Case report
4	Yama K, Kitawaki T, Sugimoto N et al.	血液・腫瘍内 科	Principal component analysis uncovers cytomegalovirus-associated NK cell activation in Ph+ leukemia patients treated with dasatinib.	Leukemia 201606;31(1):203-212	Original Article
5	Kanda J, Brazauskas R, Hu ZH et al.	血液・腫瘍内 科	Graft-versus-Host Disease after HLA-Matched Sibling Bone Marrow or Peripheral Blood Stem Cell Transplantation: Comparison of North American Caucasian and Japanese Populations.	Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation 201604;22:744-751	Original Article
6	Kanda J, Ikegame K, Fuji S et al.	血液・腫瘍内 科	Haploidentical and Matched Sibling Donor Hematopoietic Cell Transplantation for Patients with HLA-Homozygous Haplotypes.	Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation 201611;22:2031-2037	Original Article
7	Kishimoto W, Nishikori M, Arima H et al.	血液・腫瘍内 科	Expression of Tim-1 in primary CNS lymphoma.	Cancer medicine 201611;5:3235-3245	Original Article
8	Maruyama W, Shirakawa K, Matsui H et al.	血液・腫瘍内 科	Classical NF- κ B pathway is responsible for APOBEC3B expression in cancer cells.	Biochemical and biophysical research communications 201609;478:1466-1471	Original Article
9	Matsui Y, Shindo K, Nagata K et al.	血液・腫瘍内 科	Core Binding Factor β Protects HIV, Type 1 Accessory Protein Viral Infectivity Factor from MDM2-mediated Degradation.	The Journal of biological chemistry 201611;291:24892-24899	Original Article
10	Matsui Y, Miura Y, Takaori- Kondo A	血液・腫瘍内 科	Solitary hepatic involvement of histologically and clinically indolent chronic lymphocytic leukemia. doi:10.12936/tenrikiyo.19-014	Tenri Med Bull 201604;19:122-123	Original Article

11	Sakamoto S, Kawabata H, Kanda J et al.	血液・腫瘍内科	High pretransplant hepcidin levels are associated with poor overall survival and delayed platelet engraftment after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Cancer medicine 201701;6:120-128	Original Article
12	Sakurada M, Kondo T, Umeda M et al.	血液・腫瘍内科	Successful treatment with intravesical cidofovir for virus-associated hemorrhagic cystitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A case report and a review of the literature.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 201607;22:495-500	Case report
13	Shirakawa K, Wang L, Man N et al.	血液・腫瘍内科	Salicylate, diffunisal and their metabolites inhibit CBP/p300 and exhibit anticancer activity.	Elife. 201605;31:e11156	Original Article
14	Yamazaki H, Aoki K, Kondo T et al.	血液・腫瘍内科	Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in cases of mature T/NK-cell neoplasms: a single-center retrospective analysis.	Annals of hematology 201702;96:323-326	Original Article
15	Fujita Y, Inagaki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	Metformin: New Preparations and Non-Glycemic Benefits.	Curr Diab Rep 201701;17(1):5	Original Article
16	Fujita Y, Inagaki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	Metformin: clinical topics and new mechanisms of action	Diabetol Int 201703;8:6	Original Article
17	Harada N, Inagaki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	The role of GIP receptor in beta-cell survival.	Diabetology International 201703;8:137-138	Original Article
18	Harashima SI, Nishimura A, Aki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	Attitudes of patients and physicians to insulin therapy in Japan: an analysis of the Global Attitude of Patients and Physicians in Insulin Therapy study.	Expert opinion on pharmacotherapy 201701;18:5-11	Original Article
19	Inagaki N, Araki E, Oura T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	The combination of dulaglutide and biguanide reduced body weight in Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetes Obes Metab. 201604;17(10):994-1002	Original Article
20	Inagaki N, Sano H, Seki Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Long-term safety and efficacy of a novel once-weekly oral trelagliptin as monotherapy or in combination with an existing oral antidiabetic drug in patients with type 2 diabetes mellitus: A 52-week open-label, phase 3 study.	J Diabetes Investig 201604;7(5):718-726	Original Article

21	Inagaki N, Harashima S, Maruyama N et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Efficacy and safety of canagliflozin in combination with insulin: a double-blind, randomized, placebo-controlled study in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Cardiovasc Diabetol. 201606;15:89	Original Article
22	Komatsu T, Chen-Yoshikawa TF, Oshima A et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Severe underweight decreases the survival rate in adult lung transplantation.	Surgery today 201703(オンライン)	Original Article
23	Kondo Y, Harada N, Hamasaki A et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Sitagliptin monotherapy has better effect on insulinogenic index than glimepiride monotherapy in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a 52-week, multicenter, parallel-group randomized controlled trial.	Diabetol Metab Syndr 201604;8:15	Original Article
24	Mori E, Fujikura J, Noguchi M et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Impaired adipogenic capacity in induced pluripotent stem cells from lipodystrophic patients with BSCL2 mutations.	Metabolism. 201604;65:543-556	Original Article
25	Nagashima K, Tanaka D, Inagaki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	Epidemiology, clinical characteristics, and genetic etiology of neonatal diabetes in Japan.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society 201702;59:129-133	Original Article
26	Nakamura T, Iwasaki Y, Yamane S et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Adiposity induced by interleukin-17A blockade.	Diabetes Metab 201604;S1262-3636:30441-30444	Original Article
27	Nishimura A, Harashima SI, Fujita Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Effects of structured testing versus routine testing of blood glucose in diabetes self-management: A randomized controlled trial.	Journal of diabetes and its complications 201701;31:228-233	Original Article
28	Sato H, Nagashima K, Obara M et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Src regulates insulin secretion and glucose metabolism by influencing subcellular localization of glucokinase in pancreatic β -cells.	J Diabetes Investig 201604;7:171-178	Original Article
29	Shibue K, Fujii T, Goto H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Rapid exacerbation of lymphocytic infundibuloneurohypophysitis.	Medicine 201703;96:e6034	Original Article
30	Ueda Y, Yasoda A, Yamashita Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	C-type natriuretic peptide restores impaired skeletal growth in a murine model of glucocorticoid-induced growth retardation.	Bone 201611;92:157-167	Original Article

31	Yamane S, Harada N, Inagaki N	糖尿病・内分泌・栄養内科	Mechanisms of fat-induced gastric inhibitory polypeptide/glucose-dependent insulinotropic polypeptide secretion from K cells.	J Diabetes Investig. 201604;1:20-26	Original Article
32	Yamashita Y, Yamada-Goto N, Katsuura G et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Brain-specific natriuretic peptide receptor-B deletion attenuates high-fat diet-induced visceral and hepatic lipid deposition in mice.	Peptides 201604;81:38-50	Original Article
33	Eso Y, Takai A, Matsumoto T et al.	循環器内科	MSH2 Dysregulation Is Triggered by Proinflammatory Cytokine Stimulation and Is Associated with Liver Cancer Development.	Cancer research 201606;76(15):4383-4393	Original Article
34	Horie T, Kimura T, Ono K	循環器内科	Emerging Novel Biomarkers for Arteriosclerosis Obliterans.	Journal of atherosclerosis and thrombosis 201604;23:171-172	Original Article
35	Kato T	循環器内科	A data sheet for the simultaneous assessment of dual radiotracer uptake in the heart	MethodsX 201604;3:289-296	Original Article
36	Kawaji T, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Long-term clinical outcomes in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction complicated by cardiogenic shock due to acute pump failure.	European heart journal. Acute cardiovascular care 201610 (オンライン)	Original Article
37	Kawaji T, Shiomi H, Morishita H et al.	循環器内科	Feasibility and diagnostic performance of fractional flow reserve measurement derived from coronary computed tomography angiography in real clinical practice.	The international journal of cardiovascular imaging 201702;33:271-281	Original Article
38	Kitai T, Taniguchi T, Morimoto T et al.	循環器内科	Different Clinical Outcomes in Patients with Asymptomatic Severe Aortic Stenosis According to the Stage Classification: Does the Aortic Valve Area Matter?	Int J Cardiol 201611;228:244-252	Original Article
39	Ko BS, Wong DT, Nørgaard BL et al.	循環器内科	Diagnostic Performance of Transluminal Attenuation Gradient and Noninvasive Fractional Flow Reserve Derived from 320-Detector Row CT Angiography to Diagnose Hemodynamically Significant Coronary Stenosis: An NXT Substudy.	Radiology 201604;279:75-83	Original Article
40	Murase K, Ono K, Yoneda T et al.	循環器内科	Adaptive servoventilation versus oxygen therapy for sleep disordered breathing in patients with heart failure: a randomised trial.	Open heart 201604;3:e000366	Original Article

41	Nagao K, Nonogi H, Yonemoto N et al.	循環器内科	Duration of Prehospital Resuscitation Efforts After Out-of-Hospital Cardiac Arrest.	Circulation 201604;133:1386-1396	Original Article
42	Nakagawa Y, Nishikimi T, Kuwahara K et al.	循環器内科	MIR30-GALNT1/2 axis-mediated glycosylation contributes to the increased secretion of inactive human pro-BNP from failing hearts	JAHA 201702;6:e003601	Original Article
43	Nakatsuma K, Saito N, Watanabe H et al.	循環器内科	Antegrade transcatheter aortic valve implantation using the looped Inoue balloon technique: A pilot study in a swine model.	Journal of cardiology 201605;69:260	Original Article
44	Nakatsuma K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Intravascular Ultrasound Guidance vs. Angiographic Guidance in Primary Percutaneous Coronary Intervention for ST-Segment Elevation Myocardial Infarction - Long-Term Clinical Outcomes From the CREDO-Kyoto AMI Registry.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 201604;80:477-484	Original Article
45	Nakatsuma K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Inter-Facility Transfer vs. Direct Admission of Patients With ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 201607;80:1764-1772	Original Article
46	Nakatsuma K, Shiomi H, Natsuaki M et al.	循環器内科	Second-generation versus first-generation drug-eluting stents in patients with and without diabetes mellitus: pooled analysis from the RESET and NEXT trials.	Cardiovascular intervention and therapeutics 201702 (オンライン)	Original Article
47	Nishiga M, Horie T, Kuwabara Y et al.	循環器内科	MicroRNA-33 Controls Adaptive Fibrotic Response in the Remodeling Heart by Preserving Lipid Raft Cholesterol.	Circulation research 201703;120:835-847	Original Article
48	Ono K	循環器内科	A Novel Link between Plasma MicroRNA-33b Levels and Lipid Disorders in Diabetes Mellitus.	J Atheroscler Thromb 201604;23:1259-1260	Original Article
49	Saito N	循環器内科	Regarding article, "A multi-artery fractional flow reserve (FFR) approach for handling coronary stenosis-stenosis interaction in the multi-vessel disease (MVD) arena".	International journal of cardiology 201607;214:526-527	Original Article
50	Shiomi H, Yamaji K, Morimoto T et al.	循環器内科	Very Long-Term (10 to 14 Year) Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting for Multivessel Coronary Artery Disease in the Bare-Metal Stent Era.	Circulation. Cardiovascular interventions 201608 (オンライン)	Original Article

51	Shiomi H, Morimoto T, Kitaguchi S et al.	循環器内科	The ReACT Trial: Randomized Evaluation of Routine Follow-up Coronary Angiography After Percutaneous Coronary Intervention Trial.	JACC. Cardiovascular interventions 201701;10:109-117	Original Article
52	Taniguchi T, Shiomi H, Kosugé M et al.	循環器内科	Prognostic Significance of ST-Segment Elevation in Leads V ₁₋₂ in Patients With Severe Aortic Stenosis.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 201604;80:526-534	Original Article
53	Toyota T, Saito N, Minakata K et al.	循環器内科	Successful Management of Guidewire Kinking in a Patient With Subaortic Septal Bulging Using the Pull-Through Technique During Transapical Transcatheter Aortic Valve Implantation.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 201604;80:258-260	Original Article
54	Toyota T, Morimoto T, Shiomi H et al.	循環器内科	Ad hoc vs. Non-ad hoc Percutaneous Coronary Intervention Strategies in Patients With Stable Coronary Artery Disease	Circ J 201703;81:458-467	Original Article
55	ota T, Shiomi H, Taniguchi T et al.	循環器内科	Culprit Vessel-Only vs. Staged Multivessel Percutaneous Coronary Intervention Strategies in Patients With Multivessel Coronary Artery Disease Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention for ST-Segment Elevation Myocardial Infarction.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 201604;80:371-378	Original Article
56	Toyota T, Morimoto T, Shiomi H et al.	循環器内科	Very Late Scaffold Thrombosis of Bioresorbable Vascular Scaffold: Systematic Review and a Meta-Analysis.	JACC. Cardiovascular interventions 201701;10:27-37	Review
57	Tsujimura A, Saito N, Minakata K et al.	循環器内科	Distal coronary embolisation during transcatheter aortic valve implantation.	BMJ case reports 201607 (オンライン)	Case report
58	Watanabe H, Morimoto T, Shiomi H et al.	循環器内科	Chronic total occlusion in a non-infarct-related artery is closely associated with increased five-year mortality in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction undergoing primary percutaneous coronary intervention (from the CREDO-Kyoto	EuroIntervention : journal of EuroPCR in collaboration with the Working Group on Interventional Cardiology of the European Society of Cardiology 201702;12:e1874-e1882	Original Article
59	Yamashita Y, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Cardiac and Noncardiac Causes of Long-Term Mortality in ST-Segment-Elevation Acute Myocardial Infarction Patients Who Underwent Primary Percutaneous Coronary Intervention.	Circulation. Cardiovascular quality and outcomes 201701 (オンライン)	Original Article
60	Eso Y, Takai A, Takeda H et al.	消化器内科	Sonazoid-enhanced ultrasonography guidance improves the quality of pathological diagnosis in the biopsy of focal hepatic lesions.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 201612;28:1462-1467	Original Article

61	Kimura Y, Ikuta K, Kimura T et al.	消化器内科	Nardilysin regulates inflammation, metaplasia, and tumors in murine stomach.	Sci Rep 201702;7:43052	Original Article
62	Kurita A, Kodama Y, Nakamoto Y et al.	消化器内科	Impact of EUS-FNA for preoperative para-aortic lymph node staging in patients with pancreatobiliary cancer.	Gastrointestinal endoscopy 201609;84:467-475	Original Article
63	Matsumoto T, Takahashi K, Inuzuka T et al.	消化器内科	Activation of TNF- α -AID axis and co-inhibitory signals in coordination with Th1-type immunity in a mouse model recapitulating hepatitis B.	Antiviral Res. 201703;139:138-145	Original Article
64	Sakuma Y, Kodama Y, Sogabe Y et al.	消化器内科	Diagnostic performance of a new endoscopic scraper for malignant biliary strictures: a multicenter prospective study.	Gastrointestinal endoscopy 201702;85:371-379	Original Article
65	Yamada Y, Fukuda A, Chiba T et al.	消化器内科	Brg1 plays an essential role in development and homeostasis of the duodenum through regulation of Notch signaling.	Development 201610;143:3532-3539	Original Article
66	Hamada S, Matsumoto H	呼吸器内科	Nasal exhalation of inhaled beclomethasone hydrofluoroalkane-134a to treat chronic rhinosinusitis.	J Allergy Clin Immunol Pract 201607;4:751-752	Original Article
67	Hamada S, Sato A, Hara-Chikuma M et al.	呼吸器内科	Role of mitochondrial hydrogen peroxide induced by intermittent hypoxia in airway epithelial wound repair in vitro.	Experimental cell research 201604;344:143-151	Original Article
68	Handa T, Watanabe K, Tanizawa K	呼吸器内科	Platelet aggregability in patients with interstitial pneumonias.	Sarcoidosis, vasculitis, and diffuse lung diseases : official journal of WASOG 201608;33:143-150	Original Article
69	Ikezoe K, Oga T, Honda T et al.	呼吸器内科	Aquaporin-3 potentiates allergic airway inflammation in ovalbumin-induced murine asthma.	Scientific reports 201605;6:25781	Original Article
70	Inoue H, Ito I, Niimi A et al.	呼吸器内科	CT-assessed large airway involvement and lung function decline in eosinophilic asthma: The association between induced sputum eosinophil differential counts and airway remodeling	J Asthma 201611;in press:914-921	Original Article

71	Inoue H, Niimi A, Matsumoto H et al.	呼吸器内科	A 12-week, randomized, parallel-group, proof-of-concept study of tulobuterol patch and salmeterol inhaler as add-on therapy in adult-onset mild-to-moderate asthma.	Clinical and experimental pharmacology & physiology 201701;44:21-29	Original Article
72	Kamada T, Ito I, Kanemitsu Y et al.	呼吸器内科	Three-dimensional imaging forced oscillation technique to assess position-dependent airway obstruction in relapsing polycondritis: A case report.	Respiratory investigation 201701;55:69-73	Case report
73	Kanemitsu Y, Niimi A, Matsumoto H et al.	呼吸器内科	Gastroesophageal dysmotility is associated with the impairment of cough-specific quality of life in patients with cough variant asthma.	Allergy international : official journal of the Japanese Society of Allergy 201607;65:320-326	Original Article
74	Kanemitsu Y, Matsumoto H	呼吸器内科	"Cold air" and/or "talking" as cough triggers, a sign for the diagnosis of cough variant asthma.	Respiratory Investigation 201611;54:413-418	Original Article
75	Matsumoto Kanemitsu Y, Nagasaki T et al.	呼吸器内科	Staphylococcus aureus enterotoxin sensitization involvement and its association with the CysLTR1 variant in different asthma phenotypes.	Annals of allergy, asthma & immunology : official publication of the American College of Allergy, Asthma, & Immunology 201702;118:197-203	Original Article
76	Muro S, Tabara Y, Matsumoto H	呼吸器内科	Relationship Among Chlamydia and Mycoplasma Pneumoniae Seropositivity, IKZF1 Genotype and Chronic Obstructive Pulmonary Disease in A General Japanese Population: The Nagahama Study.	Medicine (Baltimore). 201604;95:e3371	Original Article
77	Nakaji H, Niimi A, Matsuoka H et al.	呼吸器内科	Airway remodeling associated with cough hypersensitivity as a consequence of persistent cough: An experimental study.	Respiratory investigation 201611;54:419-427	Original Article
78	Nobashi T, Nakamoto Y, O T et al.	呼吸器内科	The utility of PET/CT with (68)Ga-DOTATOC in sarcoidosis: comparison with (67)Ga-scintigraphy.	Annals of nuclear medicine 201610;30:544-552	Original Article
79	Nobashi T, Kubo T, Nakamoto Y et al.	呼吸器内科	¹⁸ F-FDG Uptake in Less Affected Lung Field Provides Prognostic Stratification in Patients with Interstitial Lung Disease.	Journal of nuclear medicine : official publication, Society of Nuclear Medicine 201612;57:1899-1904	Original Article
80	Nomizo T, Ozasa H, Tsuji T et al.	呼吸器内科	Clinical Impact of Single Nucleotide Polymorphism in PD-L1 on Response to Nivolumab for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer Patients	Scientific Reports 201703;7:45124	Original Article

81	Shikuma K, Menju T, Chen F et al.	呼吸器内科	Is volumetric 3-dimensional computed tomography useful to predict histological tumour invasiveness? Analysis of 211 lesions of cT1N0M0 lung adenocarcinoma.	Interact Cardiovasc Thorac Surg 201606;22:831-838	Original Article
82	Shima H, Ozasa H, Tsuiji T et al.	呼吸器内科	Response to chemotherapy with carboplatin plus albumin-bound paclitaxel in a patient with lymphoepithelioma-like thymic carcinoma: A case report.	Molecular and clinical oncology 201605;4:715-718	Case report
83	Sokai A, Handa T, Chen F et al.	呼吸器内科	Serial perfusion in native lungs in patients with idiopathic pulmonary fibrosis and other interstitial lung diseases after single lung transplantation.	Clin Transplant. 201604;30:407-414	Original Article
84	Tajiri T, Matsumoto H	呼吸器内科	Utility of serum periostin and free IgE levels in evaluating responsiveness to omalizumab in patients with severe asthma.	Allergy 201604;71(10):1472-1479	Original Article
85	emura M, Niimi A, Matsumoto H et al.	呼吸器内科	Imbalance of endogenous prostanoids in moderate-to-severe asthma.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology 201701;66:83-88	Original Article
86	Tanizawa K, Handa T, Nagai S et al.	呼吸器内科	Comprehensive evaluation of airway involvement in pulmonary sarcoidosis.	ERJ open research 201701 (オンライン)	Original Article
87	Yoshida H, Kim YH, Ozasa H et al.	呼吸器内科	Albumin-bound paclitaxel for the treatment of refractory or relapsed small-cell lung cancer.	Molecular and clinical oncology 201607;5:213-215	Original Article
88	Yoshida H, Kim YH, Ozasa H et al.	呼吸器内科	Albumin-bound paclitaxel for the treatment of refractory or relapsed small-cell lung cancer	Mol Clin Oncol. 201607;5:213-215	Original Article
89	Irahara T, Sato N, Inoue K et al.	初期診療・救急科	Low-intensity exercise in the acute phase of lipopolysaccharide-induced sepsis improves lipid metabolism and survival in mice by stimulating PGC-1 α expression.	The journal of trauma and acute care surgery 201606;80:933-940	Original Article
90	Shimoto M	初期診療・救急科	Numerous niches for hematopoietic stem cells remain empty during homeostasis	Blood 201701;129(15):2124-2131	Original Article

91	Egawa N, Takase H, Lok J et al.	神経内科	Clinical application of oligodendrocyte precursor cells for cell-based therapy	Brain Circulation 201608;2:121-125	Original Article
92	Egawa N, Lok J, Arai K	神経内科	Mechanisms of cellular plasticity in cerebral perivascular region	Progress in Brain Research 201604;225:183-200	Original Article
93	Egawa N, Lok J, Washida K et al.	神経内科	Mechanisms of Axonal Damage and Repair after Central Nervous System Injury	Translational Stroke Research 201608;8(1):14-21	Original Article
94	Fuseya Y, Takahashi R	神経内科	Interferon- β may ameliorate synucleinopathy.	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society 201604;31:497	Original Article
95	Hamatani M, Jingami N, Uemura K et al.	神経内科	A case of variant biochemical phenotype of Niemann-Pick disease type C accompanying savant syndrome.	Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology 201606;56:424-429	Original Article
96	Hamatani M, Jingami N, Tsurusaki Y et al.	神経内科	The first Japanese case of leukodystrophy with ovarian failure arising from novel compound heterozygous AARS2 mutations.	Journal of human genetics 201606;61(10):899-902	Original Article
97	Hatanaka Y, Wada K, Kabuta T	神経内科	Maternal high-fat diet leads to persistent synaptic instability in mouse offspring via oxidative stress during lactation.	Neurochemistry international 201607;97:99-108	Original Article
98	Hatanaka Y, Kabuta T, Wada K	神経内科	Disturbance in Maternal Environment Leads to Abnormal Synaptic Instability during Neuronal Circuitry Development.	Frontiers in neuroscience 201702;11:35	Original Article
99	Hitomi T, Kobayashi K, Sakurai T et al.	神経内科	Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	Epileptic Disorder 201604;18:67-72	Original Article
100	Izumi Y, Kondo N, Takahashi R et al.	神経内科	Reduction of immunoreactivity Against the C-Terminal Region of the Intracellular α -Synuclein by Exogenous α -Synuclein Aggregates: Possibility of Conformational Changes.	Journal of Parkinson's disease 201606;6:569-579	Original Article

101	Joo E, Fukushima T, Harada N et al.	神経内科	Ubc13 haploinsufficiency protects against age-related insulin resistance and high-fat diet-induced obesity.	Scientific reports 201610;6:35983	Original Article
102	Kaji S, Kawarai T, Miyamoto R et al.	神経内科	Late-onset spastic paraplegia type 10 (SPG10) family presenting with bulbar symptoms and fasciculations mimicking amyotrophic lateral sclerosis.	Journal of the neurological sciences 201605;364:45-49	Original Article
103	Kawamoto Y, Ayaki T, Urushitani M et al.	神経内科	Activated caspase-9 immunoreactivity in glial and neuronal cytoplasmic inclusions in multiple system atrophy.	Neuroscience letters 201606;628:207-212	Letter
104	Nakatani M, Tsukino M, Takahashi R et al.	神経内科	Periodic synchronous discharge occurred in an elderly with acute valacyclovir-associated encephalopathy.	Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology 201606;56:504-507	Original Article
105	Ueda S, Uemura N, Takahashi R	神経内科	Alpha-synuclein fibrils propagate through tunneling nanotubes.	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society 201703;32:394	Original Article
106	Sawamura M, Uemura N, Takahashi R	神経内科	Innate immunity regulates α -synuclein clearance.	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society 201605;31:638	Original Article
107	Takahashi R, Ichikawa H, Kanda K	神経内科	Novel multiple assessment of hepatocellular drug disposition in a single packaged procedure.	Drug metabolism and pharmacokinetics 201604;31:167-171	Original Article
108	Tanioka K, Hitomi T, Matsumoto R	神経内科	Survey of the participants of EEG teaching courses provided by Japanese Society of Neurology: current state and gradual evolution for EEG teaching in the last 5 years.	Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology 201703;57:110-117	Original Article
109	Tsukita K, Shimotake A, Nakatani M et al.	神経内科	A case of neurosyphilis presenting with limbic encephalitis.	Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology 201701;57:37-40	Original Article
110	Usami K, Matsumoto R, Sawamoto N et al.	神経内科	Epileptic network of hypothalamic hamartoma: An EEG-fMRI study.	Epilepsy research 201605;125:1-9	Original Article

111	Asai K, Kobayashi T, Miyata H et al.	腎臓内科	The Short-Term Impact of Dietary Counseling on Sodium Intake and Blood Pressure in Renal Allograft Recipients.	Progress in transplantation (Aliso Viejo, Calif.) 201612;26:365-371	Original Article
112	Fukuma S, Shimizu S, Nihata K et al.	腎臓内科	Development of quality indicators for care of chronic kidney disease in the primary care setting using electronic health data: a RAND-modified Delphi method.	Clinical and experimental nephrology 201605;21(2):247-256	Original Article
113	Kitagori K, Yoshifuji H, Oku T et al.	腎臓内科	Cleaved Form of Osteopontin in Urine as a Clinical Marker of Lupus Nephritis.	PloS one 201604;11:e0167141	Original Article
114	Nishio H, Tsukamoto T, Matsubara T et al.	腎臓内科	Thrombotic microangiopathy caused by interferon β -1b for multiple sclerosis: a case report.	CEN case reports 201611;5:179-183	Case report
115	Ueno S, Yokoi H, Mori K et al.	腎臓内科	Ablation of the N-type calcium channel ameliorates diabetic nephropathy with improved glycemic control and reduced blood pressure.	Scientific reports 201606;6:27192	Original Article
116	Takaori K, Nakamura J, Yamamoto S et al.	腎臓内科	Severity and Frequency of Proximal Tubule Injury Determines Renal Prognosis.	Journal of the American Society of Nephrology : JASN 201608;27:2393-2406	Original Article
117	Takaori K, Yanagita M	腎臓内科	Insights into the Mechanisms of the Acute Kidney Injury-to-Chronic Kidney Disease Continuum.	Nephron 201607;134(3):172-176	Original Article
118	Toda N, Mori K, Kawahara M	腎臓内科	Crucial Role of Mesangial Cell-derived Connective Tissue Growth Factor in a Mouse Model of Anti-Glomerular Basement Membrane Glomerulonephritis.	Scientific reports 201702;7:42114	Original Article
119	Tsuchida J, Matsusaka T, Ohtsuka M et al.	腎臓内科	Establishment of Nephrin Reporter Mice and Use for Chemical Screening.	PloS one 201604;11:e0157497	Original Article
120	Tsukamoto T, Matsubara T, Akashi Y et al.	腎臓内科	Annual Iron Loss Associated with Hemodialysis.	American journal of nephrology 201604;43:32-38	Original Article

121	Yamada H, Tsukamoto T, Narumiya H et al.	腎臓内科	Initial central venous pressure could be a prognostic marker for hemodynamic improvement of polymyxin B direct hemoperfusion: a retrospective cohort study.	Journal of intensive care 201604;4:64	Original Article
122	Yokoi H, Yanagita M	腎臓内科	Targeting the fatty acid transport protein CD36, a class B scavenger receptor, in the treatment of renal disease.	Kidney international 201604;89:740-742	Original Article
123	Kikuchi O, Ohashi S, Horibe T et al.	がん薬物治療科	Novel EGFR-targeted strategy with hybrid peptide against oesophageal squamous cell carcinoma	Sci Rep 201604;6:22452	Original Article
124	Kou T, Kanai M, Matsumoto S et al.	がん薬物治療科	The possibility of clinical sequencing in the management of cancer.	Japanese journal of clinical oncology 201605;46:399-406	Original Article
125	Y, Nagayama S, Kawamura J et al.	がん薬物治療科	A retrospective analysis on the utility and complication of upper arm ports in 433 cases at a single institute	Int J Clin Oncol 201604;21:474-482	Original Article
126	Muto M, Yao K, Kaise M et al.	がん薬物治療科	Magnifying endoscopy simple diagnostic algorithm for early gastric cancer (MESDA-G)	Dig Endosc 201604;28:379-393	Original Article
127	Nagayama S, Hasegawa S, Hida K et al.	がん薬物治療科	Multi-institutional phase II study on the feasibility of liver resection following preoperative mFOLFOX6 therapy for resectable liver metastases from colorectal cancers.	International journal of clinical oncology 201610;22(2):316-323	Original Article
128	Nishikawa Y, Miyamoto S, Harimatsu T	がん薬物治療科	Esophageal rupture associated with colonoscopy preparation	J Am Geriatr Soc 201604;64:682-683	Original Article
129	Nishikawa Y, Kanai M, Narahara M et al.	がん薬物治療科	Association between UGT1A1*28*28 genotype and lung cancer in the Japanese population.	International journal of clinical oncology 201611;22(2):269-273	Original Article
130	Tateya I, Muto M, Morita S et al.	がん薬物治療科	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery for superficial laryngo-pharyngeal cancer.	Surg Endosc. 201604;30:323-329	Original Article

131	Yamamura K, Otsuka A, Kaku Y et al.	がん薬物治療科	Dermoscopic changes in malignant melanoma after successful treatment with nivolumab: A case report.	The Journal of dermatology 201607;44(5):547-548	Case report
132	Eso Y, Hisamori S, Tsunoda S	消化管外科	Gastrointestinal: Ultrasound-guided iatrogenic hydrothorax to permit drainage of a postoperative left subdiaphragmatic abscess.	Journal of gastroenterology and hepatology 201609;31:1513	Original Article
133	Hosogi H, Okabe H, Shinohara H et al.	消化管外科	Laparoscopic splenic hilar lymphadenectomy for advanced gastric cancer.	Translational gastroenterology and hepatology 201604;1:30	Original Article
134	Inamoto S, Itatani Y, Kawada K et al.	消化管外科	Loss of SMAD4 Promotes Colorectal Cancer Progression by Accumulation of Myeloid-Derived Suppressor Cells through CCL15-CCR1 Chemokine Axis	Clinical Cancer Research 201604;22:492-501	Original Article
135	Nishigori T, Okabe H, Tanaka E et al.	消化管外科	Sarcopenia as a predictor of pulmonary complications after esophagectomy for thoracic esophageal cancer.	Journal of surgical oncology 201605;113:678-684	Original Article
136	Nishigori T, Tsunoda S, Okabe H et al.	消化管外科	Impact of Sarcopenic Obesity on Surgical Site Infection after Laparoscopic Total Gastrectomy.	Annals of surgical oncology 201608;23:524-531	Original Article
137	Nishigori T, Okabe H, Tsunoda S et al.	消化管外科	Superiority of laparoscopic proximal gastrectomy with hand-sewn esophagogastrostomy over total gastrectomy in improving postoperative body weight loss and quality of life.	Surgical endoscopy 201701(オンライン)	Original Article
138	Obama K, Sakai Y	消化管外科	Current status of robotic gastrectomy for gastric cancer.	Surgery today 201605;46:528-534	Original Article
139	Okabe H, Tsunoda S, Obama K et al.	消化管外科	Feasibility of Laparoscopic Radical Gastrectomy for Gastric Cancer of Clinical Stage II or Higher: Early Outcomes in a Phase II Study (KUGC04).	Annals of surgical oncology 201608;23:516-523	Original Article
140	Ueno T, Utsumi J, Toi M et al.	乳腺外科	Characteristic gene expression profiles of human fibroblasts and breast cancer cells in a newly developed bilateral coculture system.	Biomed Res Int 201606;11:960840	Original Article

141	Li W, Itou J, Tanaka S et al.	乳腺外科	A homeobox protein, NKX6.1, up-regulates interleukin-6 expression for cell growth in basal-like breast cancer cells	Experimental Cell Research 201604;343:177-189	Original Article
142	Fukumitsu K	肝胆膵・移植外科	Host conditioning and rejection monitoring in hepatocyte transplantation in humans.	J Hepatol. 201612;24:987-1000	Original Article
143	Goto T, Elbahrawy A, Furuyama K et al.	肝胆膵・移植外科	Liver-specific Prox1 inactivation causes hepatic injury and glucose intolerance in mice.	FEBS letters 201702;591:624-635	Letter
144	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	肝胆膵・移植外科	Proposal for new diagnostic criteria for low skeletal muscle mass based on computed tomography imaging in Asian adults.	Nutrition (Burbank, Los Angeles County, Calif.) 201611;32:1200-1205	Original Article
145	Hamaguchi Y, Mori A, Fujimoto Y et al.	肝胆膵・移植外科	Longer warm ischemia can accelerate tumor growth through the induction of HIF-1 α and the IL-6-JAK-STAT3 signaling pathway in a rat hepatocellular carcinoma model.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 201612;23:771-779	Original Article
146	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	肝胆膵・移植外科	Proposal of Muscle-MELD score, including muscularity, for prediction of mortality after living donor liver transplantation.	Transplantation 201608;100:2416-2423	Original Article
147	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	肝胆膵・移植外科	Impact of skeletal muscle mass index, intramuscular adipose tissue content, and visceral to subcutaneous adipose tissue area ratio on early mortality of living donor liver transplantation.	Transplantation 201612;101(3):565-574	Original Article
148	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	肝胆膵・移植外科	Muscle steatosis is an independent predictor of postoperative complications in patients with hepatocellular carcinoma.	World J Surg 201604;40:1959-1968	Original Article
149	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	肝胆膵・移植外科	Proposal of new criteria of low skeletal muscle mass using computed tomography imaging in Asia: Analysis of 541 healthy adults.	Nutrition 201605;32:1200-1205	Original Article
150	Ishii T, Hatano E, Furuyama H et al.	肝胆膵・移植外科	Preventive Measures for Postoperative Bile Leakage After Central Hepatectomy: A Multicenter, Prospective, Observational Study of 101 Patients.	World journal of surgery 201607;40:1720-1728	Original Article

151	Katayama H, Yasuchika K, Miyauchi Y et al.	肝胆膵・移植外科	Generation of non-viral, transgene-free hepatocyte like cells with piggyBac transposon.	Scientific reports 201703;7:44498	Original Article
152	Kawai T, Yasuchika K, Ishii T et al.	肝胆膵・移植外科	SOX9 is a novel cancer stem cell marker surrogated by osteopontin in human hepatocellular carcinoma.	Scientific reports 201607;6:30489	Original Article
153	Kawai T, Yasuchika K, Seo S et al.	肝胆膵・移植外科	Identification of Keratin 19-Positive Cancer Stem Cells Associating Human Hepatocellular Carcinoma Using ¹⁸ F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research 201703;23:1450-1460	Original Article
154	Ki Kim S, Ueda Y, Hatano E et al.	肝胆膵・移植外科	TERT promoter mutations and chromosome 8p loss are characteristic of nonalcoholic fatty liver disease-related hepatocellular carcinoma.	International journal of cancer 201612;139:2512-2518	Original Article
155	Uchino I, Fujimoto Y, Hata K et al.	肝胆膵・移植外科	Liver transplantation for acute liver failure accompanied by severe acute pancreatitis.	BMJ case reports 201609 (オンライン)	Case report
156	Kitajima T, Kaido T, Hamaguchi Y et al.	肝胆膵・移植外科	Validation of the FIB-4 index for evaluation of fibrosis in patients with recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation: A single center experience.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 201607;46:752-757	Original Article
157	Kubota T, Hata K, Sozu T et al.	肝胆膵・移植外科	Impact of Donor Age on Recipient Survival in Adult-to-adult Living-donor Liver Transplantation.	Annals of surgery 201703 (オンライン)	Original Article
158	Nakamura N, Hatano E, Imachi K et al.	肝胆膵・移植外科	Posthepatectomy Liver Failure Affects Long-Term Function After Resection for Hepatocellular Carcinoma.	World journal of surgery 201604;40:929-936	Original Article
159	Nishi K, Sato Y, Ohno M et al.	肝胆膵・移植外科	Nardilysin Is Required for Maintaining Pancreatic β -Cell Function.	Diabetes 201610;65:3015-3027	Original Article
160	Nishino H, Hatano E, Seo S et al.	肝胆膵・移植外科	Histological features of mixed neuroendocrine carcinoma and hepatocellular carcinoma in the liver: a case report and literature review.	Clinical journal of gastroenterology 201607;9(4):272-279	Case report

161	Nishino H, Hatano E, Seo S et al.	肝胆臓・移植外科	Real-time Navigation for Liver Surgery Using Projection Mapping With Indocyanine Green Fluorescence: Development of the Novel Medical Imaging Projection System.	Annals of surgery 201702(オンライン)	Original Article
162	Nishio T, Taura K, Iwaisako K et al.	肝胆臓・移植外科	Hepatic vagus nerve regulates Kupffer cell activation via $\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptor in nonalcoholic steatohepatitis.	Journal of gastroenterology 201701;52(8):965-976	Original Article
163	Ogiso S, Yasuchika K, Fukumitsu K et al.	肝胆臓・移植外科	Efficient recellularisation of decellularised whole-liver grafts using biliary tree and foetal hepatocytes.	Scientific reports 201610;6:35887	Original Article
164	Okuda Y, Taura K, Yoshino K et al.	肝胆臓・移植外科	Usefulness of Mac-2 Binding Protein Glycosylation Isomer for Prediction of Posthepatectomy Liver Failure in Patients With Hepatocellular Carcinoma.	Annals of surgery 201606;265(6):1201-1208	Original Article
165	Okumura S, Kaido T, Uemoto S	肝胆臓・移植外科	Reply to: Impact of the preoperative quantity and quality of skeletal muscle on outcomes after resection of extrahepatic biliary malignancies.	Surgery 201606;159:1695-1696	Original Article
166	Okumura S, Teratani T, Fujimoto Y et al.	肝胆臓・移植外科	Oral administration of polyamines ameliorates liver ischemia/reperfusion injury and promotes liver regeneration in rats.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society 201609;22:1231-1244	Original Article
167	Okumura S, Kaido T, Hamaguchi Y et al.	肝胆臓・移植外科	Impact of Skeletal Muscle Mass, Muscle Quality, and Visceral Adiposity on Outcomes Following Resection of Intrahepatic Cholangiocarcinoma.	Annals of surgical oncology 201611;24(4):1037-1045	Original Article
168	Okuno M, Hatano E, Ii Y et al.	肝胆臓・移植外科	Feasibility of the liver-first approach for patients with initially unresectable and not optimally resectable synchronous colorectal liver metastases.	Surgery today 201606;46:721-728	Original Article
169	Takaori K, Uemoto S	肝胆臓・移植外科	Artery-First Distal Pancreatectomy.	Digestive surgery 201604;33:314-319	Original Article
170	Uemura T, Wada S, Kaido T et al.	肝胆臓・移植外科	How far can we lower graft-to-recipient weight ratio for living donor liver transplantation under modulation of portal venous pressure?	Surgery 201606;159:1623-1630	Original Article

171	Yoh T, Hatano E, Nishio T et al.	肝胆膵・移植外科	Significant Improvement in Outcomes of Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma after Surgery.	World journal of surgery 201606;40(9):2229-2236	Original Article
172	Yoh T, Hatano E, Yamanaka K et al.	肝胆膵・移植外科	Is Surgical Resection Justified for Advanced Intrahepatic Cholangiocarcinoma?	Liver cancer 201610;5:280-289	Original Article
173	Yoshizawa A, Yamashiki N, Ueda Y et al.	肝胆膵・移植外科	Long-term efficacy of hepatitis B vaccination as post-transplant prophylaxis in hepatitis B surface antigen (HBsAg) positive recipients and HBsAg negative recipients of anti-hepatitis B core positive grafts.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 201605;46:541-551	Original Article
174	Akagi T, Nakano E, Nakanishi H et al.	眼科	Transient Ciliochoroidal Detachment After Ab Interno Trabeculotomy for Open-Angle Glaucoma: A Prospective Anterior-Segment Optical Coherence Tomography Study	JAMA Ophthalmol 201604;134:304-311	Original Article
175	Arakagi T, Iida Y, Nakanishi H et al.	眼科	Microvascular Density in Glaucomatous Eyes with Hemifield Visual Field Defects: An Optical Coherence Tomography Angiography Study.	American journal of ophthalmology 201606;168:237-249	Original Article
176	Arichika S, Uji A, Ooto S et al.	眼科	Comparison of retinal vessel measurements using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy and optical coherence tomography.	Japanese journal of ophthalmology 201605;60:166-171	Original Article
177	Arichika S, Uji A, Murakami T et al.	眼科	Correlation of retinal arterial wall thickness with atherosclerosis predictors in type 2 diabetes without clinical retinopathy.	The British journal of ophthalmology 201701;101:69-74	Original Article
178	Dodo Y, Murakami T, Hoshi N et al.	眼科	White Dots as a Novel Marker of Diabetic Retinopathy Severity in Ultrawide Field Imaging.	PloS one 201604;11:e0165906	Original Article
179	Elfandi S, Ooto S, Ueda-Arakawa N et al.	眼科	Clinical and Genetic Characteristics of Japanese Patients with Age-Related Macular Degeneration and Pseudodrusen.	Ophthalmology 201610;123:2205-2212	Original Article
180	Hasegawa T, Akagi T, Hangai M et al.	眼科	Structural dissociation of optic disc margin components with optic disc tilting: a spectral domain optical coherence tomography study	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 201604;254:343-349	Original Article

181	Hasegawa T, Ooto S, Takayama K et al.	眼科	Cone Integrity in Glaucoma: An Adaptive-Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy Study.	American journal of ophthalmology 201611;171:53-66	Original Article
182	Hata M, Oishi A, Muraoka Y et al.	眼科	Structural and Functional Analyses in Nonarteritic Anterior Ischemic Optic Neuropathy: Optical Coherence Tomography Angiography Study.	Journal of neuro-ophthalmology : the official journal of the North American Neuro-Ophthalmology Society 201612;37(2):140-148	Original Article
183	Hata M, Oishi A, Yamashiro K et al.	眼科	INCIDENCE AND CAUSES OF VISION LOSS DURING AFLIBERCEPT TREATMENT FOR NEOVASCULAR AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION: One-Year Follow-up.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201610;37(7):1320-1328	Original Article
184	Hata M, Yamashiro K, Oishi A et al.	眼科	RETINAL PIGMENT EPITHELIAL ATROPHY AFTER ANTI-VASCULAR ENDOTHELIAL GROWTH FACTOR INJECTIONS FOR RETINAL ANGIOMATOUS PROLIFERATION.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201701;37(11):2069-2077	Original Article
185	Hata M, Yamashiro K, Ooto S et al.	眼科	Intraocular Vascular Endothelial Growth Factor Levels in Pachychoroid Neovascularopathy and Neovascular Age-Related Macular Degeneration.	Investigative ophthalmology & visual science 201701;58:292-298	Original Article
186	Ichioka Y, Uji A, Yoshimura N	眼科	Swept-Source Optical Coherence Tomography Detecting Intraoperative Acute Descemet's Fold Formation.	Case reports in ophthalmology 201605;7:354-358	Case report
187	Iida Y, Muraoka Y, Uji A et al.	眼科	ASSOCIATIONS BETWEEN MACULAR EDEMA AND CIRCULATORY STATUS IN EYES WITH RETINAL VEIN OCCLUSION: An Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy Study.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201612;37(10):1896-1904	Original Article
188	Kadomoto S, Muraoka Y, Ooto S et al.	眼科	EVALUATION OF MACULAR ISCHEMIA IN EYES WITH BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION: An Optical Coherence Tomography Angiography Study.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201702(オンライン)	Original Article
189	Kimura Y, Akagi T, Miyake M et al.	眼科	Association between the CDKN2B-AS1 Gene and Primary Open Angle Glaucoma with High Myopia in Japanese Patients.	Ophthalmic genetics 201606;37:242-244	Original Article
190	Kuroda Y, Ooto S, Yamashiro K et al.	眼科	Increased Choroidal Vascularity in Central Serous Chorioretinopathy Quantified Using Swept-Source Optical Coherence Tomography.	American journal of ophthalmology 201607;169:199-207	Original Article

191	Kuroda Y, Uji A, Yoshimura N	眼科	Factors associated with optic nerve head blood flow and color tone: a retrospective observational study.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv fur klinische und experimentelle Ophthalmologie 201605;254:963-970	Original Article
192	Miwa Y, Murakami T, Suzuma K et al.	眼科	Relationship between Functional and Structural Changes in Diabetic Vessels in Optical Coherence Tomography Angiography.	Scientific reports 201606;6:29064	Original Article
193	Miyata M, Ooto S, Ogino K et al.	眼科	Evaluation of Photoreceptors in Bietti Crystalline Dystrophy with CYP4V2 Mutations Using Adaptive-Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy	American Journal of Ophthalmology 201604;161:196-205	Original Article
194	Miyata M, Ooto S, Hata M et al.	眼科	Detection of Myopic Choroidal Neovascularization Using Optical Coherence Tomography Angiography.	American journal of ophthalmology 201605;165:108-114	Original Article
195	Miyata M, Ogino K, Gotoh N et al.	眼科	Inner segment ellipsoid band length is a prognostic factor in retinitis pigmentosa associated with EYS mutations: 5-year observation of retinal structure	Eye 201612;30(12):1588-1592	Original Article
196	Miyata M, Hata M, Ooto S et al.	眼科	CHOROIDAL AND RETINAL ATROPHY OF BIETTI CRYSTALLINE DYSTROPHY PATIENTS WITH CYP4V2 MUTATIONS COMPARED TO RETINITIS PIGMENTOSA PATIENTS WITH EYS MUTATIONS.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201609;37(6):1193-1202	Original Article
197	Miyata M, Nakahara R, Hamasaki I et al.	眼科	Quantitative Analysis of the Effects of a Bangert Filter on Gross Stereopsis in Experimental Models of Reduced Visual Acuity.	Acta medica Okayama 201610;70:339-344	Original Article
198	Mori Y, Suzuma K, Uji A et al.	眼科	Restoration of foveal photoreceptors after intravitreal ranibizumab injections for diabetic macular edema.	Scientific reports 201612;6:39161	Original Article
199	Murakami T, Uji A, Suzuma K et al.	眼科	In Vivo Choroidal Vascular Lesions in Diabetes on Swept-Source Optical Coherence Tomography.	PloS one 201604;11:e0160317	Original Article
200	Muraoka Y, Uji A, Tsujiikawa A et al.	眼科	Association between retinal hemorrhagic pattern and macular perfusion status in eyes with acute branch retinal vein occlusion.	Scientific reports 201606;6:28554	Original Article

201	Muraoka Y, Uji A, TsujiKawa A et al.	眼科	ASSOCIATION BETWEEN RETINAL HEMORRHAGIC PATTERNS AND PERFUSION STATUS IN EYES WITH ACUTE CENTRAL RETINAL VEIN OCCLUSION.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201703;37:500-508	Original Article
202	Nakano E, Hata M, Oishi A et al.	眼科	Quantitative comparison of disc rim color in optic nerve atrophy of compressive optic neuropathy and glaucomatous optic neuropathy.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv fur klinische und experimentelle Ophthalmologie 201604;254:1609-1616	Original Article
203	Takahashi A, Ooto S, Yamashiro K et al.	眼科	Photoreceptor Damage and Reduction of Retinal Sensitivity Surrounding Geographic Atrophy in Age-related Macular Degeneration.	American journal of ophthalmology 201606;168:260-268	Original Article
204	Uji A, Murakami T, Arichika S et al.	眼科	Enhanced-Resolution Optical Coherence Tomography Imaging.	Ophthalmologica. Journal international d'ophtalmologie. International journal of ophthalmology. Zeitschrift fur Augenheilkunde 201604;235:163-172	Original Article
205	Uji A, Yoshimura N	眼科	Microarchitecture of the Vitreous Body: A High-Resolution Optical Coherence Tomography Study.	American journal of ophthalmology 201608;168:24-30	Original Article
206	Uji A, Muraoka Y, Yoshimura N	眼科	In Vivo Identification of the Posttrabecular Aqueous Outflow Pathway Using Swept-Source Optical Coherence Tomography.	Investigative ophthalmology & visual science 201608;57:4162-4169	Original Article
207	Uji A, Yoshimura N	眼科	Reply.	American journal of ophthalmology 201610;170:244	Original Article
208	Uji A, Muraoka Y, Yoshimura N	眼科	HIDDEN INFORMATION IN COLOR FUNDUS PHOTOGRAPHS IS REVEALED BY THE DECORRELATION STRETCHING METHOD.	Retinal cases & brief reports 201702 (オンライン)	Original Article
209	Uji A, Murakami T, Suzuma K et al.	眼科	INFLUENCE OF VITRECTOMY SURGERY ON THE INTEGRITY OF OUTER RETINAL LAYERS IN DIABETIC MACULAR EDEMA.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201701 (オンライン)	Original Article
210	Uji A, Abdelfattah NS, Boyer DS et al.	眼科	Variability of Retinal Thickness Measurements in Tilted or Stretched Optical Coherence Tomography Images.	Translational vision science & technology 201703;6:1	Original Article

211	Wakazono T, Yamashiro K, Miyake M et al.	眼科	Association between Eye Shape and Myopic Traction Maculopathy in High Myopia.	Ophthalmology 201604;123:919-921	Original Article
212	Wakazono T, Yamashiro K, Oishi A et al.	眼科	RECURRENCE OF CHOROIDAL NEOVASCULARIZATION LESION ACTIVITY AFTER AFLIBERCEPT TREATMENT FOR AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION.	Retina (Philadelphia, Pa.) 201701;37(11):2062-2068	Original Article
213	Yamada H, Akagi T, Nakanishi H et al.	眼科	Microstructure of Peripapillary Atrophy and Subsequent Visual Field Progression in Treated Primary Open-Angle Glaucoma	Ophthalmology 201604;123:542-551	Original Article
214	Yoza R, Murakami T, Uji A et al.	眼科	Characterization of Inner Retinal Spots With Inverted Reflectivity on En Face Optical Coherence Tomography in Diabetic Retinopathy.	Investigative ophthalmology & visual science 201604;57:1862-1870	Original Article
215	Chigusa Y, Kawasaki K, Kondoh E et al.	産科婦人科	Simvastatin inhibits oxidative stress via the activation of nuclear factor erythroid 2-related factor 2 signaling in trophoblast cells.	J Obstet Gynaecol Res 201604;42:36-43	Original Article
216	Chigusa Y, Kishore AH, Mogami H et al.	産科婦人科	Nrf2 Activation Inhibits Effects of Thrombin in Human Amnion Cells and Thrombin-Induced Preterm Birth in Mice.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism 201606;101:2612-2621	Original Article
217	Higashiyama N, Kondoh E, Ueda A et al.	産科婦人科	'Tandem balloon tamponade' for arterial bleeding from the uterine fundus: two case reports.	Journal of obstetrics and gynaecology : the journal of the Institute of Obstetrics and Gynaecology 201608;36:769-771	Case report
218	Kanatani KT, Hamazaki K, Ishihara H et al.	産科婦人科	Effect of desert dust exposure on allergic symptoms: A natural experiment in Japan.	Annals of allergy, asthma & immunology : official publication of the American College of Allergy, Asthma, & Immunology 201605;116:425-430	Original Article
219	Kanzaki Y, Kondoh E, Kawasaki K et al.	産科婦人科	Pregnancy outcomes in liver transplant recipients: A 15-year single-center experience.	J Obstet Gynaecol Res 201611;42:1476-1482	Original Article
220	Mogami H, Yura S, Kondoh E et al.	産科婦人科	Differential expression of thioredoxin binding protein-2/Txnip in human placenta: Possible involvement of hypoxia in its suppression during early pregnancy.	J Obstet Gynaecol Res 201701;43:50-56	Original Article

221	Ueda A, Kondoh E, Kawasaki K et al.	産科婦人科	Magnesium sulphate can prolong pregnancy in patients with severe early-onset preeclampsia.	J Matern Fetal Neonatal Med 201604;14:1-6	Original Article
222	Dowa Y, Kawai M, Kanazawa H et al.	小児科	Screening for secondary hyperparathyroidism in preterm infants.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society 201610;58:988-992	Original Article
223	Hiejima E, Nakase H, Matsuura M et al.	小児科	Diagnostic accuracy of endoscopic features of pediatric acute gastrointestinal graft-versus-host disease.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society 201607;28:548-555	Original Article
224	Hori M, Yasumi T, Shimodera S et al.	小児科	A CD57 ⁺ CTL Degranulation Assay Effectively Identifies Familial Hemophagocytic Lymphohistiocytosis Type 3 Patients.	Journal of clinical immunology 201701;37:92-99	Original Article
225	Waj T, Hiejima E, Oda H et al.	小児科	Reply to Walsh et al.	European journal of human genetics : EJHG 201701;25(8):907	Original Article
226	Morita M, Nishinaka Y, Kato I et al.	小児科	Dasatinib induces autophagy in mice with Bcr-Abl-positive leukemia	Int J Hematol 201604;105:335-340	Original Article
227	Nakata M, Kato T, Ide M et al.	小児科	Long-term weekly ACTH therapy for relapsed West syndrome in tuberous sclerosis complex: A case report	Brain and Development 201604;38:431	Case report
228	Nodomi S, Umeda K, Okamoto T et al.	小児科	A Pediatric Case of Metastatic Conventional Parosteal Osteosarcoma Treated With Multidrug Chemotherapy.	Pediatric blood & cancer 201608;63:1471-1473	Original Article
229	Nodomi S, Umeda K, Saida S et al.	小児科	CD146 is a novel marker for highly tumorigenic cells and a potential therapeutic target in malignant rhabdoid tumor	Oncogene 201604;35:5317-27	Original Article
230	Saida S, Umeda K, Yasumi T et al.	小児科	Successful reduced-intensity stem cell transplantation for GATA2 deficiency before progression of advanced MDS	Pediatr Transplant 201604;20:333-336	Original Article

231	Shinya Y, Kawai M, Niwa F et al.	小児科	Associations between respiratory arrhythmia and fundamental frequency of spontaneous crying in preterm and term infants at term-equivalent age.	Developmental psychobiology 201609;58:724-733	Original Article
232	Baba S, Yoshinaga D, Toyoda N et al.	小児科	Anomalous Coronary Blood Flow Drainage to PLSVC in Congenital Coronary Sinus Stenosis.	Journal of Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery 201604;32:350-351	Original Article
233	Umeda K, Hiramatsu H, Kawaguchi K et al.	小児科	Impact of pretransplant minimal residual disease on the post-transplant outcome of pediatric acute lymphoblastic leukemia.	Pediatric transplantation 201608;20:692-696	Original Article
234	Umeda K, Saida S, Yamaguchi H et al.	小児科	Central nervous system recurrence of desmoplastic small round cell tumor following aggressive multimodal therapy: A case report	Oncology letters 201604;11:856-60	Case report
235	Shino W, Nakajima S, Yamamoto Y et al.	皮膚科	JAK inhibitor JTE-052 regulates contact hypersensitivity by downmodulating T cell activation and differentiation.	Journal of dermatological science 201612;84:258-265	Original Article
236	Honda T, Yamamoto O, Sawada Y et al.	皮膚科	Receptor-interacting protein kinase 3 controls keratinocyte activation in a necroptosis-independent manner and promotes psoriatic dermatitis in mice.	The Journal of allergy and clinical immunology 201703;140(2):619-622	Original Article
237	Kaku Y, Otsuka A, Tanizaki H et al.	皮膚科	Dual CD4/CD8-positive ichthyosiform Mycosis Fungoides with Lymph Node, Peripheral Blood and Cardiac Involvement: A Case Report.	Acta dermato-venereologica 201605;96:564-566	Case report
238	Kitayama N, Otsuka A, Kaku Y et al.	皮膚科	Successful treatment with anti-TNF-alpha antibody for localised lipodystrophy.	European journal of dermatology : EJD 201606;26:316-317	Original Article
239	Kitayama N, Otsuka A, Kaku Y et al.	皮膚科	Case of unilateral epidermal nevi without extracutaneous anomalies.	The Journal of dermatology 201610;43:1241-1242	Original Article
240	Nonomura Y, Otsuka A, Nakashima C et al.	皮膚科	Peripheral blood Th9 cells are a possible pharmacodynamic biomarker of nivolumab treatment efficacy in metastatic melanoma patients.	Oncoimmunology 201604;5:e1248327	Original Article

241	Rerknimitr P, Tanizaki H, Yamamoto Y et al.	皮膚科	Decreased Filaggrin Level May Lead to Sweat Duct Obstruction in Filaggrin Mutant Mice.	The Journal of investigative dermatology 201701;137:248-251	Original Article
242	Wong LS, Otsuka A, Yamamoto Y et al.	皮膚科	Vascular endothelial growth factor partially induces pruritus via epidermal hyperinnervation in imiquimod-induced psoriasiform dermatitis in mice.	Journal of dermatological science 201608;83:148-151	Original Article
243	Koike S, Kobayashi T, Okada Y et al.	泌尿器科	[Deceased Donor Kidney Transplantation from a Liver Transplantation Recipient].	Hinyokika Kyo 201604;62(10):529-534	Original Article
244	Kono Y, Terada N, Takashima Y et al.	泌尿器科	[Advanced Adenocarcinoma of the Bladder after Augmentation Gascrocystoplasty].	Hinyokika Kyo 201604;62(1):33-37	Original Article
245	Negoro H, Ogawa O	泌尿器科	[Nocturia and the Circadian Rhythm]	PROGRESS IN MEDICINE 201604;36:15-19	Original Article
246	Sano T, Kobayashi T, Negoro H et al.	泌尿器科	Intravital imaging of mouse urothelium reveals activation of extracellular signal-regulated kinase by stretch-induced intravesical release of ATP.	Physiol Rep 201611 (オンライン)	Original Article
247	Terada N, Akamatsu S, Okada Y et al.	泌尿器科	Factors predicting efficacy and adverse effects of enzalutamide in Japanese patients with castration-resistant prostate cancer: results of retrospective multi-institutional study.	Int J Clin Oncol 201606;21(6):1155-1161	Original Article
248	Hayashi Y, Yamamoto N, Makagawa T	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Activation of IGF1 Signaling in the Cochlea Induces the Transcription of Its Mediators During the Protection of Cochlear Hair Cells Against Aminoglycoside.	Otology & neurotology : official publication of the American Otological Society, American Neurotology Society [and] European Academy of Otology and Neurotology 201702;38:278-282	Original Article
249	Hiraumi H, Arakawa Y, Yamamoto N et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Temporal bone chondroblastoma totally invisible on MRI.	Auris, nasus, larynx 201608;43:468-471	Original Article
250	Kawai Y, Kishimoto Y, Suzuki R et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Distribution and characteristics of slow-cycling cells in rat vocal folds.	The Laryngoscope 201604;126:E164-70	Original Article

251	Kishimoto Y, Suzuki R, Kawai Y et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Photocoagulation therapy for laryngeal dysplasia using angiolytic lasers.	European archives of oto-rhino-laryngology : official journal of the European Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (EUFOS) : affiliated with the German Society for Oto-Rhino-Laryngology - Head and Neck Surgery 201605;273:1221-1225	Original Article
252	Kitamura M, Hirano S, Kanemaru S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Glottic regeneration with a tissue-engineering technique, using acellular extracellular matrix scaffold in a canine model	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine 201610;10:825-832	Original Article
253	Kitamura M, Hayashi T, Suzuki C et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Successful recovery from a subclavicular ulcer caused by lenvatinib for thyroid cancer: a case report.	World journal of surgical oncology 201701;15:24	Case report
254	Nakagawa T, Yamamoto M, Kumakawa K et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognostic impact of salvage treatment on hearing recovery in patients with sudden sensorineural hearing loss refractory to systemic corticosteroids: A retrospective observational study.	Auris, nasus, larynx 201610;43:489-494	Original Article
255	Uchida T, Toda Y, Hiai H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Involvement of activation-induced cytidine deaminase in skin cancer development	Journal of Clinical Investigation 201604;126:1367-1382	Original Article
256	Taura A, Taura K, Koyama K et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Hair cell stereociliary bundle regeneration by espin gene transduction after aminoglycoside damage and hair cell induction by Notch inhibition	Gene Ther 201604;23:415-423	Original Article
257	Taura A, Nakashima N, Ohnishi H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Regenerative therapy for vestibular disorders using human induced pluripotent stem cells (iPSCs): neural differentiation of human iPSC-derived neural stem cells after in vitro transplantation into mouse vestibular epithelia	Acta Oto-Laryngologica 201610;136:999-1005	Original Article
258	Hiwa R, Ohmura K, Nakabo S et al.	整形外科	Only rheumatoid factor-positive subset of anti-citrullinated peptide/protein antibody-negative rheumatoid arthritis may seroconvert to anti-citrullinated peptide/protein antibody-positive.	International journal of rheumatic diseases 201702;20(6):731-736	Original Article
259	Ishikawa Y, Fujii T, Ishikawa SK et al.	整形外科	Immunogenicity and Lupus-Like Autoantibody Production Can Be Linked to Each Other along With Type I Interferon Production in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated With Infliximab: A Retrospective Study of a Single Center Cohort.	PLoS one 201604;11:e0162896	Original Article
260	Kuriyama S, Ishikawa M, Nakamura S et al.	整形外科	No condylar lift-off occurs because of excessive lateral soft tissue laxity in neutrally aligned total knee arthroplasty: a computer simulation study.	Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy : official journal of the ESSKA 201608;24:2517-2524	Original Article

261	Kuriyama S, Ishikawa M, Nakamura S et al.	整形外科	Noise Generation With Good Range of Motion but Without Femorotibial Instability Has Small Effect on Patient Satisfaction After Total Knee Arthroplasty.	The Journal of arthroplasty 201702;32:407-412	Original Article
262	Kuriyama S, Hyakuna K, Inoue S et al.	整形外科	Bone-femoral component interface gap after sagittal mechanical axis alignment is filled with new bone after cementless total knee arthroplasty.	Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy : official journal of the ESSKA 201702(オンライン)	Original Article
263	Kuroda Y, So K, Goto K et al.	整形外科	Extremely early stage osteonecrosis of the femoral head in a patient with hip pain secondary systemic steroid pulse therapy for Vogt-Koyanagi-Harada syndrome: A case report.	International journal of surgery case reports 201606;25:97-101	Case report
264	Nankaku M PhD Pt, Tsuboyama T PhD Md, Aoyama T PhD Md et al.	整形外科	Preoperative gluteus medius muscle atrophy as a predictor of walking ability after total hip arthroplasty.	Physical therapy research 201604;19:8-12	Original Article
265	Ueda S, Ikeguchi R, Noguchi T et al.	整形外科	A Proximally Based Sural Fasciocutaneous Flap for the Treatment of Recurrent Peroneal Neuropathy: A Case Report.	Plastic and reconstructive surgery. Global open 201607;4:e815	Case report
266	Ohta S, Ikeguchi R, Noguchi T et al.	整形外科	Percutaneous Fixation for Scaphoid Nonunion with Bone Grafting Through the Distal Insertion Hole of a Fully Threaded Headless Screw.	The journal of hand surgery Asian-Pacific volume 201610;21:357-363	Original Article
267	Okuzu Y, Goto K, So K et al.	整形外科	Mid- and long-term results of femoral component revision using the cement-in-cement technique: Average 10.8-year follow-up study.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 201608;21:810-814	Original Article
268	Sakamoto A, Yoshida M	整形外科	Pulmonary cryptococcosis mimicking a metastasis in a patient with Ewing sarcoma	Respirol Case Rep 201604;4:e00181	Original Article
269	Shoifi Abubakar M, Nakamura S, Kuriyama S et al.	整形外科	Influence of Posterior Cruciate Ligament Tension on Knee Kinematics and Kinetics.	The journal of knee surgery 201611;29:684-689	Original Article
270	Tanaka Y, Nakamura S, Kuriyama S et al.	整形外科	How exactly can computer simulation predict the kinematics and contact status after TKA? Examination in individualized models.	Clinical biomechanics (Bristol, Avon) 201611;39:65-70	Original Article

271	Tateuchi H, Koyama Y, Akiyama H et al.	整形外科	Radiographic and clinical factors associated with one-leg standing and gait in patients with mild-to-moderate secondary hip osteoarthritis.	Gait & posture 201607;49:207-212	Original Article
272	Tateuchi H, Koyama Y, Akiyama H et al.	整形外科	Daily cumulative hip moment is associated with radiographic progression of secondary hip osteoarthritis.	Osteoarthritis and cartilage 201702;25(8):1291-1298	Original Article
273	Terao C, Ikari K, Nakayamada S et al.	整形外科	A twin study of rheumatoid arthritis in the Japanese population.	Modern rheumatology 201609;26:685-689	Original Article
274	Tsukanaka M, Fujibayashi S, Takemoto M et al.	整形外科	Bioactive treatment promotes osteoblast differentiation on titanium materials fabricated by selective laser melting technology.	Dental materials journal 201604;35:118-125	Original Article
275	Yu A, Hashimoto M, Furu M et al.	整形外科	Relationship between handedness and joint involvement in rheumatoid arthritis.	Scientific reports 201612;6:39180	Original Article
276	Fujino J, Fujimoto S, Kodaka F et al.	精神科神経科	Neural mechanisms and personality correlates of the sunk cost effect.	Scientific reports 201609;6:33171	Original Article
277	Son S, Miyata J, Mori Y et al.	精神科神経科	Lateralization of intrinsic frontoparietal network connectivity and symptoms in schizophrenia.	Psychiatry research 201702;260:23-28	Original Article
278	Sugihara G, Oishi N, Son et al.	精神科神経科	Distinct Patterns of Cerebral Cortical Thinning in Schizophrenia: A Neuroimaging Data-Driven Approach.	Schizophr Bull 201604;43(4):900-906	Original Article
279	Isobe Y, Koyama N, Nakao K et al.	歯科口腔外科	Comparison of human mesenchymal stem cells derived from bone marrow, synovial fluid, adult dental pulp, and exfoliated deciduous tooth pulp.	International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery 201604;45:124-131	Original Article
280	Izuhara Y, Matsumoto H, Nagasaki T et al.	歯科口腔外科	Mouth Breathing, another Risk Factor for Asthma: the Nagahama Study.	Allergy 201604;71:1031-1036	Original Article

281	Mishima S, Takahashi K, Tomioka T et al.	歯科口腔外科	Numb chin syndrome as initial manifestation of bisphosphonate-related osteomyelitis of the jaw and methotrexate-associated lymphoproliferative disorders: a rare case.	British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 201604;54:114-115	Original Article
282	Mishima S, Sonobe J, Takahashi K et al.	歯科口腔外科	Effect of Inhibition of Bacterial Proliferation by Neutral Electrolytic Water in Dental Unit Waterlines	Oral Health and Dental Management 201608 (オンライン)	Original Article
283	Mishima S, Takahashi K, Hori M et al.	歯科口腔外科	PERIOPERATIVE MANAGEMENT of MANDIBULAR FRACTURES in A PATIENT with SEVERE HYPERTHYROIDISM: A CASE REPORT	Journal of Musculoskeletal Research 201612 (オンライン)	Case report
284	Nakao K, Yasoda A, Okubo Y et al.	歯科口腔外科	A novel therapeutic strategy for midfacial hypoplasia using the CNP/GC-B system.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 201604;29:10-16	Original Article
285	K, Takahashi K, Asahara M et al.	歯科口腔外科	Effects of Usag-1 and Bmp7 deficiencies on murine tooth morphogenesis.	BMC Developmental Biology 201604;16:14	Original Article
286	Togo Y, Takahashi K, Saito K et al.	歯科口腔外科	Antagonistic Functions of USAG-1 and RUNX2 during Tooth Development.	PLoS One 201604;11:e0161067	Original Article
287	Ueda Y, Yasoda A, Yamashita Y et al.	歯科口腔外科	C-type natriuretic peptide restores impaired skeletal growth in a murine model of glucocorticoid-induced growth retardation	Bone 201604;92:157-167	Original Article
288	Iramina H, Nakamura M, Jimioka Y et al.	放射線治療科	The Accuracy of Extracted Target Motion Trajectories in Four-dimensional Cone-beam Computed Tomography for Lung Cancer Patients.	Radiother. Oncol. 201604;121:46-51	Original Article
289	Ito H, Itasaka S, Sakanaka K et al.	放射線治療科	Long-term complications of definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer using the classical method.	Journal of radiation research 201607;58:106-113	Original Article
290	Kishi T, Matsuo Y, Nakamura A et al.	放射線治療科	Comparative evaluation of respiratory-gated and ungated FDG-PET for target volume definition in radiotherapy treatment planning for pancreatic cancer.	Radiotherapy and oncology : journal of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology 201608;120:217-221	Original Article

291	Mampuya WA, Nakamura M, Hirose Y et al.	放射線治療科	Difference in dose-volumetric data between the analytical anisotropic algorithm, the dose-to-medium, and the dose-to-water reporting modes of the Acuros XB for lung stereotactic body radiation therapy.	J. Appl. Clin. Med. Phys. 201604;17:341-347	Original Article
292	Matsuo Y, Shibuya K, Okubo K et al.	放射線治療科	Long-term outcomes of intensity-modulated radiotherapy following extra-pleural pneumonectomy for malignant pleural mesothelioma.	Acta oncologica (Stockholm, Sweden) 201701(オンライン)	Original Article
293	Matsuo Y, Nakamura M, Mizowaki T et al.	放射線治療科	Technical Note: Introduction of variance component analysis to setup error analysis in radiotherapy.	Med. Phys. 201604;43:5195-5198	Original Article
294	Mitsuyoshi T, Nakamura M, Matsuo Y et al.	放射線治療科	Dosimetric comparison of lung stereotactic body radiotherapy treatment plans using averaged computed tomography and end-exhalation computed tomography images: Evaluation of the effect of different dose-calculation algorithms and prescription methods.	Medical dosimetry : official journal of the American Association of Medical Dosimetrists 201604;41:305-309	Original Article
295	Mizowaki T, Norihisa Y, Takayama K et al.	放射線治療科	Ten-year outcomes of intensity-modulated radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for intermediate- and high-risk patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer.	International journal of clinical oncology 201608;21:783-790	Original Article
296	Mizowaki T	放射線治療科	[Intensity-modulated radiation therapy (IMRT)].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine 201605;74 Suppl 3:508-513	Original Article
297	Mukumoto N, Nakamura M, Yamada M et al.	放射線治療科	Development of a four-axis moving phantom for patient-specific QA of surrogate signal-based tracking IMRT.	Medical physics 201612;43:6364	Original Article
298	Nakamura M, Minemura T, Mizokura S et al.	放射線治療科	An on-site audit system for dosimetry credentialing of intensity-modulated radiotherapy in Japanese Clinical Oncology Group (JCOG) clinical trials.	Phys. Med. 201604;32:987-991	Original Article
299	Takamiya M, Nakamura M, Akimoto M et al.	放射線治療科	Multivariate analysis for the estimation of target localization errors in fiducial marker-based radiotherapy.	Med. Phys. 201604;43:1907-1912	Original Article
300	Uto M, Mizowaki T, Ogura K et al.	放射線治療科	Non-coplanar volumetric-modulated arc therapy (VMAT) for craniopharyngiomas reduces radiation doses to the bilateral hippocampus: a planning study comparing dynamic conformal arc therapy, coplanar VMAT, and non-coplanar VMAT.	Radiation oncology (London, England) 201606;11:86	Original Article

301	Mampuya W, Matsuo Y, Nakamura A et al.	放射線治療科	Evaluation of the prevalence of burnout and psychological morbidity among radiation oncologist members of the Kyoto Radiation Oncology Study Group (KROSC)	Journal of Radiation Research 201610;58(2):217-224	Original Article
302	Fushimi Y, Okada T, Okuchi S et al.	放射線診断科	Jugular venous reflux on magnetic resonance angiography and radionuclide venography.	Acta radiologica open 201612;5:2058460116681209	Original Article
303	Miyake KK, Nakamoto Y, Mikami Y et al.	放射線診断科	The predictive value of preoperative 18F-fluorodeoxyglucose PET for postoperative recurrence in patients with localized primary gastrointestinal stromal tumour.	Eur Radiol. 201612;26:4664-4674	Original Article
304	Miyake KK, Nakamoto Y, Kataoka TR et al.	放射線診断科	Clinical, Morphologic, and Pathologic Features Associated With Increased FDG Uptake in Schwannoma.	Am J Roentgenol. 201612;207:1288-1296	Original Article
305	Nakamoto R, Nakamoto Y, Ishimori T et al.	放射線診断科	18F-Fluorodeoxyglucose Uptake in Anti-N-Methyl-D-Aspartate-Receptor Encephalitis Associated With an Immature Teratoma.	Clinical nuclear medicine 201702;42:157-160	Original Article
306	Nakamoto Y, Ishimori T, Sano K et al.	放射線診断科	Clinical efficacy of dual-phase scanning using 68Ga-DOTATOC-PET/CT in the detection of neuroendocrine tumours.	Clin Radiol 201605;71(10):1069	Original Article
307	Okubo G, Okada T, Yamamoto A et al.	放射線診断科	Relationship between aging and T ₁ relaxation time in deep gray matter: A voxel-based analysis.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI 201702;46(3):724-731	Original Article
308	Saga T, Inubushi M, Koizumi M et al.	放射線診断科	Prognostic value of PET/CT with 18F-fluoroazomycin arabinoside for patients with head and neck squamous cell carcinomas receiving chemoradiotherapy.	Ann Nucl Med. 201604;30:217-224	Original Article
309	Takakura K, Kido A, Fujimoto K et al.	放射線診断科	Evaluation of Appropriate Readout Sequence for Renal MRI Perfusion Using ASTAR (ASL) Technique.	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi 201604;72:1105-1112	Original Article
310	Kato K, Sato K	麻酔科	Longitudinal deformation of coronary stent detected by transesophageal echocardiography	SOJ Anesthesiology & Pain Management 201604;1:1-3	Original Article

311	Kato K, Matsumura Y, Yamamoto M et al.	麻酔科	Regional Spread of CTX-M-2-Producing Proteus mirabilis with the Identical Genetic Structure in Japan.	Microbial drug resistance (Larchmont, N.Y.) 201611;23(5):590-595	Original Article
312	Kato K, Sekiguchi M, Nikaido T et al.	麻酔科	Psychosocial Stress after a Disaster and Low Back Pain Related Interference With Daily Living among College Students: A Cohort Study in Fukushima.	Spine 201701;42(16):1255-1260	Original Article
313	Mizota T, Hamada M, Matsukawa S et al.	麻酔科	Relationship Between Intraoperative Hypotension and Acute Kidney Injury After Living Donor Liver Transplantation: A Retrospective Analysis.	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia 201612;31(2):582-589	Original Article
314	Sato M, Shirakami G, Fukuda K	麻酔科	Comparison of general anesthesia and monitored anesthesia care in patients undergoing breast cancer surgery using a combination of ultrasound-guided thoracic paravertebral block and local infiltration anesthesia: a retrospective study.	Journal of anesthesia 201604;30:244-251	Original Article
315	Maizumi S, Fujita H, Sasaki Y et al.	麻酔科	Differential Involvement of the Npl4 Zinc Finger Domains of SHARPIN and HOIL-1L in Linear Ubiquitin Chain Assembly Complex-Mediated Cell Death Protection.	Molecular and cellular biology 201605;36:1569-1583	Original Article
316	Arakawa Y	脳神経外科	[Long-Term Efficacy of BCNU Wafers for Malignant Gliomas].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 201606;43:690-693	Original Article
317	Chihara H, Oishi N, Ishii A et al.	脳神経外科	In vivo detection of atherosclerotic plaque using non-contact and label-free near-infrared hyperspectral imaging.	Atherosclerosis 201607;250:106-113	Original Article
318	Chihara H, Ishii A, Yamuchi T et al.	脳神経外科	Deployment technique that takes advantage of the characteristics of Enterprise VRD2: an in vitro study.	J Neurointerv Surg 201608;9(10):969-973	Original Article
319	Chihara H, Takagi Y, Nishino K et al.	脳神経外科	Factors Predicting the Effects of Hybrid Assistive Limb Robot Suit during the Acute Phase of Central Nervous System Injury.	Neurologia medico-chirurgica 201604;56:33-37	Original Article
320	Dodo T, Okada T, Yamamoto A et al.	脳神経外科	T1-weighted MR imaging of glioma at 3T: a comparative study of 3D MPRAGE vs. conventional 2D spin-echo imaging.	Clinical imaging 201608;40:1257-1261	Original Article

321	Hermanto Y, Takagi Y, Yoshida K et al.	脳神経外科	Histopathological Features of Brain Arteriovenous Malformations in Japanese Patients.	Neurologia medico-chirurgica 201606;56:340-344	Original Article
322	Inano R, Oishi N, Kunieda T et al.	脳神経外科	Visualization of heterogeneity and regional grading of gliomas by multiple features using magnetic resonance-based clustered images.	Scientific reports 201607;6:30344	Original Article
323	Ishii A, Chihara H, Kikuchi T et al.	脳神経外科	Contribution of the straightening effect of the parent artery to decreased recanalization in stent-assisted coiling of large aneurysms.	J Neurosurg. 201612;127(5):1063-1069	Original Article
324	Iwai A, Umeda K, Uto M et al.	脳神経外科	Whole brain radiotherapy with volumetric-modulated arc therapy for pediatric intracranial embryonic carcinoma prevents permanent alopecia.	Pediatric blood & cancer 201701 (オンライン)	Original Article
325	Asaki T, Yoshida K, Kikuchi T et al.	脳神経外科	Ruptured Aneurysms of the Occipital Artery Associated with Congenital Occipital Bone Defect.	World neurosurgery 201701;97:759.e13-759.e15	Original Article
326	Liu B, Arakawa Y, Murata D et al.	脳神経外科	Clinicopathological, radiological and genetic analyses of cerebellar gangliogliomas with long-term survival.	World neurosurgery 201607;94:521-528	Original Article
327	Morimoto T, Mineharu Y, Kobayashi H et al.	脳神経外科	Significant Association of the RNP213 p.R4810K Polymorphism with Quasi-Moyamoya Disease.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association 201611;25:2632-2636	Original Article
328	Nakayama Y, Mineharu Y, Arakawa Y et al.	脳神経外科	Erratum to: Cerebral amyloid angiopathy in a young man with a history of traumatic brain injury: a case report and review of the literature.	Acta neurochirurgica 201612;159:19	Case report
329	Nodomi S, Umeda K, Ueno H et al.	脳神経外科	Efficacy of Ifosfamide-Cisplatin-Etoposide (ICE) Chemotherapy for a CNS Germinoma in a Child With Down Syndrome.	Journal of pediatric hematology/oncology 201611;39:e39-e42	Original Article
330	Sugita Y, Funaki T, Takahashi JC et al.	脳神経外科	Reversible striatal hypermetabolism in chorea associated with moyamoya disease: a report of two cases.	Child's nervous system : ChNS : official journal of the International Society for Pediatric Neurosurgery 201605;32:2243-2247	Original Article

331	Terada Y, Mineharu Y, Arawaka Y et al.	脳神経外科	Effectiveness of neuroendoscopic ventricular irrigation for ventriculitis.	Clinical neurology and neurosurgery 201607;146:147-151	Original Article
332	Uto M, Mizowaki T, Ogura K et al.	脳神経外科	Feasibility evaluation of hypofractionated radiotherapy with concurrent temozolomide in elderly patients with glioblastoma.	International journal of clinical oncology 201607;21(6):1023-1029	Original Article
333	Yamao Y, Suzuki K, Kunieda T et al.	脳神経外科	Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway.	Human brain mapping 201701;38:1977- 1991	Original Article
334	Yamao Y, Kunieda T, Matsumoto R	脳神経外科	Reply to Commentary on "Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation study"	Cortex 201604;75:244-246	Original Article
335	Yamao Y, Kunieda T, Matsumoto R	脳神経外科	Probing functional brain networks with cortical electrical stimulation	Japanese Journal of Neurosurgery 201604;25:411-420	Original Article
336	Yoshida K, Takahashi JC, Takenobu Y et al.	脳神経外科	Strokes Associated With Pregnancy and Puerperium: A Nationwide Study by the Japan Stroke Society.	Stroke 201702;48:276-282	Original Article
337	Masakazu Fujimoto, Akihiko Yoshizawa, Shinji Sumiyoshi et al.	病理診断科	Adipophilin expression in lung adenocarcinoma is associated with an apocrine-like features and poor clinical prognosis: an immunohistochemical study of 328 cases	Histopathology 201604;70(2):232-241	Original Article
338	Noda K, Mishina Y, atsu Y	形成外科	Constitutively active mutation of ACVR1 in oral epithelium causes submucous cleft palate in mice	Developmental Biology 201607;415:306- 313	Original Article
339	Noda K, Kitami M, Kitami K et al.	形成外科	Canonical and noncanonical intraflagellar transport regulates craniofacial skeletal development	Proceedings of National Academy of Sciences of the United States of America 201605;113:E2589-E2597	Original Article
340	Saito S, Sawabe K, Suzuki Y et al.	形成外科	Ultrasonographic Characteristics of Volar-Lateral Ligament Constrains after Proximal Interphalangeal Joint Injuries	Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery 201604;50(4):216-221	Original Article

341	Date H, Aoyama A, Hijiya K et al.	呼吸器外科	Outcomes of various transplant procedures (single, sparing, inverted) in living-donor lobar lung transplantation.	J Thorac Cardiovasc Surg 201702;153:479-486	Original Article
342	Goda Y, Chen- Yoshikawa TF, Kusunose K et al.	呼吸器外科	Late-onset chest wall abscess due to a biodegradable rib pin infection after lung transplantation	Gen Thorac Cardiovasc Surg 201703 (オンライン)	Original Article
343	Hayakawa, Nakamoto Y, Chen- Yoshikawa TF et al.	呼吸器外科	Gastric motility and emptying assessment by magnetic resonance imaging after lung transplantation: Correlation with gastric emptying scintigraphy	Abdom Radiol (NY) 201703;42:818-824	Original Article
344	Kayawake H, Chen- Yoshikawa TF, Aoyama A et al.	呼吸器外科	Excellent outcome of donor lobectomy with various surgical techniques for the interlobar artery.	Eur J Cardiothorac Surg 201702;51:279-283	Original Article
345	Kayawake H, Chen- Yoshikawa TF, Aoyama A et al.	呼吸器外科	Superior mesenteric artery syndrome after lung transplantation: a rare early gastrointestinal complication of lung transplantation.	Surg Today 201703 (オンライン)	Original Article
346	Ohata K, Chen- Yoshikawa TF, Menju T et al.	呼吸器外科	Protective effect of inhaled rho-kinase inhibitor on lung ischemia-reperfusion injury	Ann Thorac Surg 201702;103:476-483	Original Article
347	Sowa T, Menju T, Chen- Yoshikawa TF et al.	呼吸器外科	Hypoxia-inducible factor 1 promotes chemoresistance of lung cancer by inducing carbonic anhydrase IX expression.	Cancer Med 201701;6:288-297	Original Article
348	Tanaka S, Chen- Yoshikawa TF, Hijiya K	呼吸器外科	Characteristics of Postoperative Malignancies after Lung Transplantation.	Kyobu Geka 201610;69:935-939	Original Article
349	Yamada T, Chen- Yoshikawa TF, Oh S et al.	呼吸器外科	Living-donor lung transplantation following bone-marrow transplantation for Chediak-Higashi Syndrome.	Ann Thorac Surg 201703;103:e281-e283	Original Article
350	Yamamoto T, Kawata K, Itatani Y et al.	呼吸器外科	Loss of SMAD4 Promotes Lung Metastasis of Colorectal Cancer by Accumulation of CCR1 + Tumor-associated Neutrophils through CCL15-CCR1 Axis.	Clin Cancer Res 201702;23:833-844	Original Article

351	Gomi R, Matsuda T, Matsumura Y et al.	検査部	Whole-Genome Analysis of Antimicrobial-Resistant and Extraintestinal Pathogenic <i>Escherichia coli</i> in River Water.	Applied and environmental microbiology 201703(オンライン)	Original Article
352	Ito Y, Nagao M, Iinuma Y et al.	検査部	Risk factors for nosocomial tuberculosis transmission among health care workers.	American journal of infection control 201605;44:596-598	Original Article
353	Matsumura Y, Pitout JD, Gomi R et al.	検査部	Global <i>Escherichia coli</i> Sequence Type 131 Clade with bla _{CTX-M-27} Gene.	Emerging infectious diseases 201611;22:1900-1907	Original Article
354	Matsumura Y, Yamamoto M, Nagao M et al.	検査部	In vitro activities and detection performances of cefmetazole and flomoxef for extended-spectrum β -lactamase and plasmid-mediated AmpC β -lactamase-producing Enterobacteriaceae.	Diagnostic microbiology and infectious disease 201604;84:322-327	Original Article
355	Matsumura Y, Pitout JD	検査部	Recent advances in the laboratory detection of carbapenemase-producing Enterobacteriaceae.	Expert review of molecular diagnostics 201607;16:783-794	Review
356	Nagao M, Yamamoto M, Matsumura Y et al.	検査部	Complete adherence to evidence-based quality-of-care indicators for <i>Staphylococcus aureus</i> bacteremia resulted in better prognosis.	Infection 201702;45:83-91	Original Article
357	Nakano S, Matsumura Y, Kato K et al.	検査部	Differentiation of vanA-positive <i>Enterococcus faecium</i> from vanA-negative <i>E. faecium</i> by matrix-assisted laser desorption/ionisation time-of-flight mass spectrometry.	Int J Antimicrob Agents 201604;44:256- 259	Original Article
358	Nakano S, Matsuoka N, Yamamoto M	検査部	Septic Arthritis due to <i>Streptococcus dysgalactiae</i> Subspecies <i>equisimilis</i> in a Healthy School Child.	Pediatr Infect Dis J 201701;36:621-622	Original Article
359	Noguchi T, Matsumura Y, Yamamoto M et al.	検査部	Clinical and microbiologic characteristics of cefotaxime-non-susceptible Enterobacteriaceae bacteremia: a case control study.	BMC infectious diseases 201701;17:44	Original Article
360	Yamamoto M, Matsumura Y, Gomi R et al.	検査部	Interspecies Dissemination of a Mobilizable Plasmid Harboring bla _{IMP-19} and the Possibility of Horizontal Gene Transfer in a Single Patient.	Antimicrobial agents and chemotherapy 201609;60:5412-5419	Original Article

361	Yunoki T, Matsumura Y, Nakano S et al.	検査部	Genetic, phenotypic and matrix-assisted laser desorption ionization time-of-flight mass spectrometry-based identification of anaerobic bacteria and determination of their antimicrobial susceptibility at a University Hospital in Japan.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 201605;22:303-307	Original Article
362	Asao Y, Hashizume Y, Suita T et al.	手術部	Photoacoustic mammography capable of simultaneously acquiring photoacoustic and ultrasound images.	Journal of biomedical optics 201611;21:116009	Original Article
363	Hirata K, Yoshimura M, Inoue M et al.	手術部	Regional recurrence in breast cancer patients with one to three positive axillary lymph nodes treated with breast-conserving surgery and whole breast irradiation.	Journal of radiation research 201607;58(1):79-85	Original Article
364	Toi M, Asao Y, Matsumoto Y et al.	手術部	Visualization of tumor-related blood vessels in human breast by photoacoustic imaging system with a hemispherical detector array.	Scientific reports 201702;7:41970	Original Article
365	Ueda S, Kido A, Kataoka M et al.	放射線部	MR imaging of uterine morphology and dynamic changes during lactation.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI 201702;45:617-623	Original Article
366	Kido A, Fujimoto K, Matsubara N et al.	放射線部	A Layer of Decreased Apparent Diffusion Coefficient at the Endometrial-Myometrial Junction in Uterine Adenomyosis.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine 201604;15:220-226	Original Article
367	Kubo T, Ohno Y, Takenaka D et al.	放射線部	Standard-dose vs. low-dose CT protocols in the evaluation of localized lung lesions: Capability for lesion characterization?iLEAD study	European Journal of Radiology Open 201604;3:67-73	Original Article
368	Kubo T, Ohno Y, Nishino M et al.	放射線部	Low dose chest CT protocol (50 mAs) as a routine protocol for comprehensive assessment of intrathoracic abnormality	European Journal of Radiology Open 201604;3:86-94	Original Article
369	Shimizu Y, Hanzawa H, Zhao Y et al.	放射線部	Immunoglobulin G (IgG)-Based Imaging Probe Accumulates in M1 Macrophage-Infiltrated Atherosclerotic Plaques Independent of IgG Target Molecule Expression.	Molecular imaging and biology : MIB : the official publication of the Academy of Molecular Imaging 201612;19(4):531-539	Original Article
370	Shimizu Y, Kuge Y	放射線部	Recent Advances in the Development of PET/SPECT Probes for Atherosclerosis Imaging.	Nuclear medicine and molecular imaging 201612;50:284-291	Original Article

371	Miura Y	輸血細胞治療部	Human Bone Marrow Mesenchymal Stromal/Stem Cells: Current Clinical Applications and Potential for Hematology.	International Journal of Hematology 201604;103:122-128	Original Article
372	Miura Y	輸血細胞治療部	Guest editorial: Human Mesenchymal Stromal/Stem Cell (MSC).	International Journal of Hematology 201604;103:119-121	Original Article
373	Sugino N, Miura Y, Yao H et al.	輸血細胞治療部	Early osteoinductive human bone marrow mesenchymal stromal/stem cells support an enhanced hematopoietic cell expansion with altered chemotaxis- and adhesion-related gene expression profiles.	Biochem Biophys Res Commun 201604;469:823-829	Original Article
374	Terao C, Yoshifuji H, Yamano Y et al.	輸血細胞治療部	Genotyping of relapsing polychondritis identified novel susceptibility HLA alleles and distinct genetic characteristics from other rheumatic diseases.	Rheumatology (Oxford) 201604;55(9):1686-1692	Original Article
375	U-Taleb F, Yamaguchi K, Matsumura N et al.	周産母子診療部	Comprehensive assessment of the expression of the SWI/SNF complex defines two distinct prognostic subtypes of ovarian clear cell carcinoma.	Oncotarget. 201606;7(34):54758-54770	Original Article
376	Hamanishi J, Mandai M, Matsumura N et al.	周産母子診療部	PD-1/PD-L1 blockade in cancer treatment: perspectives and issues.	International journal of clinical oncology 201606;21:462-473	Original Article
377	Hamanishi J, Mandai M, Konishi I	周産母子診療部	Immune checkpoint inhibition in ovarian cancer.	International immunology 201607;28:339-348	Original Article
378	Hino M, Yamaguchi K, Sakiko K et	周産母子診療部	Magnetic resonance imaging findings and prognosis of gastric-type mucinous adenocarcinoma (minimal deviation adenocarcinoma or adenoma malignum) of the uterine corpus: Two case reports.	Molecular and clinical oncology 201605;4:699-704	Case report
379	Horikawa N, Abiko K, Matsumura N et al.	周産母子診療部	Expression of Vascular Endothelial Growth Factor in Ovarian Cancer Inhibits Tumor Immunity through the Accumulation of Myeloid-Derived Suppressor Cells.	Clin Cancer Res. 201607;23(2):587-599	Original Article
380	Izawa K, Martin E, Soudais C et al.	周産母子診療部	Inherited CD70 deficiency in humans reveals a critical role for the CD70-CD27 pathway in immunity to Epstein-Barr virus infection.	The Journal of experimental medicine 201701;214:73-89	Original Article

381	Murakami R, Matsumura N, Mandai M et al.	周産母子診療部	Establishment of a Novel Histopathological Classification of High-Grade Serous Ovarian Carcinoma Correlated with Prognostically Distinct Gene Expression Subtypes.	The American journal of pathology 201605;186:1103-1113	Original Article
382	Murakami R, Matsumura N, Brown JB et al.	周産母子診療部	Prediction of taxane and platinum sensitivity in ovarian cancer based on gene expression profiles.	Gynecologic oncology 201604;141:49-56	Original Article
383	Yamanoi K, Matsumura N, Murphy SK et al.	周産母子診療部	Suppression of ABHD2, identified through a functional genomics screen, causes anoikis resistance, chemoresistance and poor prognosis in ovarian cancer.	Oncotarget 201606;7(30):47620-47636	Original Article
384	Hiragi S, Tamura H, Goto R et al.	医療情報企画部	The Validity of Markov Model for the Prognostic Estimation of Chronic Kidney Disease	Value in Health 201605;19:A852-A853	Original Article
385	Isuzu S, Setoyama T, Ueo T et al.	内視鏡部	Concomitant Case of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas and Functioning Pancreatic Neuroendocrine Tumor (Vasoactive Intestinal Polypeptide-Producing Tumor): First Report.	Pancreas 201607;45:e24-25	Original Article
386	Minami N, Matsuura M, Koshikawa Y et al.	内視鏡部	Maternal and fetal outcomes in pregnant Japanese women with inflammatory bowel disease: our experience with a series of 23 cases.	Intestinal research 201701;15:90-96	Original Article
387	Nishikawa Y, Sakurai T, Miyamoto S	内視鏡部	Multiple White Plaques in the Body of the Stomach in a Patient Undergoing Hemodialysis.	Gastroenterology 201607;151:e18-19	Original Article
388	Hori T, Kaido T, Iida al.	臓器移植医療部	Comprehensive guide to laparoscope-assisted graft harvesting in live donors for living-donor liver transplantation: perspective of laparoscopic vision.	Ann Gastroenterol 201701;30:118-126	Original Article
389	Iwamoto R, Kataoka TR, Furuhashi A et al.	臓器移植医療部	Perivascular epithelioid cell tumor of the descending colon mimicking a gastrointestinal stromal tumor: a case report.	World journal of surgical oncology 201611;14:285	Case report
390	Kaido T, Tamai Y, Hamaguchi Y et al.	臓器移植医療部	Effects of pretransplant sarcopenia and sequential changes in sarcopenic parameters after living donor liver transplantation.	Nutrition (Burbank, Los Angeles County, Calif.) 201701;33:195-198	Original Article

391	Kaido T, Tamai Y, Hamaguchi Y et al.	臓器移植医療 部	Effects of pre-transplant sarcopenia and sequential changes in sarcopenic parameters after living donor liver transplantation.	Nutrition 201701;33:195-198	Original Article
392	Kamo N, Kaido T, Yagi S et al.	臓器移植医療 部	Liver transplantation for small hepatocellular carcinoma.	HepatoBiliary Surgery and Nutrition 201604;5:391-398	Original Article
393	Kataoka T	臓器移植医療 部	Variegated RHOA mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma.	Blood. 201604;127(5):596-604	Original Article
394	Kataoka T	臓器移植医療 部	Clinical, morphological and pathological features associated with increased FDG uptake in schwannoma	Am J Roentgenol. 201604 (オンライン)	Original Article
395	Ujamae T, Nomura T, Kataoka T et al.	臓器移植医療 部	Possible inducible skin-associated lymphoid tissues (iSALT)-like structures with CXCL13 ⁺ fibroblast-like cells in secondary syphilis.	The British journal of dermatology 201701 (オンライン)	Original Article
396	Takeda H, Ueda Y, Inuzuka T et al.	臓器移植医療 部	Evolution of multi-drug resistant HCV clones from pre-existing resistant-associated variants during direct-acting antiviral therapy determined by third-generation sequencing.	Scientific reports 201703;7:45605	Original Article
397	Kaidou T	臓器移植医療 部	Selection criteria and current issues in liver transplantation for hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 201605;5:121-127	Original Article
398	Ueda Y, Ikegami T, Hamamatsu N	臓器移植医療 部	Treatment with sofosbuvir and ledipasvir without ribavirin for 12 weeks is highly effective for recurrent hepatitis C virus genotype 1b infection after living donor liver transplantation: a Japanese multicenter experience.	Journal of gastroenterology 201701;52(8):986-991	Original Article
399	Ueda Y, Ikegami T, Soyama A et al.	臓器移植医療 部	Simeprevir or telaprevir with peginterferon and ribavirin for recurrent hepatitis C after living-donor liver transplantation: A Japanese multicenter experience.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 201612;46:1285-1293	Original Article
400	Ueda Y, Uemoto S	臓器移植医療 部	Interferon-Free Therapy for Hepatitis C in Liver Transplant Recipients	Transplantation 201604;100:54-60	Original Article

401	Ito S, Yano I, Hashi S et al.	薬剂部	Population Pharmacokinetic Modeling of Levetiracetam in Pediatric and Adult Patients With Epilepsy by Using Routinely Monitored Data.	Therapeutic drug monitoring 201606;38:371-378	Original Article
402	Miyake T, Nakamura S, Zhao M et al.	薬剂部	Cold sensitivity of TRPA1 is unveiled by the prolyl hydroxylation blockade-induced sensitization to ROS.	Nature Communications 201609;7:12840	Original Article
403	Nagashima T, Shirakawa H, Nakagawa T et al.	薬剂部	Prevention of antipsychotic-induced hyperglycaemia by vitamin D: a data mining prediction followed by experimental exploration of the molecular mechanism	Scientific Reports 201604;6:26375-26375	Original Article
404	Nishikawa Y, Funakoshi T, Horimatsu T et al.	薬剂部	Accumulation of alpha-fluoro-beta-alanine and fluoro mono acetate in a patient with 5-fluorouracil-associated hyperammonemia.	Cancer chemotherapy and pharmacology 201703;79:629-633	Original Article
405	Ue H, Yano I, Tanaka A et al.	薬剂部	Significant effect of age on docetaxel pharmacokinetics in Japanese female breast cancer patients by using the population modeling approach.	European journal of clinical pharmacology 201606;72:703-710	Original Article
406	Otani Y, Yonezawa A, Tsuda M et al.	薬剂部	Time-dependent structural alteration of rituximab analyzed by LC/TOF-MS after a systemic administration to rats	PLOS ONE 201701;12:e0169588	Original Article
407	So K, Tei Y, Zhao M et al.	薬剂部	Hypoxia-induced sensitization of TRPA1 in painful dysesthesia evoked by transient hindlimb ischemia/reperfusion in mice	Scientific Reports 201604;6:23261	Original Article
408	Tanaka A, Yano I, Shinsako K et al.	薬剂部	Population Pharmacokinetics of Everolimus in Relation to Clinical Outcomes in Patients With Advanced Renal Cell Carcinoma.	Therapeutic drug monitoring 201612;38:663-669	Original Article
409	Yoshimatsu H, Yonezawa A, Yamanishi K et al.	薬剂部	Disruption of Slc52a3 gene causes neonatal lethality with riboflavin deficiency in mice	Scientific Reports 201604;6:27557	Original Article
410	Zhou Z, Yano I, Odaka S et al.	薬剂部	Effect of vitamin K2 on the anticoagulant activity of warfarin during the perioperative period of catheter ablation: Population analysis of retrospective clinical data.	Journal of pharmaceutical health care and sciences 201604;2:17	Original Article

411	Aoki T, Ikenoue T, Yamamoto Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Attributes of primary care in relation to polypharmacy: a multicenter cross-sectional study in Japan.	International journal for quality in health care : journal of the International Society for Quality in Health Care 201703;29:1-6	Original Article
412	Aoki T, Miyashita J, Yamamoto Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Association Between Patient Experience of Primary Care and Advance Care Planning: A Multicenter Cross-Sectional Study in Japan.	Family Practice. 201604(オンライン)	Original Article
413	Goto S, Hasegawa S, Hata H et al.	総合臨床教育・研修センター	Differences in surgical site infection between laparoscopic colon and rectal surgeries: sub-analysis of a multicenter randomized controlled trial (Japan-Multinational Trial Organization PREV 07-01).	International journal of colorectal disease 201611;31:1775-1784	Original Article
414	Hoshino N, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	Impact of age on the prognostic value of number of lymph nodes retrieved in patients with stage II colorectal cancer.	International journal of colorectal disease 201607;31:1307-1313	Original Article
415	Hoshino N, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	Influence of hospital type on survival in stage IV colorectal cancer.	International journal of colorectal disease 201606;31:1443-1449	Original Article
416	Hoshino N, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	Right hemicolectomy for mesenteric phlebosclerosis potentially caused by long-term use of herbal medicine: A case report and literature review.	International journal of surgery case reports 201605;24:191-194	Case report
417	Hoshino N, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	Nomogram for predicting recurrence in stage II colorectal cancer.	Acta oncologica (Stockholm, Sweden) 201612;55:1414-1417	Original Article
418	Hosogi H, Shinohara H, Tanoda S et al.	総合臨床教育・研修センター	Staging laparoscopy for advanced gastric cancer: significance of preoperative clinicopathological factors.	Langenbeck's archives of surgery 201702;402:33-39	Original Article
419	Ikenoue T, Fukuma S, Yamamoto Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Influence of Staff Encouragement on Perceived Burden of Dietary Restriction among Patients Living Alone.	Therapeutic apheresis and dialysis : official peer-reviewed journal of the International Society for Apheresis, the Japanese Society for Apheresis, the Japanese Society for Dialysis Therapy 201607;20:623-631	Review
420	Kawada K, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	Advantages of the transanal approach for intersphincteric resection: video vignette.	Colorectal disease : the official journal of the Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland 201606;18(8):820	Original Article

421	Kawada K, Hasegawa S, Wada T et al.	総合臨床教育・研修センター	Evaluation of intestinal perfusion by ICG fluorescence imaging in laparoscopic colorectal surgery with DST anastomosis.	Surgical endoscopy 201606;31:1061-1069	Original Article
422	Murakami M, Fukuma S, Ikezoe M et al.	総合臨床教育・研修センター	Effects of structured education program on organ donor designation of nursing students and their families: A randomized controlled trial.	Clinical transplantation 201609;30:1513-1519	Original Article
423	Okamura R, Hasegawa S, Hida K et al.	総合臨床教育・研修センター	The role of periodic serum CA19-9 test in surveillance after colorectal cancer surgery.	International journal of clinical oncology 201702;22:96-101	Original Article
424	Sasaki S, Hasegawa T, Kawarazaki H et al.	総合臨床教育・研修センター	Development and Validation of a Clinical Prediction Rule for Bacteremia among Maintenance Hemodialysis Patients in Outpatient Settings.	PloS one 201701;12:e0169975	Original Article
425	Kawada T, Imamoto M, Fukuma S et al.	総合臨床教育・研修センター	Effect of cooking classes for housewives on salt reduction in family members: a cluster randomized controlled trial.	Public Health. 201611;140:144-150	Original Article
426	Tsujimoto Y, Tsujimoto H, Kataoka Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Majority of systematic reviews published in high-impact journals neglected to register the protocols: a meta-epidemiological study.	Journal of clinical epidemiology 201702;84:54-60	Review
427	Tsujimoto Y, Tsujimoto H, Nakata Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Dialysate temperature reduction for intradialytic hypotension for people with chronic kidney disease requiring haemodialysis (Protocol)	Cochrane Database Syst Rev 201703(オンライン)	Original Article
428	Wada T, Kawada K, Takahashi R et al.	総合臨床教育・研修センター	ICG fluorescence imaging for quantitative evaluation of colonic perfusion in laparoscopic colorectal surgery.	Surgical endoscopy 201703;31(10):4184-4193	Original Article
429	Fujikawa R, Higuchi S, Nakatsuji M et al.	臨床研究総合センター	EP4 Receptor-Associated Protein in Microglia Promotes Inflammation in the Brain.	The American journal of pathology 201608;186:1982-1988	Original Article
430	Hasegawa T, Ooto S, Makiyama Y et al.	臨床研究総合センター	CIRCINATE PARTITION-LIKE FINDINGS ON CONE MOSAIC IMAGED BY ADAPTIVE OPTICS SCANNING LASER OPHTHALMOSCOPY IN EYES WITH INNER NUCLEAR LAYER MICROCYSTIC CHANGES.	Retinal cases & brief reports 201703(オンライン)	Original Article

431	Hata M, Tsujikawa A, Yoshimura N	臨床研究総合 センター	Reply to the letter to the editor: genetic influence on visual outcomes of polypoidal choroidal vasculopathy.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv für klinische und experimentelle Ophthalmologie 201605;254:1021-1022	Original Article
432	Hata M, Ikeda HO, Kikkawa C et al.	臨床研究総合 センター	KUS121, a VCP modulator, attenuates ischemic retinal cell death via suppressing endoplasmic reticulum stress.	Scientific reports 201703;7:44873	Original Article
433	Higuchi S, R, Fujikawa, T, Ikeda et al.	臨床研究総合セ ンター	EP4 receptor-associated protein (EPRAP) in macrophages protects against bleomycin-induced pulmonary inflammation in mice.	J Immunol 201612;197:4436-4443	Original Article
434	Ikeguchi R, Aoyama T, Kakinoki R et al.	臨床研究総合セ ンター	A clinical trial for Kienböck disease by cultured autologous multipotent mesenchymal stromal cells augmented with vascularized bone grafts: A report of five cases.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 201703 (オンライン)	Original Article
435	Onogai M, Marui A, Tabata Y et al.	臨床研究総合セ ンター	Safety and efficacy of sustained release of basic fibroblast growth factor using gelatin hydrogel in patients with critical limb ischemia.	Heart and vessels 201605;31:713-721	Original Article
436	Kuroda Y, Asada R, So K et al.	臨床研究総合セ ンター	A pilot study of regenerative therapy using controlled release of recombinant human fibroblast growth factor for patients with pre-collapse osteonecrosis of the femoral head.	International Orthopaedics 201604;40:1747-1754	Original Article
437	Nakanishi H, Akagi T, Suda K et al.	臨床研究総合セ ンター	Clustering of Combined 24-2 and 10-2 Visual Field Grids and Their Relationship With Circumpapillary Retinal Nerve Fiber Layer Thickness.	Investigative ophthalmology & visual science 201606;57:3203-3210	Original Article
438	Nishio H, Minakata K, Kawaguchi A et	臨床研究総合セ ンター	Transcutaneous oxygen pressure as a surrogate index of lower limb amputation.	Internat. Angiology 201612;35:565-572	Original Article
439	Tanaka D, Nakanishi H, Hangai M et al.	臨床研究総合セ ンター	Influence of high myopia on outcomes of trabeculectomy with mitomycin C in patients with primary open-angle glaucoma	Japanese Journal of Ophthalmology 201608;60:446	Original Article
440	Ueshima K, Itoh H, Kanazawa N et al.	臨床研究総合 センター	Rationale and design of the standard versus intensive statin therapy for hypercholesterolemic patients with diabetic retinopathy (EMPATHY) study: a randomized controlled trial	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 201604;23:976-990	Original Article

441	Uozumi R, Hamada C	臨床研究総合 センター	Interim decision making strategies in adaptive designs for population selection using time-to-event endpoints	Journal of Biopharmaceutical Statistics 201702;27:84-100	Original Article
442	Akasaka T, Fujimoto K, Yamamoto T et al.	脳機能総合研究 センター	Optimization of Regularization Parameters in Compressed Sensing of Magnetic Resonance Angiography: Can Statistical Image Metrics Mimic Radiologists' Perception?	PloS one 201604;11:e0146548	Original Article
443	Fushimi Y, Fujimoto K, Okada T et al.	脳機能総合研究 センター	Compressed Sensing 3-Dimensional Time-of-Flight Magnetic Resonance Angiography for Cerebral Aneurysms: Optimization and Evaluation.	Investigative radiology 201604;51:228- 235	Original Article
444	Fushimi Y, Okada T, Takagi Y et al.	脳機能総合研究 センター	Voxel Based Analysis of Surgical Revascularization for Moyamoya Disease: Pre- and Postoperative SPECT Studies.	PloS one 201604;11:e0148925	Original Article
445	Yoshida T, Sawamoto N, Tabu H et al.	脳機能総合研究 センター	Altered striatal circuits underlie characteristic personality traits in Parkinson's disease.	Journal of neurology 201606;263(9):1828- 39	Original Article
446	Kiguchi K, Kido A, Kataoka M et al.	脳機能総合研究 センター	Uterine peristalsis and junctional zone: correlation with age and postmenopausal status.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987) 201604;58(2):224-231	Original Article
447	Kinoshita H, Yamakado H, Kitano T et al.	脳機能総合研究 センター	Diagnostic utility of FDG-PET in neurolymphomatosis: report of five cases.	Journal of neurology 201606;263(9):1719- 1726	Original Article
448	Yamada H, Yamamoto A, Yamada T et al.	脳機能総合研究 センター	Diffusion tensor imaging of the optic chiasm in patients with intra- or parasellar tumor using readout-segmented echo-planar.	Magnetic resonance imaging 201606;34:654-661	Original Article
449	Yamamoto T, Fujimoto K, Okada T et al.	脳機能総合研究 センター	Time-of-Flight Magnetic Resonance Angiography With Sparse Undersampling and Iterative Reconstruction: Comparison With Conventional Parallel Imaging for Accelerated Imaging.	Investigative radiology 201606;51:372- 378	Original Article
450	Tanimukai H, Tsujimoto H, Matsuda Y et al.	臨床腫瘍薬理 学・緩和医療 学講座	Novel Therapeutic Strategies for Delirium in Patients With Cancer: A Preliminary Study.	The American journal of hospice & palliative care 201606;33:456-462	Original Article

451	Shimizu T, Fujibayashi S, Yamaguchi S et al.	運動器機能再建学講座	Bioactivity of sol-gel-derived TiO ₂ coating on polyetheretherketone: In vitro and in vivo studies.	Acta biomaterialia 201604;35:305-317	Original Article
452	Shimizu T, Otsuki B, Fujibayashi S et al.	運動器機能再建学講座	Spontaneous anterior arch fracture of the atlas following C1 laminectomy without fusion: A report of three cases and finite element analysis.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 201605;21:306-315	Original Article
453	Takemoto M, Fujibayashi S, Ota E et al.	運動器機能再建学講座	Additive-manufactured patient-specific titanium templates for thoracic pedicle screw placement: novel design with reduced contact area.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society 201606;25:1698-1705	Original Article
454	Tanida S, Fujibayashi S, Otsuki B et al.	運動器機能再建学講座	Vertebral Endplate Cyst as a Predictor of Nonunion after Lumbar Interbody Fusion: Comparison of Titanium and Polyetheretherketone Cages.	Spine 201604;41(20):E1216-E1222	Original Article
455	Kondoh H, Yanagida M	地域ネットワーク医療部	Reply to Makinen VP et al: Small scale but accurate metabolomics with high-reproducibility for identifying age-related blood metabolites	PNAS 201606;113:E3471-3472	Original Article
456	Nishio M, Koyama H, Ohno Y et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Emphysema Quantification Using Ultralow-Dose CT With Iterative Reconstruction and Filtered Back Projection.	AJR. American journal of roentgenology 201606;206:1184-1192	Original Article
457	Nishio M, Nakane K, Tanaka Y	先制医療・生活習慣病研究センター	Application of the homology method for quantification of low-attenuation lung region inpatients with and without COPD.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease 201604;11:2125-2137	Original Article
458	Nishio M, Nagashima C	先制医療・生活習慣病研究センター	Computer-aided Diagnosis for Lung Cancer: Usefulness of Nodule Heterogeneity.	Academic radiology 201703;24:328-336	Original Article
459	Shimazu-Kuwahara S, Harada N, Yamane S et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Attenuated secretion of glucose-dependent insulinotropic polypeptide (GIP) does not alleviate hyperphagic obesity and insulin resistance in ob/ob mice.	Molecular Metabolism 201701;6:288-294	Original Article
460	Ueda-Sakane Y, Kanamoto N, Fushimi Y et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Overall safety and efficacy of high-dose and low-dose intravenous glucocorticoid therapy in patients with moderate-to-severe active Graves' ophthalmopathy.	Endocrine journal 201608;63:703-714	Original Article

461	Yabe D, Ambos A, Cariou B et al.	先端糖尿病学講座	Efficacy of lixisenatide in patients with type 2 diabetes: a post hoc analysis of patients with diverse β -cell function in the GetGoal-M and GetGoal-S trials	Journal of Diabetes and its Complications 201605;30:1385-1392	Original Article
462	Yabe D, Eto T, Shiramoto M et al.	先端糖尿病学講座	Effects of DPP-4 inhibitor linagliptin and GLP-1 receptor agonist liraglutide on physiological response to hypoglycemia in Japanese subjects with type 2 diabetes: a randomized, open-label, 2 arm parallel comparative, exploratory trial.	Diabetes, Obesity and Metabolism 201703;19:442-447	Original Article
463	Fujino J, Hirose K, Tei S et al.	デイ・ケア診療部	Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity.	Schizophrenia research 201609;178:94-101	Original Article
464	Hirohiko T	母体胎児集中治療部	Role of versican in the pathogenesis of peritoneal endometriosis	J Clin Endocrinol Metab. 201611;101:4349-4356	Original Article
465	Nakamoto H, Sato Y, Horie A et al.	母体胎児集中治療部	CD9 suppresses human extravillous trophoblast invasion	Placenta 201611;47:105-112	Original Article
466	Kawasaki K, Kondoh E, Minamiguchi S et al.	病理部	Live-born diploid fetus complicated with partial molar pregnancy presenting with pre-eclampsia, maternal anemia, and seemingly huge placenta: A rare case of confined placental mosaicism and literature review.	The journal of obstetrics and gynaecology research 201605;42(8):911-917	Review
467	Nakayama Y, Mineharu Y, Arawaka Y et al.	病理部	Cerebral amyloid angiopathy in a young man with a history of traumatic brain injury: a case report and review of the literature.	Acta neurochirurgica 201701;159:15-18	Case report
468	Sakai M, Abiko K, Matsumura N	病理部	Two cases of Wolffian tumor with novel magnetic resonance imaging findings reflecting characteristic pathology.	The journal of obstetrics and gynaecology research 201604;42(8):1046-51	Original Article
469	Sakata A, Fushimi Y, Okada T et al.	病理部	Diagnostic performance between contrast enhancement, proton MR spectroscopy, and amide proton transfer imaging in patients with brain tumors.	Journal of magnetic resonance imaging : JMIR 201703;46(3):732-739	Original Article
470	Yamaguchi M, Kataoka TR, Shibayama T et al.	病理部	Loss of Hep Par 1 immunoreactivity in the livers of patients with carbamoyl phosphate synthetase 1 deficiency.	Pathology international 201606;66:333-336	Original Article

小計 10
合計 470

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Manou F, Kori I, Jyoh E et al.	糖尿病・内分泌・ 栄養内科	糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満症の日本欧ガイドラインにおける食事 推奨内容の比較	日本病態栄養学会誌 201604;19:99-109	Original Article
2	Ikezoe K, Hamda T, Tanizawa K et al.	呼吸器内科	間質性肺炎・肺線維症の疫学 特異性肺線維症患者における慢性腎臓病 と予後の関連	日本呼吸器学会誌 201604;5:145	Original Article
3	Muro S	呼吸器内科	【COPD update-最新の診断・治療動向-】 COPDの検査・診断 画像検査	日本臨床 201605;74:768-773	Original Article
4	Muro S	呼吸器内科	【呼吸器画像のCAD(computer-aided diagnosis)】 COPDのCAD	日本胸部臨床 201604;75:383-392	Original Article
5	Muro S	呼吸器内科	COPDの治療はLAMA/LABA配合剤を第一選択とすべきか 初期治療に おいてはLAMA単剤で治療開始が現状ではスタンダードと考えるが、重症 であれば配合剤も必要	日本医事新報 201605;4805:59-60	Original Article
6	Sokai A, Tanizawa K, Hamda T et al.	呼吸器内科	特異性肺線維症におけるKL-6の変化の臨床的意義	日本呼吸器学会誌 201604;5:200	Original Article
7	Sokai A, Hamda T, Oga T et al.	呼吸器内科	特異性肺線維症に特異的な健康状態質問票(SGRQ-I)の有用性の検討	日本呼吸器学会誌 201604;5:199	Original Article
8	Shinsuke N, Naomi Y, Ryuji U et al.	神経内科	Changes in swallowing dynamics associated with different food properties	嚥下医学 201604;5(2):206-213	Original Article
9	Nishikawa Y, Kanai M, Narahara M et al.	がん薬物治療 科	UGT1A1 遺伝子多型と肺癌のリスクに関する研究	医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2016 東京 プログラム・抄録集 201604:150	Original Article
10	izawa A	肝胆膵・移植 外科	【抗ドナー抗体】肝移植における抗ドナーHLA抗体の意義	移植 201612;51:445-451	Original Article
11	Egawa M, Konishi I	産科婦人科	【月経前症候群・月経前不快気分障害の最新知見】月経随伴症状記録シ ステムの開発 スマートフォンアプリを使用して	産科と婦人科 201612;83:1408-1413	Original Article
12	Egawa M, Konishi I	産科婦人科	【女性の痛み】月経痛	White 201609;4:129-135	Original Article
13	Horie A	産科婦人科	がん、再発がん(特集:婦人科腹腔鏡手術の適応と限界を考える)	産婦人科の実際 201604;65:45-50	Original Article
14	Kageyama M, Egawa M, Kiyokawa H et al.	産科婦人科	【今、なぜ漢方か?】女性の不定愁訴に対する漢方療法 効かせる漢方 ストレスによる愁訴改善の私流漢方的七分法の試み	産婦人科の実際 201607;65:833-837	Original Article
15	Kiyokawa H, Kageyama M, Nishimura F et al.	産科婦人科	LEP・DNGで残存する慢性下腹部痛・子宮内膜症に子宮静脈叢の怒張を 根拠に桂枝茯苓丸を併用し有効であった1症例	産婦人科漢方研究のあゆみ 201604:119- 122	Case report

16	Baba S	小児科	幹細胞からの心筋細胞分化, その機能解析と利用の展望	日本小児循環器学会雑誌 201604;32:397-408	Original Article
17	Baba S	小児科	心臓病の解説	京都府医師会 学校心臓検診事業 30周年 記念誌 201604:36-40	Original Article
18	Hayashi T, Baba S, Toyoda Net al.	小児科	重度門脈低形成にもかかわらずシャント血管結紮術により肝移植を回避可能であった先天性門脈体循環シャントの一例	小児科臨床 201604;69:1537-1542	Case report
19	Yasumi T	小児科	【血球の増加と減少】汎血球減少 血球貪食性リンパ組織球症	小児内科 201607;48:1054-1058	Original Article
20	Oonishi H, Skerleva Desislava, Kitajiri S et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	段階的分化誘導法を用いたヒトiPS細胞からの内耳有毛細胞様細胞の誘導	耳鼻咽喉科ニューロサイエンス 201605;30:40-43	Original Article
21	Yamahara K, Yamamoto N, Nakagawa T	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Netrin1受容体の蝸牛内における発現	耳鼻咽喉科ニューロサイエンス 201605;30:15-17	Original Article
22	Yamamoto N, Oomori K	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	【臨床神経生理で何がわかる?】[2]脳波・誘発電位・眼球運動】誘発電位 ABR(聴性脳幹反応)	Clinical Neuroscience 201607;34:797-800	Original Article
23	Arai R, Nakamura S, Kuriyama S	整形外科	Rotator cableに関する機能解剖学的研究	肩関節 201604;40:797-800	Original Article
24	Yanase M, Sugihara G, Morita T et al.	精神科神経科	Eating Disorders and Kleptomania in Wakayama Prison	臨床精神医学 201612;45:1577-1583	Original Article
25	Asai K, Tamura K, Yamazaki T et al.	歯科口腔外科	咀嚼能力とメタボリックシンドロームの関係について ながはま0次予防コ ホート事業	8020: はち・まる・にい・まる 201701:140- 141	Original Article
26	owaki T, ara K, Sakanaka K et al.	放射線治療科	【良性脳腫瘍】頭蓋咽頭腫に対する通常分割高精度放射線外部照射療 法の長期成績	脳神経外科ジャーナル 201608;25:646- 653	Original Article
27	Tokunaga K, Yamaoka T, Kubo T et al.	放射線診断科	【胸部の最新画像情報2016】成人にみられる肺血管奇形の画像診断	臨床放射線 201604;61:107-124	Original Article
28	Funaki T, Takahashi J, Miyamaoto S	脳神経外科	【State of the Art-難治例に対する手術-】出血発症もやもや病に対する外 科治療のエビデンスと最新の知見	脳神経外科ジャーナル 201701;26:4-11	Original Article
29	Funaki T, Takahashi J, Miyamaoto S	脳神経外科	【脳卒中治療-Consensus, Controversy, New Trials】Consensus 出血発 症もやもや病に対するバイパス治療	Clinical Neuroscience 201611;34:1218- 1221	Original Article
30	Funaki T, Takahashi J, Miyamaoto S	脳神経外科	JAM Trial 結果と今後の展望	脳卒中の外科 201607;44:272-275	Original Article

31	Chin T, Date H	呼吸器外科	肺移植におけるドナー特異的抗体と抗体関連型拒絶	移植 201604;51:101-105	Original Article
32	Kuroda T, Saito H, Kato G et al.	医療情報企画部	医療情報学における個人情報保護法改正の影響(特集:個人情報保護法の改正とデータサイエンスの新潮流)	オペレーションズ・リサーチ 5月号 201605;61:295-299	Original Article
33	Kuroda T, Okamoto K, Sudo M et al.	医療情報企画部	カンファレンス支援システムの構築	第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集 201611:310-313	Original Article
34	Tamura H	医療情報企画部	医療情報の管理と医療マネジメント	季刊 ビジネス・インサイト 201701;24:12-17	Original Article
35	Tamura H, Goto I, Yamada M et al.	医療情報企画部	成人を対象とした加齢黄斑変性検診プログラムの臨床疫学, 医療経済学的評価	日本の眼科(「成人を対象とした眼検診」研究班業績集(2013~2015)) 201701;88:23-32	Original Article
36	Kaido T, Moto S	臓器移植医療部	肝移植ドナーの肝切除	手術 201604;70:455-462	Original Article
37	Kaido T, Hamaguchi Y, Okumura S et al.	臓器移植医療部	肝癌におけるサルコペニアの意義	肝臓クリニカルアップデート 201605;2:65-69	Original Article
38	Kaido T, Tamai Y, Uemoto S	臓器移植医療部	高齢者ならびに術後のサルコペニアと亜鉛栄養療法	日本臨床 201607;74:1220-1227	Original Article
39	Nakagawa T	薬剤部	「しびれ」が発生する分子機構を解明!	化学 201604;5:73-73	Original Article
40	Nakagawa T	薬剤部	末梢神経障害および末梢血流障害によるしびれとTRPA1	生化学 201604;88:237-239	Original Article
41	Nakagawa T	薬剤部	薬剤師による臨床研究と薬学部での基礎研究の融合を目指して	薬剤学—生命とくすり— 201604;76:214-216	Original Article
42	Shigetura Y, Koike M, Sugano Y et al.	薬剤部	薬剤師の介入による向精神薬適正使用と転倒・転落事故数への影響	医療薬学 201604;42:174-184	Original Article
43	Fujiwara H, Tsurumi K, Takahashi H	総合臨床教育・研修センター	The Internet Addiction : Its mechanism and negative consequences in health : A review of neuroimaging studies	精神医学 = Clinical psychiatry 201701;59:23-30	Original Article
44	Katou G	診療報酬センター	NDBオープンデータを読む際の注意点—いくつかの具体例とともに	社会保険旬報 201701:10-15	Original Article
45	Katou G	診療報酬センター	研究者向けに提供されているレセプトデータの使い方② 救急疾患への活用を見据えて	救急医学 201607;40:829-841	Original Article

46	Yokode M	臨床研究総合センター	Pharmacotherapeutic Treatment of Elderly Cancer Patients	癌と化学療法 201604;43:935-939	Original Article
47	Tanimukai H, Yamaguchi T	臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座	低活動型せん妄への対応	緩和ケア 201604;26:131-134	Original Article
48	Nishio M	先制医療・生活習慣病研究センター	COPD・非COPD患者のCT画像における低濃度域の評価:ホモロジー法、LAA%、Dの3手法の対比	臨床放射線 201701;62:179-186	Original Article
49	Yakami M, Isoda H, Yamamoto K et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	RISでの検査指示方法の工夫	日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 201608;52nd:S535-S536	Original Article
50	Yabe D, Kuwata H, Seino Y	先端糖尿病学講座	4. 食後血糖と栄養素摂取の順番	糖尿病 201604;59:30-32	Original Article
51	Yabe D, Kuwata H, Seino Y	先端糖尿病学講座	SGLT2阻害薬:副作用の観点から	糖尿病合併症学会 201604;30:168-171	Original Article
52	Yabe D, Seino Y	先端糖尿病学講座	日本糖尿病協会の糖尿病教育・支援ツールを活かす～質の高い療養指導の均てん化に向けて～	糖尿病合併症学会 201701;31:50-55	Original Article
53	Tsurumi K	デイ・ケア診療部	Neural basis of behavioral addiction	臨床精神医学 201612;45:1513-1519	Original Article
54	Tsurumi K	デイ・ケア診療部	ギャンブル障害をどう捉えるか 病態メカニズムについての考察 ギャンブル障害の脳画像研究	精神神経学雑誌 201606:S593-S593	Original Article

小計 9
合計 54

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容：現行各手順書のタイトルは下記の通りである。 ・ 「会議録の作成」、「手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表と報告」、「臨床研究に関する教育研修」、「医の倫理委員会委員への教育研修」、「臨床研究の自己点検及び評価」、「臨床研究の年次報告及び終了報告」、「臨床研究に関する遵守事項」、「臨床研究に関する試料等の保存及び他の機関等の試料等の利用」、「変更・追加申請に関する審査手続きと迅速審査に関する手順」、「多施設共同研究についての事務手続きおよび審査の方針」	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反に係る審議体制、手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年9回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容：平成28年度「臨床研究等倫理講習会」の演題は下記の通りである。 「新統合倫理指針と京都大学における審査体制と方針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（概説）」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（概説）」、「臨床研究の実施にあたって-被験者保護の観点から」、「モニタリングと監査 『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』で求められるもの」、「利益相反マネジメント」、「リサーチインテグリティ」、「ゲノム倫理指針」「自己理解度チェック」	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	221.71 人
-------------	----------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
北脇 年雄	血液・腫瘍内科	助教	21年	
尾野 亘	循環器内科	准教授	26年	
高橋 健	消化器内科	特定病院助教	19年	
平井 豊博	呼吸器内科	准教授	16年	
大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	准教授	28年	
横井 秀基	腎臓内科	講師	22年	
小倉 雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	特定助教	16年	
高橋 良輔	神経内科	教授	18年	
肥田 侯矢	消化管外科	助教	20年	
鈴木 栄治	乳腺外科	助教	13年	
上本 伸二	肝胆膵・移植外科	教授	36年	
上本 伸二	小児外科	教授	36年	
後藤 公志	整形外科	特定講師	22年	
宮本 享	脳神経外科	教授	35年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	30年	
齊藤 晋	形成外科	講師	18年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	32年	
赤木 忠道	眼科	講師	19年	
近藤 英治	産科婦人科	講師	19年	
平家 俊男	小児科	教授	38年	
椛島 健治	皮膚科	教授	21年	
井上 貴博	泌尿器科	講師	23年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	32年	
梁瀬 まや	精神科神経科	特定病院助教	11年	
川本 修司	麻酔科	助教	12年	

吉村 通央	放射線治療科	助教	19年
山本 憲	放射線診断科	助教	23年
松村 康史	検査部・感染制御部	助教	14年
羽賀 博典	病理診断科	教授	25年
大鶴 繁	救急科	准教授	19年
松本 繁巳	がん薬物治療科	准教授	27年
別所 和久	歯科口腔外科	教授	33年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

1.

- ・研修の主な内容： 薬剤師を対象に、薬剤業務に関する高度な知識・技能を修得するために薬剤師レジデントプログラムとして卒後の実務研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 6か月～1年、1回
- ・研修の参加人数： 7人

2.

- ・研修の主な内容： 看護師を対象に、「看護部 静脈注射・輸液管理認定プログラム」として、「薬剤」「安全管理」「感染管理」「CVにポート」「PICCの管理」についての講義を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 40～90分、1回 (DVD講義を含む)
- ・研修の参加人数： 960人

3.

- ・研修の主な内容： 看護職員を対象に、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師研修、レベルアップ研修などを行った。
- ・研修の期間・実施回数： 726時間・282回
- ・研修の参加人数： 12,213人

4.

- ・研修の主な内容： 検査部・病理部・輸血細胞治療部職員を対象に研修を実施した。
①輸血当直研修会 アンケート調査、インシデント内容を中心に②輸血検査機器 (オーソビジョン) の使用方法③血液ガス分析装置更新に伴う技術トレーニング (緊急検査室) ④自動血球計数測定器変更、Cobas411 検査項目追加に伴うトレーニング (緊急検査室)
- ・研修の期間・実施回数： ①2016/6/23、45分1回、②2016/12/1～16、30分5回
③2016/11/21～25 5回、④2017/3/24～31 6回
- ・研修の参加人数： ①27人、②23人、③30人、④30人

5.

- ・研修の主な内容： 検査部職員を対象に、新人研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 2016年4月4日～4月15日、1回
- ・研修の参加人数： 3人

6.

- ・研修の主な内容： 放射線部診療放射線技師を対象に研修を実施した。
 - ① 「医療安全を考える！＝仕事で一番大切なこと＝」、「RISとうまく付き合うために-RIS注意事項-」、「計測における不確かさについて」、「神経内分泌腫瘍診断薬オクトレオスキャンの使用経験」、「考えるCT」（30分5回）
 - ② 人事交流報告会（1）；国立がん研究センターの放射線診療、人事交流報告会（2）；倉敷中央病院の放射線診療（60分2回）
 - ③ PET分子イメージングから標的アイソトープ治療へ、放射性医薬品の品質管理（60分1回）
 - ④ 京大病院における治験の動向と放射線部の関わり（60分1回）
 - ⑤ これからのがん個別化医療（60分1回）
 - ⑥ クリニカルコーチ研修会（120分1回）
- ・研修の期間・実施回数： ①2016/4/28、5/12、6/14、5/26、6/9 ②2016/6/14、2017/2/20
③2016/9/5 ④2016/8/22 ⑤2017/1/25 ⑥2017/2/13
- ・研修の参加人数： ①22人、25人、22人、22人、24人 ②26人、26人
③35人 ④25人 ⑤33人 ⑥24人

7.

- ・研修の主な内容： 看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器の安全な使用方法を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 30分～1時間、計27回
- ・研修の参加人数： 976人

8.

- ・研修の主な内容： 医師、管理栄養士、看護師他医療従事者を対象に、栄養療法についての高度な知識・技術を修得するために「NST特別研修会」として講義研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 1回（2017年1月27日）
- ・研修への参加人数： 合計116人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

1.

- ・研修の主な内容： 医師・看護師・薬剤師を対象に、がん化学療法におけるチーム医療の体制整備、薬物療法に関する最新の知識・技術について「がんチーム医療研修」として講義、研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 2日間、5回（2016年11月～2017年2月）
- ・研修の参加人数： 57人（19チーム）

2.

- ・研修の主な内容： 看護職員を対象に、管理者研修、実習指導者研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 30時間、7回
- ・研修の参加人数： 178人

3.

- ・研修の主な内容： 検査部・病理部・輸血細胞治療部、薬剤部 TDM 室職員を対象に、ISO 集合教育研修を実施した。
①「感染性廃棄物について」、
②「晩ごはんはカレー（日常の ISO）」、
③「問題行動患者への対応～本院事例から学ぶ～」
④「第2回サーベイランスにおける指摘事項に関する集合教育」
⑤「当院における災害対策について」の研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： ①2016/5/23、②2016/6/8、③2016/7/11～15、
④2016/10/17～31、⑤2017/2/23
LIVE1回、DVD研修5回（①、②、⑤）、DVD研修（③、④）
- ・研修の参加人数： ①122名、②122名、③122名、④121名、⑤121名

4.

- ・研修の主な内容： 放射線部診療放射線技師（新規採用）を対象に研修会を開催した。
① 総務管理、医療安全管理、感染対策管理、情報管理、学術法規・災害管理、治験・臨床研究管理、教育人材育成管理、診療グループ業務について。
② 東大・京大・国がんセンター放射線先端技術学術交流会；造影剤情報管理の取り組み、CTでの逐次近似再構成使用における臨床画像決定方法、Clinical Application of F-18 FDG PET-MRI
③ 京大・府立医大・滋賀医大学術交流会；MR safety の取り組み
- ・研修の期間・実施回数： ① 2016/4/1、10/3 ②2016/9/28 ③2016/11/11
- ・研修の参加人数： ① 5人、2人 計7人 ② 40人 ③ 15人

5.

- ・研修の主な内容： 疾患栄養治療部職員（他の医療職種も参加可能）を対象に、栄養管理業務実務研修を実施した。
- ・研修の期間・実施回数： 計12回
- ・研修の参加人数： 180人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 稲垣 暢也
管理担当者氏名	薬剤部長 松原 和夫 総務課長 小川 優 医務課長 前島 耕志 医療安全管理室長 松村 由美 医療サービス課長 中村 正次 医療情報企画部長 黒田 知宏 感染制御部長 一山 智 医療器材部長 坂井 義治

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	医療情報企画部・医務課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医療情報企画部・医務課	
		看護記録	医療情報企画部・医務課	
		検査所見記録	医療情報企画部・医務課	
		エックス線写真	医療情報企画部・医務課	
		紹介状	医療情報企画部・医務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・医療サービス課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室・医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
	第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部・医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部・医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部・医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療サービス課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 田中 宏和		
閲覧担当者氏名	総務課長 小川 優		
閲覧の求めに応じる場所	総務課内		
閲覧の手続の概要			
1. 閲覧申込	総務課		
2. 承認者	事務部長		
3. 閲覧方法	指定した日時総務課内		
4. 返却方法	当日総務課へ返却		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無																																
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 組織と体制 3. 医療事故収集とサーベイランス 4. 重大事故発生時の報告体制 5. 安全管理に係る研修の実施 6. マニュアル・対応指針等の作成 7. 診療情報等の共有と開示 8. 患者及び家族からの相談等への対応 																																	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況																																	
<p>・ 設置の有無 (①・無)</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。 2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。 3. 2.の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。 4. 3.の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。 6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。 7. その他医療安全管理に関すること。 																																	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年26回																																
<p>・ 研修の主な内容：</p>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年5月10日</td> <td>今さら聞けない、薬剤の安全管理</td> <td>医療安全管理室 薬剤師 助教 山本 崇</td> <td>299名</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月23日</td> <td>医療安全の考え方と活動内容</td> <td>医療安全管理室 室長 松村 由美</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月27日</td> <td>チームで取り組む医療安全・感染対策 ～Team STEPPSを活用して～</td> <td>東京慈恵会医科大学 感染対策室 副室長・美島 路恵</td> <td>501名</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月20日</td> <td>患者安全のための有能なチームとは：肝移植チーム医療を例に考察する</td> <td>医療安全管理室 室長 松村 由美</td> <td>202名</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月30日</td> <td>当院における褥瘡対策の現状と医療関連機器圧迫創の対策</td> <td>看護部管理室 褥瘡対策専任看護師長 三富 陽子</td> <td>58名</td> </tr> <tr> <td>平成28年7月7日</td> <td>いまさら聞けない、せん妄対策 ～その薬剤の使い方は正しいですか？～</td> <td>緩和医療科 准教授 谷向 仁</td> <td>278名</td> </tr> <tr> <td>平成28年7月27日</td> <td>インシデント報告から学ぶ京大病院の転倒転落事故防止対策</td> <td>医療安全管理室 副看護師長 福村 宏美</td> <td>246名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修内容	講師	参加人数	平成28年5月10日	今さら聞けない、薬剤の安全管理	医療安全管理室 薬剤師 助教 山本 崇	299名	平成28年5月23日	医療安全の考え方と活動内容	医療安全管理室 室長 松村 由美	37名	平成28年5月27日	チームで取り組む医療安全・感染対策 ～Team STEPPSを活用して～	東京慈恵会医科大学 感染対策室 副室長・美島 路恵	501名	平成28年6月20日	患者安全のための有能なチームとは：肝移植チーム医療を例に考察する	医療安全管理室 室長 松村 由美	202名	平成28年6月30日	当院における褥瘡対策の現状と医療関連機器圧迫創の対策	看護部管理室 褥瘡対策専任看護師長 三富 陽子	58名	平成28年7月7日	いまさら聞けない、せん妄対策 ～その薬剤の使い方は正しいですか？～	緩和医療科 准教授 谷向 仁	278名	平成28年7月27日	インシデント報告から学ぶ京大病院の転倒転落事故防止対策	医療安全管理室 副看護師長 福村 宏美	246名	
開催日	研修内容	講師	参加人数																														
平成28年5月10日	今さら聞けない、薬剤の安全管理	医療安全管理室 薬剤師 助教 山本 崇	299名																														
平成28年5月23日	医療安全の考え方と活動内容	医療安全管理室 室長 松村 由美	37名																														
平成28年5月27日	チームで取り組む医療安全・感染対策 ～Team STEPPSを活用して～	東京慈恵会医科大学 感染対策室 副室長・美島 路恵	501名																														
平成28年6月20日	患者安全のための有能なチームとは：肝移植チーム医療を例に考察する	医療安全管理室 室長 松村 由美	202名																														
平成28年6月30日	当院における褥瘡対策の現状と医療関連機器圧迫創の対策	看護部管理室 褥瘡対策専任看護師長 三富 陽子	58名																														
平成28年7月7日	いまさら聞けない、せん妄対策 ～その薬剤の使い方は正しいですか？～	緩和医療科 准教授 谷向 仁	278名																														
平成28年7月27日	インシデント報告から学ぶ京大病院の転倒転落事故防止対策	医療安全管理室 副看護師長 福村 宏美	246名																														

平成28年8月2日	全てのスタッフが知っておくべき患者安全の基本 全てのスタッフが知っておくべき院内感染対策の基本	副病院長 一山 智 医療安全管理室 室長 松村 由美 感染制御部 副部長 高倉 俊二	396名
平成28年9月9日	世界自殺予防デー (9/10) 啓発講演：多職種で取り組むこころのケア	臨床心理室 平井 久世	153名
平成28年10月5日	急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～ CHDF(ACH-Σ)装置の使用方法について	腎臓内科 特定病院助教 坂井 薫 医療器材部 臨床工学技士 安馬雅範	127名
平成28年10月6日	B型肝炎再活性化	消化器内科 講師 上田 佳秀 感染制御部 准教授 高倉 俊二 薬剤部 薬剤師 森田 洋亮	212名
平成28年10月20日	謝罪 ～医療事故被害者の望み～	東海大学医学部付属医療事故被害者 家族/医療事故市民オンブズマン・メ ディオ副議長/すがまた接骨院 院長 菅保 弘道	265名
平成28年11月16日	個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	556名
平成28年12月5日	(DVD上映会) 個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	93名
平成28年12月6日	(DVD上映会) 個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	81名
平成28年12月12日	個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	101名
平成28年12月13日	(DVD上映会) 個人情報に気を配っていますか？	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	60名
平成28年12月15日	高齢者糖尿病の血糖コントロール目標について：重症低血糖リスクを考慮した血糖管理の戦略	糖尿病・内分泌・栄養内科 特定助教 小倉 雅仁	70名
平成28年12月21日	急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～ CHDF(ACH-Σ)装置の使用方法について	腎臓内科 特定病院助教 坂井 薫 医療器材部 臨床工学技士 安馬雅範	36名
平成29年1月6日	今さら聞けない、輸血のABC	輸血細胞治療部 教授 前川 平	50名
平成29年1月18日	診療録記載における注意点 ～根拠法・医療安全・診療報酬請求の観点より～	医療情報企画部 准教授、 病歴管理室 副室長 田村 寛	91名
平成29年1月20日	薬剤性腎障害の実態と対策	腎臓内科 助教 石井 輝	53名
平成29年1月27日	京大病院NST特別講演会 「誤嚥性肺炎の栄養管理～誤嚥と窒息の怖いお話～」 「フレイルと誤嚥性肺炎-明日からできる予防と治療-」	八尾徳洲会総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 平畑 典子 和光駅前クリニック 寺本 信嗣	101名
平成29年1月30日	脳卒中救急のインシデント～事例から学ぶベストな診療と対応～	脳神経外科 助教 武信洋平 救急部 助教 柚木知之 神経内科 助教 眞木崇州	109名
平成29年3月15日	患者さんに何をどう説明するか 「よくわかった!」と言っていただくためのあれこれ	臨床研究総合センター 特任准教授 佐藤 恵子	38名
平成29年3月21日	無益な治療の差し控えと中止について (通訳あり)	ワシントン大学医学部 医療倫理教室 教授 Nancy S. Jecker	34名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
 2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・ 医療安全管理委員会の定期開催
 - ・ リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・ 多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・ 各種WGの臨時開催
 - ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
 3. 職員への安全教育
 - ・ 講演会・講習会・DVD上映会・院内事例報告会
 - ・ 医療安全ニュースの配信

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無																																																
・ 指針の主な内容： ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 関連委員会及び会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 教育、サーベイランス等 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 ・ 患者等に対する指針の閲覧に関する方針																																																	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 5 9 回																																																
・ 活動の主な内容： ・ 院内感染対策委員会 1回/月 ・ 感染制御部会議 1回/月 ・ 感染制御部（ICT）会議 2回/月 ・ 感染対策業務会議 2回/年 ・ 感染リンクナース会議 9回/年																																																	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 1 回																																																
・ 研修の主な内容：																																																	
<table border="1"><thead><tr><th>開催日</th><th>研修内容</th><th>講師</th><th>参加数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成 28 年 4 月 21 日</td><td>手荒れ対策</td><td>看護部管理室 師長 三富 陽子</td><td>283 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 4 月 26 日</td><td>その手袋・マスク 誰から何をを守るため？</td><td>感染制御部 准教授 高倉 俊二</td><td>382 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 9 日</td><td>院内における感染対策の基本</td><td>感染制御部 副看護師長 橋本 明子</td><td>30 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 13 日</td><td>HIV 感染症について</td><td>血液腫瘍内科 助教 小林 正行</td><td>248 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 16 日</td><td>抗菌薬適正使用</td><td>感染制御部 助教 山本 正樹</td><td>261 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 27 日</td><td>標準予防策～MRSA の伝播を防止するために～</td><td>東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵</td><td>30 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 27 日</td><td>チームで取り組む医療安全・感染対策～ Team STEPPS を活用して～</td><td>東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵</td><td>501 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 6 月 17 日</td><td>感染性廃棄物</td><td>感染制御部 准教授 高倉 俊二</td><td>206 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 6 月 23 日</td><td>アウトブレイク事例から学ぶ</td><td>感染制御部 准教授 高倉 俊二</td><td>197 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 6 月 28 日</td><td>院内感染対策の基本</td><td>感染制御部 准教授 高倉 俊二</td><td>38 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 7 月 12 日</td><td>ジカ熱について</td><td>感染制御部 講師 長尾 美紀</td><td>190 名</td></tr></tbody></table>	開催日	研修内容	講師	参加数	平成 28 年 4 月 21 日	手荒れ対策	看護部管理室 師長 三富 陽子	283 名	平成 28 年 4 月 26 日	その手袋・マスク 誰から何をを守るため？	感染制御部 准教授 高倉 俊二	382 名	平成 28 年 5 月 9 日	院内における感染対策の基本	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	30 名	平成 28 年 5 月 13 日	HIV 感染症について	血液腫瘍内科 助教 小林 正行	248 名	平成 28 年 5 月 16 日	抗菌薬適正使用	感染制御部 助教 山本 正樹	261 名	平成 28 年 5 月 27 日	標準予防策～MRSA の伝播を防止するために～	東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵	30 名	平成 28 年 5 月 27 日	チームで取り組む医療安全・感染対策～ Team STEPPS を活用して～	東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵	501 名	平成 28 年 6 月 17 日	感染性廃棄物	感染制御部 准教授 高倉 俊二	206 名	平成 28 年 6 月 23 日	アウトブレイク事例から学ぶ	感染制御部 准教授 高倉 俊二	197 名	平成 28 年 6 月 28 日	院内感染対策の基本	感染制御部 准教授 高倉 俊二	38 名	平成 28 年 7 月 12 日	ジカ熱について	感染制御部 講師 長尾 美紀	190 名	
開催日	研修内容	講師	参加数																																														
平成 28 年 4 月 21 日	手荒れ対策	看護部管理室 師長 三富 陽子	283 名																																														
平成 28 年 4 月 26 日	その手袋・マスク 誰から何をを守るため？	感染制御部 准教授 高倉 俊二	382 名																																														
平成 28 年 5 月 9 日	院内における感染対策の基本	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	30 名																																														
平成 28 年 5 月 13 日	HIV 感染症について	血液腫瘍内科 助教 小林 正行	248 名																																														
平成 28 年 5 月 16 日	抗菌薬適正使用	感染制御部 助教 山本 正樹	261 名																																														
平成 28 年 5 月 27 日	標準予防策～MRSA の伝播を防止するために～	東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵	30 名																																														
平成 28 年 5 月 27 日	チームで取り組む医療安全・感染対策～ Team STEPPS を活用して～	東京慈恵会医科大学 感染対 策室 副室長 美島 路恵	501 名																																														
平成 28 年 6 月 17 日	感染性廃棄物	感染制御部 准教授 高倉 俊二	206 名																																														
平成 28 年 6 月 23 日	アウトブレイク事例から学ぶ	感染制御部 准教授 高倉 俊二	197 名																																														
平成 28 年 6 月 28 日	院内感染対策の基本	感染制御部 准教授 高倉 俊二	38 名																																														
平成 28 年 7 月 12 日	ジカ熱について	感染制御部 講師 長尾 美紀	190 名																																														

平成 28 年 7 月 26 日	検体採取と保管	検査部 副臨床検査技師長 樋口 武史 検査部 臨床検査技師 濱野 京子 感染制御部 副看護師長 橋本 明子	140 名
平成 28 年 8 月 2 日	全てのスタッフが知っておくべき患者安全の基本 全てのスタッフが知っておくべき院内感染対策の基本	副病院長 一山 智 医療安全管理室 室長 松村 由美 感染制御部 副部長 高倉 俊二	396 名
平成 28 年 8 月 29 日	5S の勧め	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	119 名
平成 28 年 9 月 27 日	手指衛生	感染制御部 講師 長尾 美紀	101 名
平成 28 年 9 月 30 日	消毒薬の効果と使い分け	薬剤部 薬剤師 杉本 充弘	111 名
平成 28 年 10 月 6 日	B 型肝炎再活性化	消化器内科 講師 上田 佳秀 感染制御部 准教授 高倉 俊二 薬剤部 薬剤師 森田 洋亮	212 名
平成 28 年 10 月 11 日	尿路感染症	感染制御部 助教 山本 正樹	73 名
平成 28 年 10 月 17 日	2013 年度～2015 年度 針刺し・切創/粘膜曝露の報告と曝露防止対策	感染制御部 副看護師長 橋本 明子	87 名
平成 28 年 11 月 30 日	インフルエンザと感染性胃腸炎の対策	感染制御部 講師 長尾 美紀	146 名
平成 28 年 12 月 9 日	意外と身近な結核への対策	呼吸器内科 助教 伊藤 功朗	67 名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 () ・ 無)
 - ・ その他の改善のための方策の主な内容：
1. 感染対策サーベイランスの実施
 - ・ 薬剤耐性菌サーベイランス
 - ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・ 手術部位感染サーベイランス
 - ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
 - ・ 上気道症状サーベイランス
 - ・ 手指衛生サーベイランス
 2. 職業感染防止と曝露後の対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ 抗体価の確認とワクチン接種
 - ・ 曝露後の対応 (血液体液曝露、結核、麻疹、水痘等)

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 4 回																										
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。</p> <p>全職種を対象</p> <p>◆ (医薬品安全使用のための研修会)</p> <p>日時：平成 28 年 5 月 10 日 (火) 17:30～18:00 参加人数： 613 名 (当日受講： 299 名、 DVD 受講： 314 名)</p> <p>演題：『今さら聞けない、薬剤の安全管理』 講師：薬剤師 山本 崇</p> <p>日時：平成 28 年 9 月 30 日 (金) 17:30～18:00 参加人数： 215 名 (当日受講： 111 名、 DVD 受講： 104 名)</p> <p>演題：『消毒薬の効果と使い分け』 講師：薬剤師 杉本 充弘</p> <p>薬剤師を対象</p> <p>◆ (医薬品安全使用のための説明会)</p> <p>新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置づけ及び添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い等についての説明と情報の共有化を図っている。</p> <table><thead><tr><th>開催年月日</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成 28 年 4 月 13 日 (水)</td><td>60 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 5 月 18 日 (水)</td><td>62 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 6 月 14 日 (火)</td><td>61 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 7 月 13 日 (水)</td><td>52 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 8 月 10 日 (水)</td><td>54 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 9 月 12 日 (月)</td><td>52 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 10 月 12 日 (水)</td><td>55 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 11 月 9 日 (水)</td><td>47 名</td></tr><tr><td>平成 28 年 12 月 14 日 (水)</td><td>50 名</td></tr><tr><td>平成 29 年 1 月 11 日 (水)</td><td>54 名</td></tr><tr><td>平成 29 年 2 月 9 日 (木)</td><td>45 名</td></tr><tr><td>平成 29 年 3 月 8 日 (水)</td><td>52 名</td></tr></tbody></table>		開催年月日	参加人数	平成 28 年 4 月 13 日 (水)	60 名	平成 28 年 5 月 18 日 (水)	62 名	平成 28 年 6 月 14 日 (火)	61 名	平成 28 年 7 月 13 日 (水)	52 名	平成 28 年 8 月 10 日 (水)	54 名	平成 28 年 9 月 12 日 (月)	52 名	平成 28 年 10 月 12 日 (水)	55 名	平成 28 年 11 月 9 日 (水)	47 名	平成 28 年 12 月 14 日 (水)	50 名	平成 29 年 1 月 11 日 (水)	54 名	平成 29 年 2 月 9 日 (木)	45 名	平成 29 年 3 月 8 日 (水)	52 名
開催年月日	参加人数																										
平成 28 年 4 月 13 日 (水)	60 名																										
平成 28 年 5 月 18 日 (水)	62 名																										
平成 28 年 6 月 14 日 (火)	61 名																										
平成 28 年 7 月 13 日 (水)	52 名																										
平成 28 年 8 月 10 日 (水)	54 名																										
平成 28 年 9 月 12 日 (月)	52 名																										
平成 28 年 10 月 12 日 (水)	55 名																										
平成 28 年 11 月 9 日 (水)	47 名																										
平成 28 年 12 月 14 日 (水)	50 名																										
平成 29 年 1 月 11 日 (水)	54 名																										
平成 29 年 2 月 9 日 (木)	45 名																										
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	52 名																										

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (有 ・ 無)
- ・ 業務の主な内容 :

1. 医薬品の採用に関すること
2. 医薬品の購入に関すること
3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること
4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること
5. 外来患者への医薬品使用に関すること
6. 病棟・外来・中央診療施設における医薬品の管理に関すること
7. 入院患者への医薬品使用に関すること
8. 医薬品の適正使用に関すること
9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること
10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること

以上の業務内容について、平成29年1月～2月に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。各病棟における調査者は病棟担当薬剤師と安全管理担当副薬剤部長、外来棟・中央診療施設棟等の調査者は薬品管理担当リーダーと安全管理担当副薬剤部長、薬剤部内の調査者は各部署リーダーとした。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- 1) 医師からの採用依頼があった新規医薬品に関して、採用開始6ヶ月及び1年後に、採用を申し出た医師に対して「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収することにより、院内で発生した副作用情報を収集している。
- 2) 医療安全管理担当として副薬剤部長1名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で警鐘事例を共有している。薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- 3) 処方・注射オーダリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。アナウンスメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。
- 5) オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑問がある場合は医師に照会している。
- 6) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 7) 病棟薬剤師が電子カルテ上で指示受けや処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを確認し、該当する場合は医師に疑義照会している。収集した情報はデータベースに入力している。

- 8) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 9) 地域保険薬局との連携の一環として、患者の検査値の一部を院外処方せんに記載している。保険薬局で処方監査時に検査値を参照することで、適正で安全な薬物療法推進につながる。
- 10) 保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容を服薬情報提供書(トレーシングレポート)で受け付けている。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報提供を行い、情報の共有化を図っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年34回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。<ul style="list-style-type: none">・平成28年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用方法について研修を実施した。・平成28年度中に計27回医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を実施した。・診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関して以下の研修を実施した。<ol style="list-style-type: none">1)平成28年6月30日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。2)平成28年6月30日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。3)平成28年12月20日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。4)平成28年12月20日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。2. 新規・更新装置導入時の研修として、以下の研修を実施した。<ol style="list-style-type: none">1)第2X線CT装置(東芝Aquilion One ViSION)導入時研修;臨床用(2016/4/1,4 31名)2)第1治療計画室新規導入CTシミュレータ(シーメンス SOMATOM Definition AS)及び造影剤注入装置(スマートショット α)導入時研修;臨床用(2016/3/27 21名)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る計画の策定 (有)・無)・ 保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. ME関連機器について<ul style="list-style-type: none">・各医療機器の点検周期に沿って、臨床工学技士による点検とメーカーによる点検を実施している。→臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。→高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。2. 放射線関連機器について<ul style="list-style-type: none">・放射線機器については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。→機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。→日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. ME 関連機器について

- ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
- ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一貫性を推し進めている。
- ・ 臨床工学技士が随時医療機器の安全な使用状況確認のための巡回を行っている。

2. 放射線関連機器について

- ・ 一般撮影部門、血管造影部門、CT・透視部門、MR部門、RI検査部門、放射線治療部門における多職種（医師、看護師、技師）での品質管理（QA）委員会を、月例開催または2～3ヶ月に1回開催している。
- ・ 一般撮影＋血管造影グループ、CT・透視＋MRグループ、RI＋放射線治療グループにおける診療放射線技師の定例会議（月例）を開催している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無								
<p>・責任者の資格 (医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>常勤医師の副病院長 (医療安全担当) を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会 (委員長: 医薬品安全管理責任者)、医療機器安全管理小委員会 (委員長: 医療機器安全管理責任者) を統括している体制となっている。</p>									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3名) ・無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>1) 病棟薬剤師が電子カルテ上で指示受けや処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを確認し、該当する場合は医師に疑義照会している。収集した情報はデータベースに入力している。</p> <p>2) オーダリングシステムによる警告 (相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌等を含む) を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑問がある場合は医師に照会している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種:</p> <table data-bbox="159 1612 1276 1769"><tr><td>(所属: 薬剤部 , 職種 薬剤師)</td><td>(所属: , 職種)</td></tr><tr><td>(所属: , 職種)</td><td>(所属: , 職種)</td></tr><tr><td>(所属: , 職種)</td><td>(所属: , 職種)</td></tr><tr><td>(所属: , 職種)</td><td>(所属: , 職種)</td></tr></table>		(所属: 薬剤部 , 職種 薬剤師)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)	(所属: , 職種)
(所属: 薬剤部 , 職種 薬剤師)	(所属: , 職種)								
(所属: , 職種)	(所属: , 職種)								
(所属: , 職種)	(所属: , 職種)								
(所属: , 職種)	(所属: , 職種)								

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (④・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 規程により設置が許可されているワーキンググループによって、「インフォームド・コンセント実施状況の確認手順」が定められ、これに従い、3カ月に1度、遵守状況の確認を行っている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	④・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 責任者の監督下において診療情報管理士による診療録監査を年2回16診療科に実施しており、監査結果は病院長承認後に各診療科へフィードバックを行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	④・無
<p>・所属職員：専従(3)名、専任()名、兼任(5)名 うち医師：専従(1)名、専任()名、兼任(3)名 うち薬剤師：専従(1)名、専任()名、兼任()名 うち看護師：専従(1)名、専任()名、兼任(2)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント・アクシデント報告に関すること。 ・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。 ・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。 ・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング <p>①抗がん剤の調製確定後の変更件数(月別、診療科別) (ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日10時までに医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する)</p> <p>②血液ガス分析装置で医師が検体を分析した際の電子カルテへの結果転送率(月別、分析装置設置場所別) (ルール：検査オーダーを行い、ラベルを発行して、機器に読み取らせてから、分析すると結果は、当該患者の電子カルテに転送される。オーダーをせずに、直接検体を測定しても、結果は表示されるが、「未登録患者」となり、電子カルテに転送されず、機械本体に結果が残ったままになる)</p> <p>③画像診断の診断結果を「カルテ登録」した件数(月別、診療科別) (ルール：放射線診断科医が読影結果を報告しているが、それをオーダー診療科の医師が読んだならば、「カルテ登録」することをルールとする。カルテに放射線診断科の診断結果が転記される。これがないと、読影していない可能性も考慮される。結果見落としエラー対策として新規に作成したルールである。未読影率をフィードバックする予定)</p>	

④注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別）

（ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、ひとによる確認＋器械による確認を組み合わせる）

⑤バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別）

（ルール：血圧、体温、SpO₂、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末に かざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今までは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された）

・ ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。

①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）

（全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する）

②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例

（医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく）

・ リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング

①院内褥瘡発生率

②転倒転落事故発生

・ 保有リスクの実態調査のためのモニタリング

①造影剤アレルギー発生件数

・ その他医療安全管理対策に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・ 活動の主な内容：

○高難度新規医療技術を用いた医療についての実施申請の受付

○高難度新規医療技術を用いた医療についての実施申請について、医の倫理委員会で審議すべきか高難度新規医療技術評価委員会で審議すべきかを振り分ける。

○高難度新規医療技術評価委員会の審議結果を踏まえて、高難度新規医療技術を用いた医療の申請についての適否を決定し、申請者に通知する。

○高難度新規医療技術を用いた医療の実施状況についての確認。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (・無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (・無)
- ・活動の主な内容：
 - 未承認新規医薬品等を用いた医療についての実施申請の受付
 - 未承認新規医薬品等を用いた医療についての実施申請について、医の倫理委員会で審議すべきか未承認新規医薬品等評価委員会で審議すべきかを振り分ける。
 - 未承認新規医薬品等評価委員会の審議結果を踏まえて、未承認新規医薬品等を用いた医療の申請についての適否を決定し、申請者に通知する。
 - 未承認新規医薬品等を用いた医療の実施状況についての確認。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・無)

⑨ 監査委員会の設置状況

・無

- ・監査委員会の開催状況：年 0 回
- ・活動の主な内容：
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 ・)
- ・委員名簿の公表の有無 (・無)
- ・委員の選定理由の公表の有無 (・無)
- ・公表の方法：

京都大学ホームページ

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
伊藤 英樹	滋賀医科大学 医療安全管理 部 講師		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有 ・ <input checked="" type="radio"/>	1
佐和 貞治	京都府立医科大学 医療安全管理部長 / 手術部長 / 麻酔科教授		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有 ・ <input checked="" type="radio"/>	1
平野 哲郎	立命館大学 法学部・法学研究科 教授		法律に関する専門的知識を有する者	有 ・ <input checked="" type="radio"/>	1

山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医 療人権センタ ー (COML) 理事長	○	医療を受ける者 その他の医療従 事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
山本 克己	京都大学副学 長 (法務・コン プライアンス 担当)		総長が指名する 副学長	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 284 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 269 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療に起因し、影響度レベル 3b 以上の害が生じたものについては、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。また、影響度レベルが 3a 以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：京都府立医科大学附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：京都府立医科大学附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
立ち入りの結果を報告書としてまとめ、相手方病院に送付した。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

- ・本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。
- ・各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。
- ・各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。
- ・各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

(イ) について、平成 28 年 5 月 10 日 (火) 「今さら聞けない、薬剤の安全管理」、平成 29 年 1 月 18 日 (水) 「診療録記載における注意点 ～根拠法・医療安全・診療報酬請求の観点より～」等、複数実施している。

(ロ) について、平成 28 年度は実施していない。

(ハ) について、平成 28 年 5 月 27 日 (金) 「チームで取り組む医療安全・感染対策～Team STEPPS を活用して～」を実施。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

		研修名	内容
管理者	有	医療事故調査制度 「トップセミナー」	医療事故調査を行うにあたっての知識及び技能の習得、医療事故調査制度を牽引する各医療機関の管理者等の養成を目的とした研修
医療安全管理責任者	有	国立大学附属病院長会議 第 2 回病院長塾	医療安全における病院長・副病院長の責務について
医薬品安全管理責任者	無	—	—
医療機器安全管理責任者	無	—	—

今年度に以下の研修を受講予定である。

管理者 : 平成 29 年度特定機能病院管理者研修 (平成 30 年 1 月 9 日、10 日)

医療安全管理責任者 : 医療事故調査制度管理者・実務者セミナー (平成 29 年 10 月 18 日)

医薬品安全管理責任者 : 平成 29 年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会
(平成 30 年 1 月 27 日)

医療機器安全管理責任者 : 現在検討中

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本適合性認定協会 ISO 15189 2012 (2014年3月26日 ~ 2018年3月31日) (検査部・病理部・輸血細胞治療部・薬剤部)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院のホームページ (http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp) 及び広報誌「京大病院広報」 (http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/publish.html) により、最新ニュース、最先端医療や各診療科の紹介、院内活動の報告等を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 「集学的がん診療ユニット」として、がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種横断的にカンファレンス・診療を行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンスを実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の質を高め、専門医・専門スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。さらに、がん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、これまでになかった全身的な有害事象に対する対応が求められているが、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。	